（日刊）（明治卅八年十二月十五日 第三種郵便物認可）

滿洲日報
夕刊
十月六日
發行所 大連市東公園町卅一番地 株式會社滿洲日報社

勞農、呼倫貝爾を懷柔 滿蒙に勢力扶殖畫策

滿蒙政局の推移に重大關心 微妙な日露支の關係

【ハルビン六日發】ロシアは滿洲政局の推移並にコロンバイル獨立軍の行動に多大の注意を拂つてゐるが、ロシアはコロンバイル獨立國を極力懷柔して滿蒙に經濟的勢力を扶殖すべく虎視眈々たるものあり從つて日支露三國の滿蒙における關係は益々デリケート化するものと見られてゐる

露支交渉に讓歩し ロシアを抱き込め

學良氏、莫全權に訓令

【ハルビン五日發】張學良氏は政治的經濟的に日本を牽制し合せて滿洲事變に關する來るべき日支直接交渉を自國に有利に導くためモスクワにおける莫徳惠氏に訓令し東支鐵道問題に關するロシア側との交渉において此際或る程度の犠牲を拂つてもロシアを抱き込み滿洲事變に對する列國干渉の端緒を開くやうな擧に出ないとも限らぬとの説あり

蒙古騎兵二千名

洮南地方で機を狙ふ

【ハルビン六日發】支那側消息によれば蒙古王侯に屬する蒙古騎兵二千名が洮南地方に出沒機會を狙ひつゝありと

露軍支那領を犯さず

【滿洲里六日發】ロシア赤衛軍が續々露支國境に集中しつゝあるとの報に對しロシア側では演習のため最近國境に從來より多少軍隊が増加してゐるが、セミヨノフ將軍の舊部下及び支那軍が露領を犯さゞる限り赤軍は斷じて支那領を犯す意思はないが赤軍は萬一を考慮し國境の警備は嚴重にしてゐると稱してゐる

米露兩總領事

北滿各地を視察

【ハルビン五日發】ロシア總領事館は時局につき連日長時間に亘つて會議を開きつゝあるが、一方本國政府より滿蒙における最近の狀勢を詳細に報告すべしとの訓令に接したハルビンアメリカ總領事ハンソン氏は長春より吉林、洮南、ハイラル方面に向ひ親く蒙古の現狀視察の途につく事になつた

張海鵬氏北進

最近齊々哈爾方面に逐日反學良の色彩が增し來り一方張海鵬氏も屯墾二ケ旅を確實に手中に納めこれを率ゐて北上し黑龍江省に入り込むといふ噂が立ち齊々哈爾方面ではまたも人心動搖を始めたと【奉天電話】

張作相氏 引籠る

【北平五日發】東北邊防軍司令長官代理張作相氏は昨夜順承府の最高會議に列席したる後病氣と稱して引籠り本日は一切の訪問客を門前拂ひとした

獨立新政府の命に服すな

張作相氏命令

【ハルビン六日發】張作相氏は吉林邊防軍副司令の名義で各機關に對し時局對策方針決定するまで新獨立政權の命令に一切服すべからずと嚴命して來たが各機關は右に對し遲疑逡巡の態である

袁金鎧氏等の逮捕令發令

學良氏、中央に要求

【上海五日發】張學良氏は蔣介石氏に對し昨日附左の電報を寄せ來つた

一、袁金鎧等九名は奉天省獨立宣言をなしたるにつき中央より逮捕令を出されたし

二、余は來月南下し對內外時局收拾につき親しく中央の指示を請ふ意嚮なり

孤立狀態の學良氏

內憂外患の惱みから 滿洲事變解決に焦慮

北平特派員 坂本楨

滿洲事件の重大責任者たる張學良氏が南京に着いたといふ情報が入つた二日の午後、まさかとは思ふが、若し學良氏が南下したとなれば北平としては大變である。暴動を豫想する居留民の一人として、實情を探査すべき新聞記者の一員として捨置く譯には行かない。

所が學良氏が南京に着いたといふ日の午後八時から九時までの一時間、順承王府の一室でその學良氏と會見した一日本人が現れた。會見した學良氏が幽靈でない限り南京に着いた學良氏は別人であること明か、恰も當日顧維鈞氏が蔣介石氏に呼ばれて學良氏專用飛機で南下してゐるのでテッキリこれを間違へての報道であることが推定され北平人はヤッと胸を撫で下したものだ。

×

所でその學良氏であるが、氏の最も信頼する、當夜會見した某日本人に對して、彼は滿洲事變に就いてかう語つてゐる。

東北外交委員會の協議では最初事件交渉を南京に轉嫁する積りであつたが、然し國際聯盟の無力なことも判明したし、自分が東北に關する限り絕對責任を負はねばならぬことも十分覺悟したので、滿洲における問題は總て誠意をもつて日本と交渉する用意がある、その交渉のきつかけをどうするか、地點を何處にするか、及び交渉經過結果がどうなるかといふことは判らないが、兎も角今事件の責任者として誠意を披瀝し、自分として出來る範圍內のことは日本側の要求に應ずる覺悟である。

×

卽ち東北外交委員會は事變勃發以來連日北平で開議され、最初は國際聯盟の成行を注目し、あはよくば他人の手で都合よく解決して貰ひたい積りであり、同時に交涉の紛糾化を慮て南京に押しつける腹を決めたらしいが、聯盟の効果なきことも判明し、且つ交涉を南京に移せば東北の外交權がこれを機會に全く南京に奪はれる心配があり、しかも愈々責任問題になれば當の責任者として學良氏は逃れることが出來ない。こゝは多少の苦痛損害を忍んでも、全責任を負ふ覺悟を定め、自個權限內で出來ることなら日本側の要求もアッサリ聽き容れやう、その後のことはまたその時に善處する、といふ腹を決めたことについては對內的の惱みを見逃す譯にゆかない。

×

第一は廣東軍の妥協である。妥協とはいへ、蔣介石氏の沒落を意味し、王正廷氏が傷けられた上に退いたことは、本事變の責任者二人までが既にその責任の故を以て滅びたのである、殘る責任者而も最も直接な責任當事者たる學良氏として、轉た悲哀寂寞を痛感すると共に、悲壯な一大覺悟を餘儀なくされればならぬ。彼の現地位は東北をバックとし、蔣介石氏との提携を表看板としてゐる、東北の地盤を失ひ、蔣氏を失はんとする今日、而して彼の弱り目に乘じて山西における閻、馮兩氏の合作益々固く、韓復榘軍をも加へた北方反張運動の漸く具體化せんとする今日、全國々民からは軟弱の譏りを浴びせられ軍隊給養も今後は十分でなからう筈の今日、人間學良として考へれば尻に帆かけたい位であらう。

×

更に彼の速かに直接交涉をとの覺悟を決めしめたものは東北五省新政權樹立氣勢である。聯盟頼るに足らず、而して南京政府殊に廣東の勢力が加へられるであらう、新南京政府も亦頼むに足らず、水かけ論に日を送れば、一日々々と東北に於ける學良氏の威信と勢力とを失ふことであり、直接交涉すると愈々復雜性を增し、關內東北軍の實力を減收し北方反張機運を釀成せしむるものである。

最後に彼の痛手は東北省との絕緣が關內東北軍のお臺所を全く失つたことである。山西軍始め北方雜色軍への給與が出來ぬは勿論、奉天票の大暴落と共に東北軍の餉さへ困難となつて來てゐる。

×

お膝下の北平に暴動を起さばその責任も益々重大化し自個の地位を全く喪失せしむるものであり、更に自身の生命財產にさへ危險を招來するものとして、學良氏は公安局長に命じ、至れり盡せりの邦人保護法を講じてゐる。が滿洲問題が片つかれば北平での暴動も可能性を彌が上に增加し、軍隊の給養が行き屆かねば此方面からの暴動をも算盤に入れねばならぬ。要するに對內諸關係及び自個保身の必要が寄つてたかつて學良氏をして、誠意ある直接交涉への途に追ひやつたものに過ぎない。

東邊居住邦人の安全保障を契約

于氏と島本中佐間に

動松大隊の敗殘兵討伐に關し獨立守備隊第二大隊は撫順方面に出動の際營盤において王以哲部下の敗殘兵の身柄を引き受けたる于芷山氏より島本大隊長の許に使節を出し十月四日附を以て左の如き契約書を作成した

一、于芷山はその所管區域における內、鮮人の生命財產を責任を負ふて保護すること

一、但し前項の約束に背反することありし場合には日本軍が任意の行動を執るも何等の異議なきこと

右契約書は二通を作成し双方一通宛所持することにし立會人として日本側は島本中佐、支那側は東邊鎭守使代理傅布賢氏これに調印した【奉天電話】

南支の抗日行動に嚴重な抗議提出

政府、重光公使に訓電

【東京六日發】中部及び南支一帶の排日反日運動は邦人に對する暴虐事件を頻發し各地邦人居留民の生命財產の危險及日本の商權覆滅を來す處あるにつき政府は五日の閣議の結果差當り重光公使をして南京政府に對し嚴重抗議をなすに決し五日夜同公使に左の如き訓電を發した

最近名を滿洲事變に藉りて報復的排日運動を計畫實行する者有り、中部及南支一帶において反日暴動沙汰の突發すべき不穩の氣漲り而かも中國政府がこれを拱手傍觀するが如き態度を取らんとしてゐる如きは最も遺憾とするところである、斯くの如き事態を放置する時は遂には重大なる結果を生ずるに至るべく而かも右は全く中國政府の責任であるからこの際日本政府は中國政府の反省を促し、かゝる重大なる結果を來さゞるやう中國政府が今において全責任を以て右排日運動の防止取締に當られんことを衷心要求する

太平洋會議 結局中止

委員會のみ開く

【東京特電五日發】太平洋會議は支那側が日本を除外しても飽く迄杭州で開催せんとし此間、會議の中央理事會長グリーン氏は日支間に立つて斡旋中であるが、斯る空氣の中に會議を開くも何等の所期の目的を達し難いので結局今年の會議は中止となる模樣である、但し中央理事會並に研究委員會は來る十三日上海で開催の豫定で右會議には新渡戶博士以下日本側委員八名參加する

宋子文氏聲明を發す

斷じて辭職せず

【上海特電六日發】財政部長宋子文氏辭職說に對し四日夜南京に歸つた宋氏は五日之を否認し國家緊急の際絕對にこの重責を捨てるが如き事なしと聲明した、且財政部員をして左の如く發表せしめた

五日の公債暴落は浙江派財閥中の一部の投賣に依るもので財政部は公債價格維持のため充分の財政的餘力を有す、卽ち九月中だけでも關稅剩餘金は三百萬元統稅二百萬元の餘力がある

抗日會常務會

日貨沒收決議

【上海特電六日發】抗日救國會の暴狀益々募り五日の常務會は日貨販賣者に對し日貨及び財產一部沒收を決議し綿布商李某の如きは一萬元にも達する日貨を沒收され中には賣國奴と染拔いた着物を着せて曝し者にされる事になつた者もある、尚同會經濟委員會は救國金募集辦法を決定募集に着手した

青聯代表

外務次官に進言

【東京六日發】青年聯盟代表東京班岡田氏一行は昨日は閣議のため首相及び外相との會見不可能なりしため今六日會見する事となり五日は金谷參謀總長、矢吹外務次官と會見金谷參謀總長に對しては軍の既定方針を絕對に決行すべく我々同胞は死を以てこれを支持すると決意を示して進言し矢吹次官に對しては六日幣原外相に進言すべきも我等の聞く處によれば外務當局は軍部と步調整はざる點ありと聞く、若し然りとすれば國家の一大事にして此際閣僚の一致と否とは國家の興廢に關する重大事なるを以て眞に國を思ふならば國民の輿論を基調とし擧國一致の範を外務大臣より示されたいと長時間に亘り瀝を振つて進言する處あつた

貴族院でも

政府を鞭撻せん

【東京特電六日發】日支衝突から日本の國際關係緊張し各方面殊に貴族院方面では國論統一、政府鞭撻の要ありとし近く具體運動に着手の模樣である

社員會の宣言文

けふ役員會で決定

滿鐵社員會の國際聯盟及び各國當局言論機關等に對する宣言文は近く發送する筈で英文飜譯にかゝつたが宣言文に附隨して送附さるべき註釋も奥村外事課長の手で材料蒐集中の處六日取揃へて山岡幹事長の手許に差出したので六日午後三時から社員俱樂部で常任幹事及び役員會議を開催して決定すること尙滿鐵社員會が曩に決定した軍隊へ五千圓、警官へ五百圓の慰問金は既に送附濟みで社員會が一時立替の形式にしたが十月中にそれぞれ會員篤志家の醵金を募ると

滿鐵自體の仕事にベストを盡す覺悟

けさ着奉の內田滿鐵總裁談

內田滿鐵總裁は六日午前八時四十分林總領事、伍堂、木村兩理事外多數官民の出迎へを受け奉天驛貴賓室において出迎への人々と挨拶して後ヤマトホテルに憩つた、車中總裁は語る

奉天には九日まで滯在する、本庄軍司令官、林總領事その他と會見したいと思つて居る、滿鐵としてはすべき仕事は多くあるが此際直に何うするといふことはいへない、但し今は國家の重大時機であるから滿鐵自體の仕事にベストを盡すのみならず必要あらば國家の外交方面にも間接ながら努力を惜しまぬ【奉天電話】

田中前市長の慰勞金

大連市會では八日午後三時から市役所議員控室で全員協議會を開き田中前市長の慰勞金問題を協議するがこれに對する市の原案は田中氏の就任期間まる一年八ケ月として一萬五千圓である

滿鐵重役會議

營業費豫算審議

滿鐵では七年度營業費豫算審議のため六日午後より重役會議開催の豫定であつたが同日午後二時より中央公園忠靈塔に於て殉職者の慰靈祭が擧行されるので午前十一時に繰上げ總裁室において江口副總裁以下在連重役全部、市川經理部次長大垣主計課長等列席の上開催先づ明年度營業收支見込に關する一般的說明あり次いで總體豫算の審議に移つたが午後一時頃散會した

人事

▲高井麻太郎氏（地方法院檢察官）檢證のため五日今野書記帶同普蘭店へ

▲杉元乙二郎氏（名古屋新聞理事）四日陸路來連

▲三浦忠次郎氏（支那駐屯軍附參謀）五日入港天潮丸にて來連

▲木內良胤氏（南京總領事館領事）五日入港大連丸にて來連

▲三浦運一氏（奉天醫大教授）同上

▲岩本海量師（本派本願寺贊事）戰死者の遺骨を護り五日夜長春より歸任

蛇角

パングボーン、ハーンドン兩氏太平洋處女空突破の先頭第一、瞬と運。

◇

支那の名物、麻雀、馬賊、天下取り、今や天津は競馬と天下取りのシーズンとある。

◇

宋財政部長國家大患の時機に下野せずと強がる。辭身を見せると親分の對日取引にひゞく。

◇

張學良、強がつて、袁金鎧等九名の逮捕令發出を中央に請ふ、袁の臆說し。

◇

上海抗日救國會、商人の日貨及び財產を沒收す、羨ましい職權、日本は彼等の財源。

貴院議員團視察日程

大河內輝耕子を團長とする土岐章子、渡邊汀男、中村純九郎、青木周三、赤池濃、八田嘉明、山崎龜吉各議員及び山本貴院書記官、光岡威一郎等より成る貴院鮮滿支那視察團第二班は六日青島上陸濟南、北平を經て十四日天津より來連滿鮮各地を視察の筈であるが、一行の日程左の如し

▲十四日大連着ヤマトホテル、十五、十六日滯在、十七日後九三〇發

▲十八日奉天着前六四〇、發九三〇、撫順着一一〇〇、發後三三五、奉天着同五二〇ヤマトホテル

▲十九日奉天發前六五五、長春着後一〇〇、發二二九、哈爾濱着後一〇一〇、北滿ホテル、二十日同滯在

▲二十一日同發前八五〇、長春着後三二九、ヤマトホテル、二十二日同發、前八三五、吉林着前一一三五、名古屋館、二十三日同發、前七一〇、瀋陽着後八〇〇ヤマトホテル

▲二十四日奉天發、前九〇〇、本溪湖着、同一一〇〇、發後四五九安東着、後九〇〇、發同一〇三〇

▲二十五日平壤着、前三三五、發後二三一、京城着九〇五朝鮮ホテル、廿六日滯在

東亞の謎 (102)

國枝史郎　挿畫 伊藤順三

旅行の目的（二）

「洋子、決してロマンチックぢやアないよ。さう考へては不可ないのだ。極めて科學的な仕事なのだ。蒙古の英雄成吉斯汗、いやく世界の英雄さ、その世界の英雄王の成吉斯汗の素晴らしい廟が、和林にあるといふことは、歷史上ほとんど疑ひ無く、決定されてゐることなのだ。さうして和林といふ砂漠の中の都會が、今日砂に埋もれてゐて、それをいろくの人物がこれ迄も發掘しやうとし、今日現在も發掘してゐる。卽ち露國のコミロフ博士が、極めて大袈裟な計畫の下に、今、現在發掘してゐてその成績の一部分が、エキスプレス紙に發表されたことも、疑ひの無い事實なのだ。さうして和林發掘といふことは、自然成吉斯汗の素晴らしい廟の、發掘といふことになるのであり、我々も夫れをしやうといふのだ。これが旅行の眞の目的なのだ。コミロフ博士がやつてゐる仕事を、我々もやらうといふのだから、極めて現實的の仕事であつて、ちつともロマンチックの仕事ぢやアない。……さうだこいつはロマンチックぢやアないロマンチックで荒唐無稽で、阿呆らしいやうに思はれるのは、實は別の部門にあるのさ。勿論それに就いても話すがね」

伯はかう云つて話しつゞけた。

「が、最初は和林さ、成吉斯汗の廟に就いての、歷史的研究から話すことにしやう。杭愛山の東の方オルコン河とタミール河との間、そこに和林の遺址がある。で、これは是でよいとして、その和林は成吉斯汗が、元首の位についた所であり、死後葬られたところであり、蒙古帝國の舊首都なのさ。そこに萬安宮といふ宮城があり、一名黃金城とも呼ばれてゐる。これが成吉斯汗の王宮で、死後そこに葬られたのだ。和林の盛時の雄大壯麗さは、言語に絕したものらしく金を征めて北京を陷いれ、滿洲を全部征服し、蒙古の諸部落を平定し、當時の西遼今の新疆を降し更に中央亞細亞の門戶、トルキスタンのホラズム國に攻め入り、ムハメット王の都ブハラ城を奪ひ、更に一層進んで行つて、その首都サマルカンドを陷落し、七年後すつかり中央亞細亞を平げ、千二百二十五年、二月といふ月に和林へ歸り、素晴らしい凱旋祝ひをしたが、その時工藝に達した者を、捕虜として二萬人連れて歸つたさうだ。金銀財寶に至つては、十萬頭の駱駝の背で、運び切れなかつたといふのだから、莫大の程が思ひやられる。

この勢ひで建築したのが和林といふ城廓都市なのだ。プラハ、サマルカンド、バグダット、さういふ所から連れて來たところの、回教藝術に造詣の深い捕虜、二萬人が工事にかゝつたのだから、壯麗なものが出來た筈さ。

しかも和林は成吉斯汗時代に、すつかり完成したのでは無く、三代の元首憲宗皇帝の時代に、やうやく完成したもので、延日數十三年を費したさうだ。黃金城の出來上がつたのが、千二百三十五年、十月といふ月であつて、造營完成祝賀のため、支那中央亞細亞、羅馬、露西亞、そんな國々からも使者が來たさうで、盛大さが想ひやられるではないか。

萬安宮のことを蒙古人は、何故チヨーソ、チオンヌと呼ぶか?チヨーソは黃金のことであり、チオンヌは城の謂ひであるからで、つまり萬安宮が黃金によつて、鏤ばめられてゐるからださうだ。

哈剌和林附近図

奉天における全滿日本人大會

（五日夜奉天春日小學校における）

淋代出發から着陸まで四十一時間四分快翔
太平洋横斷のヴ號

【ウエナッチー五日發】太平洋無着陸横斷はパ、パ兩氏により見事に完成されたが、淋代を出發し着陸までに要した時間は四十一時間四分である

出發後車輪を捨て逆立ちで着陸
パ氏が輕傷したのみで無事 湧き返るウ飛行場

【ウエナッチー五日發】ウエナッチー飛行場には早朝にもかゝはらず太平洋横斷一番乘の兩勇士を迎ふべく群衆押し寄せ遙てその機影を見るや場内は忽ち歡呼と狂喜に未曾有の情景を呈した **兩勇士は機上から兩手を振つてこの歡呼に答へ群衆の上を旋回すること三度** 機首を東方に向けて着陸の姿勢を取り悠々着陸した **機は出發後直に速力を早めるため車輪を捨て無車輪のまゝ飛翔したため着陸の際機首を地上に突込みため**にパングボーン氏ははずみを喰ひて前にのめり目の上に輕微な負傷をしたが他に異状なく**二人共頗る元氣** 何等疲れも見えずハーン氏は機から降りるや最初に求むるものは煙草であつた、なほ機は着陸の際機首を地上に打ち附け同時に片翼にて機體のバランスを得んとし片翼を甚だしく損傷した、また兩氏着陸するや飛行場内で愛兒の到着を待つてゐた **パングボーンの母親が感極まり目に涙を溢れさせて泣いてゐた**様は感激そのものである

兩氏交々苦心を語る
四千七百哩を飛び乍ら餘裕綽々 午前三時沙市を通過

【東京特電六日發】ウエナッチ來電によればパングボーン氏は着陸までの苦心に就き

われ／＼は殆んどスポー縣（ウエナッチの東方約百四十哩）の上空まで出で再びウエナッチに引返したのです、シヤトルの上空も通過しましたが霧が一ぱいでした

と語り餘裕綽々たるものである、同機は四千七百哩の長距離を飛行したに拘らずガソリンタンクにはなほ百ガロンばかりのガソリンが殘つてゐたものであつて着陸に當つて爆發を避けるために全部空中から放下したものであるなほ兩氏は語る

ガソリンは殘つてゐたが何分にも霧が深いので豫定のソートレーキシチーまで行かなかつた、タコマ市の東南約五十哩の地點にある海拔一萬四千呎以上のレニヤ山の上空を旋回する事實に三度に及んだシヤトル上空を通過したのは午前三時で即ち淋代シヤトル間四千七百哩を約三十七時間で突破した譯である

絶好の天氣に惠まれ成功
戸川航空課長語る

【東京特電六日發】ミス・ヴイードル號成功の報を手にして戸川航空課長は左の如く語る

途中の經過を知る事が出來ぬのは遺憾だ、千島からアリユーシヤン群島、アラスカ附近の天候が千番に一番と云ふ絶好のコンディションに惠まれた結果、この成功を收めたものと思ふ、淋代發からウエナッチー着陸までの所要時間を計算するとベランカ機の性能以上を出してゐる事も判明するから太平洋大圏コース翔破中は常に追風に惠まれて快速力で飛行した事と當ふ、パングボーン、ハーンドン兩氏は技倆も優秀であるし殊に今回の壯擧に就ては堅い決心を以て前人未開の大空を征服したものと思はれ愉快である、世界航空界の新しい記録として兩氏の成功に敬意を表する

ダラスへ更に飛行
賞金獲得に

【ウエナッチー五日發】機上から降りた兩勇士は元氣旺盛一睡入りした後イースターウッド賞金を得るため當地より更にテキサス州ダラスに無着陸飛行をなす意向である

朝日賞を贈る

【東京特電六日發】ミス・ヴイードル號着陸と共に朝日新聞代表者が駈寄り謙て用意の賞金二萬五千弗の小切手をハ、パ兩氏に手渡しつゝ兩君お目出とうと早速の祝辭を述べ兩飛行家とかたき握手を交はした

御納采日の李鍵公妃殿下（中央）

苹果の産地 着陸したウ町

【東京特電六日發】ミス・ヴイードル號の到着したウエナッチ町はワシントン州中部にある小都會でシヤトル東方九十マイル人口一萬二千の有名な苹果の産地でパングボーン氏の令兄バーシー氏が實存

母を喜ばすのに
ウエナッチーに着陸

【ウエナッチー五日發】ヴイードル機がスポケーン市の上空に達しながら引返してウエナッチーに着陸した理由はスポケーンに着陸して長距離飛行記録を作るよりもウエナッチーに待つ母を喜ばさんとの魂膽に出たものと信ぜられる

見送人と埠頭
あすの準備

今次の事變により北滿の露と消えたわが名譽ある勇士の遺骨は既報の如く五日夜恙なく着連大連市各方面の人々に護られ靜かに關東軍倉庫で一夜を明したが、遺骨は愈々七日出帆香港丸にて内地に向ふ事となり水上署陸軍運輸部ではこれ等勳功ある遺骨を送るについて協議の結果次のごとく定められた

即ち午前八時半埠頭着、森本運輸所長、飯島水上署長、藤津第二埠頭長等の誘導のもとに待合所内特別室に安置この間一般の參拜を許しそれより九時半宮野埠船長の先導で本船上甲板に移す筈で一般市中の見送り人も多い事とて先づ學校生徒は構内岸壁に、ベランダ中段には神職僧侶將校團、在鄕軍人連青訓所生を整列せしめ上段ベランダは一般市民町内會に解放する、なほ出帆に當りテープの交錯、萬歳等を叫ばるゝ事は遠慮されたいと

兩勇士の遺骨
今夜大連着

今回の日支衝突事件に際し其の壯烈なる（以下判讀困難）

佐藤氏死體大捜査
けふ一間堡へ

滿鐵社員佐藤忠氏の慘殺屍體搜索隊は六日午前八時二十分長春發臨時編成の貨物車二輛に乘つて寛城子に至り同地より徒歩一間堡に向つた、一行は滿鐵社員一四一名、警官、憲兵二名、軍部より五名、巡警四名で長春驛事務所員服部氏が團長となり傳書鳩十數羽を攜帶したが、若し本日發見出來ざれば當分續行して大捜査を行ひ飽くまで發見に努める筈だといふ【長春電話】

籠城苦戰の結果名譽の戰死を遂げた獨立守備第二中隊第四中隊歩兵伍長新國六三氏及び歩兵上等兵增子正男氏の遺骨は六日午後八時大連着の筈

タクシー代の合理化にメーター制を急ぐ
今度の値下げは羊頭狗肉だと 非難の聲があがる

大連市内のタクシー業者は多年の懸案であつた現金制を採用し料金二割引といふ宣傳の下に十月一日から値下を實施したが、從來の割引制度のあつた當時に比して少しも實質的値下げとならず、殊に驛馬場外二、三ケ所は簡料金を採つてなり地域によつては却て値上げとなるといふが如き奇現象を呈するに至り早くも非難の聲があげられてゐるが、この矛盾せる料金制度を合理化させるはメーター制實施の外なしと大連署ではいよ／＼眞劍に研究を始めることゝなつた

即ちメーター制の實施はさきに關東廳から正式命令が發せられたが不況時の際一個三百圓のメーターを取りつけることは営業者にとつて非常な苦痛である、爲に延期を歎願關東廳の聽き容れるところとなつてゐるものであるが、今回の如く當局の慫慂によつて斷行した値下げの結果が羊頭を掲げて狗肉を賣るが如き狀態にあつてはメーター制によつて料金の合理化を圖るの外なしといふに當局の意見が傾いてゐる模樣である

ペスト發生説
四洮線開通附近

十月四日四洮線開通より鄭家屯に來た支那人の談によれば開通の附近田舍に最近ペスト流行し多數の死亡者あり、同地にはこれが防止設備なく四洮沿線に蔓延の恐れありとて一般の人心恟々としてゐる【四平街電話】

調査したが事實なし
滿鐵衛生課

右に關して千種滿鐵衛生課防疫主任は語る

たので四洮鐵路醫院から醫員出張して調査した處その事實なきを確かめ越えて先月二十九、三十日は又復發生したとの噂があつたので支那側で調査した處これ亦事實ではなかつた、これが或は傳はつたのではあるまいか當方には何等情報がない、支那側は萬一を慮つて附近驛には醫員を派し乘客の望診をしてゐる由であるから發生したらすぐ知れる筈だ然し充分警戒してゐる

世界野球選手權爭覇戰
カ軍最初より優勢でア軍の追撃及ばず 五對二―二勝一敗

【東京特電六日發】費府來電によればワールドシリーズ第三日はカージナルス軍先攻で費府シャイドパーク球場にて擧行、カ軍最初よりア軍を壓迫ア軍最後にシモンズの本壘打で二點を入れたが、遂に及ばず五對二でカーヂナルス軍再勝これでカ軍二勝ア軍一勝となつた、スコア左の如し

	一	二	三	四	五	六	七	八	九	計
ア軍	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2
カ軍	0	2	0	2	0	0	0	0	1	5

花代値下で振興策をはかる
三業組合でけふ相談

大連三業組合では深刻な不景氣に祟られて料理屋、待合、藝妓置屋の揚高は逐年減少の一途を辿り本年の如きは数年にない赤字を出し、何れも經營難の悲鳴をあげ、救濟資金の醵出方を組合に申出てゐる向も多數あるが、組合としては救濟金の準備とてなく結局振興策を講じ窮境打開の外なしといふに意見一致し六日午後一時から役員會を開催協議することゝなつた

先づ振興策の骨子は花代値下げで明し花十圓を七圓乃至八圓、約束花（三時間）五圓二十錢を一時間短縮して四圓乃至四圓五十錢となし、この外宴會の如きも時代に適應した値下げを行はんとするにあるが、花代の値下に就いては北村席を初め大置屋連中が反對してゐるので相當曲折あるも結局多數決をもつて實現するものと見られてゐる

蛇牛哨で敗兵二百名が機關銃小銃で一齊射撃
守備兵警官隊苦戰して撃退 我軍の死傷者四名

五日朝滿鐵線虻牛哨驛附近に多數の支那敗殘兵現はれたとの急報に四平街駐屯の獨立守備隊歩兵第五大隊第一中隊木原特務曹長は三十七名の部下を率ゐ警察署より巡査十名の應援を得て午前十一時二十分鐵油動車にて現場に急行、午後二時虻牛哨驛東南方約二里の地點窪地に差しかゝりたる際、突如三方の高地より約二百名の支那敗殘兵現はれ二門の機關銃その他小銃にて一齊射撃を開始して攻勢に出でたので、わが軍は不利の地形にあり而も敵の重圍に陷り約二時間にわたる苦戰の結果漸く敵を撃退した、この交戰においてわが軍は死者一、重傷三名を出したるが、敵は六名の死體を遺棄して敗走した、敵の損害多數の見込みである【四平街電話】

ゆふべの停電
變壓機の故障

五日午後八時ごろ市内沙河口神社裏滿電變電所内の變壓機に故障を生じ一大音響と共に變壓機より火を吹き出し大騒ぎを演じたが約三十分の後應急修理をなしたそれがため同變電所關係の聖徳街小崗子沙河口西部大連各線又び工場動力は三十分停電したが幸ひに人畜には負傷者なかつた

獨逸人三名がしのび込む
昨夜王以哲の自邸で荷物を運ぶ所を逮捕

五日夜獨逸人三名支那人一名は奉天城外東北軍第七旅長王以哲の自邸に忍び入り密かに王の荷物を運び出さんとした所を我警備兵に發見逮捕された【奉天電話】

毛皮を掻拂ふ

六日午前八時二十分市内伊勢町四四番地毛皮商タレー商會へ四十歳前後の紳士風の日本人が訪れ商品を物色中カワウソ毛皮（時價六十圓）を掻つ攫ひ逃走したので店員が追跡、市内信濃町一番地に追ひつめ毛皮を取り戻したが犯人は小崗子方面に逃げ去つた、大連署で嚴探中

西部大連に怪音
原因不明で目下調査中

五日午前十時ごろ尾ケ浦一帶を中心として譚家屯西部大連方面に連續的な砲聲らしき一大音響があると同時に地響きし家屋がグラ／＼と搖れ出したので同地方面の居住民はスハ地震と何れも戸外に飛び出すやら尾ケ浦方面のものは時節柄沖合にて軍艦が戰爭を始めたのだと海岸に出るものもあり同地料理店屋の家では大望遠鏡を擔ぎ出して見るやら大騒ぎを演じたが、沙河口署では同日午後極津保安主任が尾ケ浦に出張し大連觀測所員と共に調査をなしたが原因不明で謎の音として目下引續き調査中であるが、曩に前滿鐵地質調査所長村上液藏氏が本紙に發表した氣流の激變による音響ではないかとも見られてゐる

地震ではない

右について若草山觀測所より尾ケ浦に調査に赴いた同所の清三郎氏は語る

昨日午後尾ケ浦の人より電話があつたので早速調査はして見ましたが大體現場地所もハッキリ分らないのですからその音が何であるか原因等については今のところ全然判りませんが地震ではありません

殷々たる砲聲

五日正午頃旅順郊外に當つて突如砲聲らしきものが殷々として轟きわたり關東廳をはじめ市中家屋の硝子戸に震動を與へ時節柄スワヤと市民を驚愕せしめたが右は何の音響であるか全く不明で取敢ず老虎尾の海務局燈臺並に海軍無線電信所にこれが調査を依頼中であるが海務局燈臺員の言によると別に軍艦らしきものを見ず不徹底されてなり、なほ軍部方面でも放置する

金の恨みで斬り付く
支那人の兇行

市内北崗街一番地無職程國福（三）は五日午後五時五十分ごろ市内平和街三八阿片小賣所實豐樓にて阿片吸煙中の同街七二番地金貸業路雲田（四九）に「思ひ知れ」と矢庭に所持せる新聞紙に包んだ石灰を顏面に投げ路のひるむ隙に隱しもつた肉切庖丁で右腋下に突刺し瀕死の重傷を負はせ急報によつて驅つけた小崗子署員に逮捕された

取調べの結果程は三年前路外二名と共同出資のもとに金貸業を始め路がその責任者となつて爾來營業をして居つたが路は今日に至るまで一回の利益分配収支計算をなさず再三要求するも一向に誠意なく無責任であるのに憤慨しかれて殺害せんと前記石灰包丁を所持して路をつけ廻して居つたものであると

同壽病院長醫學博士に

大連醫院分院同壽病院長山口律氏は豫て京都大學に動脈波の研究論文提出中の處五日教授會を通過し博士號を授與された、同氏は高知縣出身にて南滿醫科大學卒業後直に大連醫院に入り其後研究のため京都大學に遊び歸來後大連醫院内科外來部主任として令名あつたが本年八月同壽病院長として榮轉し患者間に評判の良い國手である【寫眞は山口律氏】

醉拂ひ自動車
暴れ廻はる

市内大正通り一七一番地櫻タクシー運轉手菅原實（二三）は六日午前三時半ごろ友人と共に小崗子料理店にて飲酒の上自動車を運轉して店に歸る途中市内惠比須町二番地に差しかゝつた際運轉を誤つて前方を進行中の北崗子十二番地居住の乘用馬車夫劉殿寶（二一）の馬車に衝突し劉及び乘客市内若狹町稲和永木商店員某占鰲（二〇）の兩名を路上に顛落せしめ更に附近の並樹を押し倒して電柱に激突しその反動で約二間餘後方に跳返つて漸く停車したがこれがため馬車より路上に顛落した兩名は全治一週間餘を要する挫傷を負つた

娛樂座談會

滿洲社會事業協會では八日午後七時から市社會館に於て民衆娛樂の問題に就て座談會を開催すると

森本家慶事

醫學博士森本辨之助氏令嬢重子氏は今般山岡信夫、山本豐吉氏兩夫妻の媒妁により瀧口龍雄氏と婚約なり來る十五日大連神社に於て結婚式擧行後同日午後六時より連鎖街扶桑仙館にて披露することになつた

天氣豫報 七日

北西の風 曇驟雨模樣後晴

各地溫度

	六日午前十一時	五日最高
大連	二三・九	二二・四
旅順	二三・八	二三・七
營口	一四・七	二五・五
奉天	一四・九	二一・七
長春	一五・六	二五・七

滿潮（午前六時 午後六時四十分）

干潮（午前 午後零時五十五分）

けふの小洋相場（正午） 金百圓は二一四〇圓五錢

母小千代儀豫而病氣の處療養不相叶五日午後十一時五分永眠仕り候間生前辱知諸賢に謹告仕候也
追而明七日午後二時自宅出棺春日町大蓮寺に於て葬儀相營申可候
尙乍勝手御供物放鳥等の儀は堅く御辭退申上候
男 上泉武
親戚總代 柴田博
吉崎太郎
友人總代 笹岡庫太郎
小田三學

巡讀會書店店主母堂儀永眠に付十月七日葬儀當日丈け休配仕候條勝手乍ら此段謹告仕り候
追て七八九日の配本は順次一日宛繰延べ仕りたく候
泉巡讀會從業員一同
會員御一同樣

第五期決算公告
（自昭和六年四月一日 至昭和六年九月廿九日）
貸借對照表
資産ノ部
拂込未濟株金 一、四〇〇、〇〇〇・〇〇
貸金 六、六〇六、五〇〇・〇〇
合計 八、〇〇〇、〇〇〇・〇〇
負債ノ部
株金 八、〇〇〇、〇〇〇・〇〇
清算
利益金
合計
殘餘財産ノ處分
株主分配金 六、六〇六、五〇〇・〇〇
右ノ通リニ候也
昭和六年十月六日
南滿洲旅館株式會社

暗流阿修羅館 (207)

生田蝶介
挿畫 藤井耕達

田沼問答（十一）

由比が立つと同時に

「では、行つて來ます、ごめん」

と、新左衞門も、つと立つた。

「まあ、いゝではないか」

と奉行が云つたが

「さうしてゐては、なかなかうまく連れて來られません」

と云つたかと思ふと、もう次の間から見えなくなつた。

「それでは」

と、奉行が見送りに、早足にあとを追つたが、玄關に出て見るともう履物も無く、新左衞門の姿もなかつた。

部屋に戻ると、そこには由比が尾花屋のお紋と坐つてゐた。

由比は不服さうな顔をして、奉行を見上げた。

「折角連れて來ましたのに、どうなさいました」

「いや風のやうに早かつた」

「逃げられましたか」

「逃げるは、ちと語弊がある」

「でも」

「時をうつさず、御役所の方を調べてくるといふのだ」

「だとて、寸刻をあらそふこともありますまいに、お上を連れて來ると云つたので、電のやうに轉じたあたり、どうも、れ殿、さうは思ひませんか。あ、それはさうとこれがその尾花屋のお紋さんです」

「お初にお目にかゝります。私が尾花屋のお紋、何卒お見知りおかれまして、いく久しく御贔屓下さいませ」

「おゝ、そちがお紋か」

奉行は坐つた。

「この度はまた、私の不行屆きから、御役所にお手數をおかけしまして相濟みませんでございます」

美しい襟足を見せて、辭儀をした。

「いや、別に何でもないが、えらい者が宿り込んだやうだな」

「宿り込んだゞけならよいのですが、それが何處へどう行きましたか逃げてしまひまして、申譯がございません。私どもで逃がしたと申されても何とも言ひ開きが立たないやうな立場になつて居るのでございます」

「逃げたのか逃がしたのか位わからないやうな役人ではない。その點は安心してよい」

「有難うございます」

「いや、實は、其方に逢はしたい人がこゝに來てゐたのであるが、入れちがひに去つてしまつた」

「どのやうなお方さまでございます」

「よい男ぢや」

「よい男？」

「水の垂るやうなよい男」

「…………」

「それは冗談だが、三河大盡によう似た男が來てゐたので、其方に見て貰ひ、それが昨夜尾花屋に宿つた男か否かを知りたかつたのぢや」

「あのお方が、まだどうして此所においでになります」

「それにはいろいろ理由がある。が、もう、こゝにゐない。よい男であらうがな」

「はい、額の白い眉の凛々しい」

「うむ」

「女のやうに美しい目の、底にはきりつとした強い光のある」

「二十七八であらうがな」

「二十三四にも見えまする。背は高い方、すらりとして、何處となく引締つた」

「うむ、鼻と耳のあたりに黒子はないか」

「黒子？ほんにございました」

「でせう─殿」

由比は、じたりと奉行を見た。

キネマと演藝

大劇四の替

大連劇場の東京歌舞伎松本松五郎一座は今六日左の如く四の替り狂言を上演して打揚げることになつた

▲第一 箱根靈驗躄仇討（二場） 阿彌陀寺施行の場、塔の澤白糸の場

▲第二 綱（四場） 千住大橋邊の場、買ひ替商若松屋の場、神田明神境内の場、大工政五郎宅の場

▲第三 高田の馬場（三場） 菅野六郎右衞門宅の場、中山安兵衛浪宅の場、高田の馬場仇討の場

▲常盤座と三田尻との紳士協約が破れてさうさう行くところまで行きさうな形勢になつた折柄▲常盤座の次週映畫が「しかも彼等は行く」とは皮肉な題名であるが▲現在の調子では双方とも、しかも彼等はそれぞれ思つた方へ行くより外に途がない▲さて解決はどうなることか、映畫界滿洲事變で双方實力行使で華々しく火花を散らすことだらう

日活映畫を 繞り紛糾を生ず

中野氏が帝國館契約 常盤座は引揚に異議

大日活の紛爭問題から同館を離れた日活映畫は中野常助氏が契約し爾來常盤座に紳士協定を以て上映し來つたが、今夏來兩者間の感情に間隙を生じ小競合を繰返しつゝあつた矢先、去る三十日大日活の競賣が長氏側に落札するや、翌一日に突然中野氏側は常盤座に對して帝國館を契約する旨を傳へ、これが諒解を求めたところ、常盤座側にては、大日活の紛爭解決後なれば無條件にて日活引揚げに應ずるも、まだ問題が未解決にある時中野氏側が帝國館を契約することは明かに大日活問題の解決如何に係はらず日活映畫を以て帝國館經營の野心あるものとし、日活本社に對して正式に抗議をなし、常盤座があつて初めて中野常助氏が日活映畫を契約し得たものであることを强調する旨を傳へ果然問題は紛糾するに至つた、これに對して中野氏側は日活との契約上何等常盤座の名義を利用したる事なく、契約條項に不備の點なしと聲明して一歩も讓らず目下兩者は睨み合ひの姿である、なほ日活映畫の常盤座引揚げ期日に就いては未だ交涉されてゐない

常盤座の主張 小泉友男氏談

大日活解決後に日活映畫を大日活に引揚げるのならば今日只今でも文句はないが、大日活以外の他館へ持つて行くことは紳士協約の破棄である、大體中野氏が日活と契約が出來たのは常盤座があつての契約であるから、大日活が手に入らぬからと勝手な振舞をされては常盤座は踏臺にされた事になるから默つてゐられない、大體館を持たないものに契約をするなぞとは日活自體が既に異法である、映畫界未曾有の保證金一萬圓を積んでどこの館でも上映出來るやうな契約條項によるなんて、これは明かに利權を與へたことであるから、常盤座から日活映畫を引揚げて帝國館に上映出來るものなら、やつて見ろと言ひたい、私は多年の映畫界の醜惡な裏面を暴露して、日活本社の公平な裁斷を仰ぐ決心である、そのためには私としては第二、第三の手段がある、結局今回の中野氏の帝國館經營策は計畫的であると斷定する

斷然引揚げる 中野常助氏談

私の方でも將來館が無くては先達つての樣に居直り的なことをされた場合心細いので帝國館を借りることに腹を決めて其の諒解を求めに行つたのです無論日活映畫を移す考へ迄持つて居なかつたのですが、日活映畫を持つて居る丈けに私の方でも氣が引けて妙に誤解されてもと思ひ豫め諒解を求めたのであります、處が意外にも帝國館を借りるものなら借りて見よ、自分は尻を捲るのケツを捲るのと暴言を吐かれたのです、然し私の方では小泉氏が一時亢奮の餘りつい口に出たことで小泉氏の本心から出た言葉ではないと思ひまして貴下にも四、五日小泉氏の爲に考へさせてあげて下さいとお願ひした樣な譯です、それなのに今尙今日の樣な態度なれば小泉氏の言はれたことは最初から本心であつたものと思ふ、元々日活を入れる當初から我々を素人と思ひ長氏にことよせ三日間でもといふ氣に入る言葉を使つて入れて置いて私の上映權を横取りする考へであつたと思ひます、そんな人とは性格が合ひませんから今後は手を握つて行く譯には行きませんので此際斷然引揚げます

日活出張所談

私（伊藤出張所長）としては一應會社の意見を問合せて決定するが契約者は中野さんであるから中野さんの意見もよく聞いてこちらも考へねばならぬといふ外、何等具體的考へはありません

帝國館の館主決る 中野氏と契約

別項の如く帝國館は中野常助氏との間に家賃月一千五十圓、敷金一萬圓で契約し去る二日保證金として二千圓を授受し中野常助氏が帝國館を借入ることに決定したので中野氏は工事職工と共に開館すべく準備に着手した模樣で、映寫機はシンプレックスのペヤレスを購入し、また發聲映畫裝置をなしモーターその他も注文し來月中旬開館の豫定であると

本社特選 新棋戰（其三）

平手先 六段 △飯塚勘一郎
六段 ▲小泉兼吉

【圖は二四同金迄の局面】

▲小泉氏 持駒 飛歩歩歩
△飯塚氏 持駒 飛歩

△八四飛 ▲四九飛
△五九銀 ▲二九飛成
△八一飛成 ▲三六歩
△同 歩 ▲三七歩

【土居八段講評】▲小泉君は桂の持駒丈けでは攻勢を採るに困難であるから成歩を作つて徐ろに肉薄しようとの方針を以て三六歩と突き捨て、三七歩と打込んだのはこの場合至當の方策である。

【萩原六段解說】飯塚氏の八四飛は當然の攻め手であつて、小泉氏又二四金を先手に四九飛と打ち込み、二九飛成と桂得して守りしは至當な應手であつた。この四九飛に對し五九銀は、五九金と引くと矢張り二九飛成となつて、以下三六歩、同歩、三七歩で四八銀が目標になつて早く當りが付くから五九銀も至當であるが、かゝる局面ではよく五九金と當てる方が先手と思つて誤ることがある。何れにせよ二九飛と成るのであるから、五九銀と飛車に當てなくてもよく、後の事を考へて置くべきで、この五九銀と五九金の差は前述の如き深い意味を持つことになる。

(明治四十一年十月二十五日第三種郵便物認可)

滿洲日報

發行人 編輯人 印刷人 … 大連市東公園町卅一番地 株式會社滿洲日報社
定價 一ヶ月 金一圓二十錢 郵稅 金十五錢 一部賣 金五錢
廣告料 普通一行 金一圓三十錢 特別一行 金二圓六十錢 場所指定 二割以上加算

漢口と上海に集めて在留邦人を保護する
南京政府には嚴重に抗議する
我政府の態度決定

【東京六日發】六日の定例閣議に於て南支那方面の情況に對する政府の態度に就き協議の結果左の如く決定した
支那各地の排日は兩國間の通商條約違反で且つ居留民の生命財産の安固を期し難いから强硬な抗議をなす事とし其の內容は首相外相協議の上決定す、なほ居留民の保護卽ち軍艦派遣の時期陸戰隊上陸等機宜の處置に就ては安保海相は幣原外相と協議の上實行するとして邦人保護に就ては大體漢口上海に集中せしめ保護する事
よつて幣原外相は直に南京政府に嚴重抗議する事となつた

抗議文を訓電
けふ重光公使が提出

【東京六日發】今日の閣議で決定せる對支抗議文は外務省で作成の上午後五時半幣原外相は首相を官邸に訪ね打合ひを了し直に重光公使に訓電した、重光公使より七日國民政府に提出する筈である

蔣氏が直屬部隊を鄭州開封に集結
近く何等か大變動

【上海五日發】某所着電報によれば蔣介石氏は南京、上海地方に在る直屬部隊及び攜行に不便なる兵器、材料の全部を四、五日中に鄭州、開封方面に輸送集結すべく密電を發したと、又南京警衞の軍人家族は郷里に送還すべく準備した又宋子文氏は家財家族を上海に移す準備を整へてゐる模樣にて右情報を綜合すれば近く何等かの大變動が起るに非ずやと豫感せらる

佐世保の我艦隊に待機命令下る
南支の形勢險惡に

【東京六日發】南支の形勢險惡となり何時如何なる事態あるかも知れぬので海軍省では佐世保鎭守府在泊の艦隊に對し待機命令を發し二十四時間乃至四十八時間內に揚子江岸に到着する準備を整へてゐる

陸戰隊派遣
佐世保から四百名

【東京六日發】上海一帶南支の排日暴動益々猛烈となりつゝあるに鑑み政府は南京政府に嚴重抗議を提出すると共に萬一を慮り佐世保より軍艦常盤に陸戰隊四百名を乘せ今明日中に出動せしむる事となつた

北方の反蔣運動
その成行注目さる

北方反蔣派の有力者は馮玉祥系の河北民衆外交後援會、反日救國會等で何れも河北省、山東省出身者を主とする反張學良團體で之に關聯のある軍閥は韓復榘、閻錫山、于學忠等諸氏で韓氏は最も重きをなしてゐる、これに山西派が結びついて何ういふ形勢を捲き起すかは興味ある問題である【奉天電話】

穩便に賴む
公安局が泣込む
過激なポスターを取締ると
わが陸戰隊本部に

【上海六日發】支那公安局は今朝黃課長を陸戰隊本部に柴山指揮官を訪ひ日本軍艦の增派は江南ドックを占領するその噂あるが眞疑如何と質せるに柴山指揮官はそんな計畫はないが排日を取締らなければ我國も相當の覺悟があると答へるや黃課長は排日ポスターの過激なものは取締るから穩便に願むと泣きを入れた

支那紙の悲鳴

【上海六日發】わが驅逐艦の入港佐世保にて二十六驅逐隊が待機中なる事、又第一艦隊が佐世保に入港せる事など支那側に多大の衝動を與へ本日の支那紙の社說は論調…

他力本願望み無く排日運動に努力
南京政府の滿洲事變對策 (上)
南京にて G・O 生

今回の滿洲事件が比較的詳細に南京に傳はつたのは、九月十九日の晝過ぎであつた。午前中に大事件の發生は知つたが、內容に不明の點が多かつたので、最高幹部が對策を議するだけの材料が整はなかつた。それで已むを得ず午後八時に至り漸く中央執行委員會常務會の臨時會議が開かれた。然し事件は極めて重大だし南京の大黑柱である蔣介石氏が九江に在つた爲め國家としての對策を協議する事は出來ず、僅かに次の三項を決議してその他の事項は意見の交換に留め、蔣介石氏の歸京を待つて再議すべく申合はせた

一、共匪討伐は續行するが全國民心を一つにし國家の基礎を鞏固にし政府の實力を充實せしむ
二、全國民一心一德で救災と禦侮の工作に從事す
三、本黨同志は必ず從來の經緯を棄て、大同團結を造成し全國一致の模範を示す

右の決議は直に內外各級黨部に打電された。それと同時に張繼、李石曾、吳鐵城三氏の名において妥協勸告の電報が廣東の要人に宛て發せられた。急電に接した蔣主席は二十日午後一時歸京直に黨部、政府の首腦部を召集して、先づ事件の內容を聽取り次で對策の協議に入つたが實力對抗が問題にならないため衆議は外力に依り日本を壓迫することゝ及び徹底的日貨排斥に依つて日本をヘコませる外無しといふに一致し蔣介石氏も之に贊成した。又これと同時に之を好機として廣東との妥協に猛進する事も決定した而して以上の中、日本に對する事項は外交部及び中央黨部の宣傳部が協力之に當ることゝなつた。右協議中蔣氏は事件の報告を聽取した後憤怒に燃え北に向つて、あの小僧がヘマをやるから斯樣な面倒を惹起したのだと張學良氏を罵倒した相だ。

ロシアの力を借りて今日の地歩を築き上げた國民黨及びその政府はその味が忘れられず、滿洲事件に對しても同一の筆法で進めば少くともパリ會議やワシントン會議程度には効果のあるものと樂觀し御用紙でない新聞までがこの氣分で筆を執つて居た。その方針は直に上海において實行に着手され一部の外字新聞は日本非難の記事や論文を掲ぐるに至り又外人記者中には南京政府の支給した旅費で滿洲視察に出かける者も出て來た。それればかりではなく同じ方法で日本に不利な新聞電報が上海、北平天津その他から歐米に飛ばされた勿論ジュネーヴの施肇基氏には外交部から長文の訓電が發せられ國際聯盟の力を借るべく命ぜられた外人記者を通じての宣傳は全力に正比例してそれ相當の成績を擧げてゐるが、國際聯盟では支那側の報告に欺瞞が混じてゐたことが判明したとかで不人氣を買ひ、通り一遍の平和勸告を試みたに過ぎず何等干渉がましき行動を取らないことゝなつたものらしい。國際聯盟の態度が南京に報告さるゝや首腦部は大に狼狽し蔣介石氏は慟哭せんばかりに落膽したと或る確な筋から漏らされた。それればかりでなく米國も餘り力瘤を入れて呉れさうにない事を知り今は二重の失望に聞えて最後の手段として次の二つに力を注ぐ事になつた。
一、從來の對外宣傳を續行し更に多額の經費を投じて空氣の轉換を圖ること
二、ロシアに交換條件を提供して干渉せしむること
ロシアが之に應ずる意思あらば如何なる條件を要求する、かを探らしむべく在露の莫德惠氏に訓電を發した。但し歐米による他力本願は大體において成功覺束無しと諦め兩三日來要人間において寄々協議した結果
(イ) 日本軍の占領が長延けば濟南事件の二の舞で日本は已むを得ず撤退せざる可からざるに至るであらうから氣長く湊吠えしながら適當の處置を取りその氣運の醸成を圖ること
(ロ) 從前から陸軍、外務の兩方面が意見を異にするものと誤信しその不和に乘じ外務省側を巧みに口說き落して有利な解決に導く可く總ゆる方法により努力すること
(ハ) 前二項の目的達成の一方便として徹底的に日貨を排斥すること
の三項を善後策として採用するに決した。日本はこの支那側の狡猾な策に引つかゝる事無く飽く迄全國民の一致により既定の方針に向つて猛進すれば支那當局者の屁古垂れる事は請合である

漢口の學生團
抗日運動の開始强要

本紙は軟化して來た、殊に國民政府機關紙は
日本は驅逐艦四隻を派遣し更に多數の軍艦が佐世保に待機中なり日本は今や中部支那を併呑せんとす吾人は經濟絕交には實力を養ふが先決問題であると忠告したが不幸にして其の言適中し日本の威壓を豪る吾人は如何にすべきや
との社說を掲げ悲鳴を擧てゐる

【漢口六日發】當地の抗日救國會は五日緊急會議を開き
一、卽時抗日運動を實行す
一、日貨は二十五日迄に登記を完了しそれ以後の取引を絕對禁止す
を決議した、一方學生等は大擧して武漢行營に押寄せ抗日運動開始を强要する處あつた

國民政府が日本人保護電命

【南京六日發】四日の特別外交委員會臨時緊急會議は聯盟理事會の裁定に服し
一、支那政府は責任を以て在滿日本人の安全を保護す
二、日本軍の原駐地撤兵を條件とす
の二項を決定し國民政府より張作相、王樹翰兩氏に對し日本人の生命財産保護方を電命した

滿洲事變と英の態度
下院に於る答辯

【ロンドン五日發】本日の下院で外務次官ロバート・エデン氏は滿洲事變に關する一議員の質問に答へ
日支兩國紛議についての英國政…

全滿日本人大會「宣言綱領」

五日夜奉天春日小學校において開催した全滿日本人大會における宣言綱領は左の如くである
一、滿洲における權益擁護の爲めに此度我軍部が實行せる處置に依りて從來侮日的態度に終始せる東北軍閥破壞せられたるも昨今傳聞する所に依れば張學良は尙北京に在りて盛に東北地方官に號令し再び東北政權を恢復せんとするに努め加之南京政府は此度の事變に鑑み改過遷善以て我國と友好の關係を恢復せんとはせず却て之が爲め我國と一戰を辭せずと放言して國民の挑戰的氣分を煽動するに至りては全く國際信義を無視し飽くまで我國に敵意を挾さむものにして此儘に推移するときは兩國の禍根は永久に除去せらるゝの期なく却て支那における全國的排日氣分の激成は舊に倍し我國の蒙むる禍害は更に擴大するものあらんとす 此際我國民は一致團結して重大なる覺悟の下に徹底的に禍根を廓淸し以て東亞永遠の平和を確立せんことを期す
二、侮日的態度に終始せる支那軍閥官僚並に共匪、學匪の徒を徹底的に排擊するも善良なる民衆は吾人と共存共榮の僚友なれば誓つて之と益々親善關係を敦厚ならしむることを期す
三、此度實行せる我軍事行動は國際的慣行と正義に立脚せる正當なる處置なれば其の結末に於て將來兩國の間に充分なる諒解を完全なる保障の下に善隣の修交回復する迄は斷じて保障占領を解かざるは勿論在留邦人の多年築き上げたる經濟上の地盤を擁護すると共に地方治安の維持の爲め少なくとも條約上認められたる最大限度の駐兵を實行し現地保護を徹底せしめんことを期す
四、東北軍閥の敗殘兵は南滿各地到る處に殺傷、掠奪を擅にし或は個人を狙擊し或は列車を襲擊し或は朝鮮人部落にて虐殺を行ふなど人道上默過すべからざる兇暴なる蠻行のために地方の安寧は事變前に比して寧ろ破壞せられ內外人の人心不安の極に在るの時我軍は早期の撤兵を行はず徹底的にこれが掃蕩をなさしむる事を期す
五、條約上に根據を有し正當なる協定の下に顯著なる資本を投下しながら東北軍閥のために不當なる壓迫を受け進展せざりし權益並に通商上の權利等は遲滯なく伸張せしむることを期す【奉天電話】

對支問題奏上、若槻首相參內

【東京六日發】若槻首相は六日午後一時三十分宮中に參內天皇陛下に拜謁仰せつけられ一般政務並に對支問題につき奏上御下問に奉答して退下した

重松大隊奉天に歸着

北山城子方面に王以哲の敗殘兵討伐の爲赴いてゐた重松大隊は六日正午、無事奉天に歸着した【奉天電話】

日本を中傷する大ヨタ通牒
施支那代表が聯盟に

【ジュネーヴ五日發】施肇基支那代表は五日聯盟理事會に對し左の如き公式の通牒を發した
一、約百名の日本騎兵は北寧線新民區警に屯營した
二、北平で日本の無賴の徒は支那學生大會の中に自動車で飛び込み數名に負傷せしめた
三、日本軍は北寧線皇姑屯驛の電信電話室を封鎖して電報の檢閱をなしつゝあり
四、日本軍は皇姑屯の穀類倉庫在中の穀類を取り出し滿鐵驛に向け運び去つた

日本軍行動正當
米系カトリック敎宣敎師
米本國政府等に報告

撫順のアメリカ系カトリック敎會宣敎師は今回の事變に關し米本國政府並に同敎會總本部その他の要路に對し左の意味の報告をなすところあつた
一、今回の日支兵衝突事件の原因は支那兵の日本守備隊襲擊、滿鐵線路爆破にあることは確實である
二、日本軍の執つた措置は自衞權の發動によるものにして日本は友邦に對し領土的侵略の野望はない、而して日本兵は支那兵に比し秩序整然たるものがある
三、滿洲における各自警團(保甲團)は何等損傷を受けて居ない【奉天電話】

淸朝秘史獻上
內田總裁から

內田滿鐵總裁は史學研究上貴重なる參考資料たる淸朝秘史「滿洲實錄」を手に入れ所有してゐたが今度上京に際して聖上陛下に獻上すべく持參した

駐兵費決定

【東京六日發】滿洲出兵に伴ふ豫算外支出は大藏陸軍兩省交涉の結果動員に伴ふ一時的經費七十五萬圓一ヶ月駐屯費七十六萬圓にして內約百三十萬圓は第二豫備金より支出するに決し七日の閣議にて承認を求むる筈殘餘の經費は經常費より支出される譯である

英緊急財政案上院通過

【ロンドン五日發】イギリス政府の緊急財政案は五日上院を通過し陛下の御批准を得て來年度豫算は成立した、茲に特別議會召集の主目的は達せられた譯であるが暴利取締令その他の細則は七日までに片づく豫定である

英下院解散
愈よ來る八日斷行

【ロンドン五日發】イギリス內閣は今夜下院首相室において約二時間に亘り閣議を開き協議の結果今後內閣の執るべき方針の決定を見た、その內容は七日の閣議においてマクドナルド首相より發表される筈であるが、確聞するに政府は愈々八日を以て議會を解散し十月廿八日總選擧を行ふ事に意見の一致を見た

廿八日總選擧

【ロンドン五日發】イギリス政府は二十八日總選擧を行ふ事を略決定したが、政府の死命を制するは一に自由黨の態度如何に在るためマック首相は五日中奔走した結果大體抱き込みには成功する模樣で政府の勝利を確信してゐる

財界問題で擧國一致
兩黨首腦と協議

【バルチモア五日發】フーヴァー大統領は刻下經濟界の諸問題解決につき政黨政派の別なく擧國一致の行動を執るべく協議するため共和、民主兩黨の主なる人々を六日夜ホワイトハウスに召集する旨發表した

金輸再禁止必要なし
土方日銀總裁談

【東京六日發】土方日銀總裁は語る
金利引上は下半期に入り內外財界金融界の變化により金利昂騰の趨勢にあるので、この金融界の實情に順應するためとイギリスの金本位停止に多少海外に資金流出の傾向あり弗爲替の需要が多過ぎるので、この傾向を牽制する必要に出たもので日銀として當然の處置である、この利上は見る人によつて色々の解釋があるかも知れぬが金輸出再禁止の如き必要はない、又井上藏相も飽くまで從來の方針で進む決心であるから我々もそれについて必要な處置を執つて行くのであつて今回の利上は金輸出再禁止の意嚮なき有力な意志表示である、なほ二回三回の利上げを豫想する者あるやも知れぬが年末も接近しつゝあるので當局者として近き將來においてそんな事は考へて居らぬ

藏相自ら諒解運動
行政整理に關し

【東京六日發】大藏當局の行政整理準備委員會作成の整理案の强制實施に對して猛烈な反對各所に起り事態は再度紛糾、藏相は愈々自ら各省大臣と直接交涉を開始する事に決定し、五日には先づ鐵相を官邸に訪ひ財政緊縮の現狀を述べ速かに原案を承認するやう折衝する處あつた六日引續き各閣僚を訪問し之が促進に着手した、折衝は今後兩三日を要し根本方針につき大體意見が一致した場合八、九日頃行財政審議會を召集諮問の上一氣に原案を作成し閣議にて最後的決定を下す筈

正金對英建値變更

【東京六日發】正金銀行は對英建値を八分の三引揚げ二志六片八分の三と改訂した

第二の反抗 (51)
三宅やす子 阿部金剛畫

社說

連鎖商店の改組　再吟味の必要

合資會社大連連鎖商店では最近突如として改組運動を開始した。合資會社を解散し、社員各自の持分に定められてゐる土地建物を分割獲得し、代りに滿鐵以外に對する商店の債務を按分負擔する。而して滿鐵保證貸付金八十萬圓の償還については、社員の共同財産たる土地建物を以て組織する株式會社に肩代りさせやうといふのである。

◇

元來連鎖商店は滿鐵や關東廳が、發起人等の眞面目な運動に動かされて發生したものである。即ち小賣邦商の店舗家賃問題を解決すると共に、その合同的經營合理化に資するといふ助成方針に基いて、滿鐵より四千五百坪、關東廳より六千五百坪の敷地を貸下げられ、なほ滿鐵よりは八十萬圓の保證貸付を受けて成立したのである。然るに事志と違ひ、創業未だ二年ならざるに會社を解散せんとするに至つた。抑も之れは何故であるか。

◇

それには開店以來經濟界に於ける深刻な不況の壓力を見逃す事は出來ない。併しながら致命的な原因としては、寧ろ商店が無統制無氣力にして、聊かも共同一致的努力の跡が見出せない且つ最も肝腎な人的要素に缺ぐるところが多かつた事を擧げればならぬ。更に計畫當初に遡れば、資力や運輸資金を目安に置かずして、徒に規模を大きくし建築費の如きも百萬圓の豫定を百八十萬圓に膨脹したこと、百名以上の小賣商を抱擁するのに統制上金融上不適當な合資會社組織としたこと、一流專門家を參畫せしむること少く、支那側に對する販路開拓の如きも殆ど考慮されなかつたこと、などの缺點を數へ得るであらう。而してこの見地よりすれば、滿鐵や關東廳も亦一半の責任を免れない。

◇

今改組案を通覽して些か所感を述ぶるならば、吾人は先づ少しく虫がよ過ぎると感ぜざるを得ない。なぜなら、商店側としては種々の改組理由をあげてゐるが、多くは連帶責任の苦痛や多數社員が各責任出資を完全に果さないことを前提としてをり案の核心は、各自の土地建物につき所有權を得て、之を資金化さんとする點にあるからである事實連鎖商店の正味財産は約二百十五萬圓であるのに、負債額は百四十五萬圓に上り、其の利拂さへ困難を感じてゐる折柄、若し土地の處分權を得れば、商店側の計算において百萬圓以上（各社員土地四千坪は、坪二百圓、新設株式會社所有土地四千坪は坪六十圓評價）になるのである。

◇

右は一班に過ぎない。茲において滿鐵や關東廳では、既往の失敗に鑑み、宜しく嚴正周密に案の内容を檢討し、如何なる對策が、當初の助成方針や商店の現狀に最もよく合致するか、また土地分割の利害得失如何といふやうなことに、深甚の熟慮を誤らないやうにせねばならない殊に滿鐵に關しては、保證融通八十萬圓に對し、F區を除く商店街全部につき一番抵當權を設定してあるのを、改組案によれば、これを解除して、嚢に貸下げた土地を坪當り六十圓として擔保に入れるといふことになつてゐるのであるから、尚更萬全を期せねばならぬ。また連鎖商店の社員中には、土地建物を利權的に讓渡するが如き不心得者はないから、今日分割するも賃償償還後分割するも、結局同じだと稱する向もあるが、それは貸下の趣旨を沒却するばかりでなく、實際上にも利權的行爲の行はれ得るものであることを考へておく必要がある。

◇

改組案を通じて次に感ずることは、商店經營において一番大切な、自分のことは自分でやるといふ自主的奮起の跡が一向窺はれないことである。思ふに一般小賣邦商における甚だしき窮迫の内面的原因は、業者が過多である點と、その經營形態が時代に適しない點にある。後者の缺陷を改善するには、當業者が共同戰線を張つて、仕入や販賣の合理化を行ふほかはないかくの如きは新時代に生きんとする小賣商が、進むべき道であり、連鎖商店の使命も亦茲にあつた筈である。然るに連鎖商店をして、不動産を分割せしめんか、一時窮境を凌ぐことは出來ても、この種の合理化運動を期待することは殆ど絶望的となり結局彼等を平凡な商人として、所謂小賣、卸商群のなかに追込む事になるであらう。以上の觀點に立ちて吾人は連鎖商店が、大局高所に立脚し、自己の力を恃むことの最も緊要なることを自覺し、自主的建直しを根基とする、よりよき具體案はないかを考へ、今一應の吟味の態度を取つて慎重な熟議をなすやう希望してやまぬ者である。

漢時代の壁畫を殘す　牧城驛の塼墓發掘
考古學界の權威者濱田博士が折紙をつけて研究

關東廳土木課が旅順より周水子に通ずる道路を新設工事中去る七月廿七日營城子驛を距る約三キロ、前牧城驛西方約一、五キロ、滿鐵旅順線々路より五十米の地點に於て偶然漢時代の塼墓と思はれるものを發掘續いて八月十七日更にその塼墓より約百米東方に於て前發掘のものより更に完全にして廣大なる塼墓を發掘直に旅順博物館員の手によつて發掘保管の上右古墳の學術的考研をなすべく京都帝大教授濱田博士にこれを委囑した、濱田博士は日本に於ける有數の考古學者でありまた古墳研究の第一人者であるが、去る五日入港の綠港丸で來連直に旅順に赴き津田博物館長內藤寛氏の案內をうけ、これに大連より八木、小林兩氏同行して牧城子の現場に赴き五、六兩日間熱心な研究が續けられた、今回發掘された二個の塼墓は博士の

鑑定 により漢代のものと決定、少くとも今より約二千年前のものと判明したが殊に後に發掘されたる方のものは恐らく東洋一であらうと濱田博士が折紙をつける程廣大完全なものでその形態は約八疊の方形の玄室を中心に約四疊の前室、側室後室が連續しこれが地下約二十尺の處に埋まつてゐたのである、殊にこの玄室は今までに見ぬ構造で內部は二重となり最內室は約六疊しかもその四壁には墨と朱を以て描かれた天人、人物、龍その他の明瞭なる壁畫が殘つてゐる、この壁畫に至つては考古學上最も

珍重 すべき物で全世界の考古學者を通じて漢時代の壁畫を見たものは殆ど皆無であらうとのことである、たゞ惜むべきは何時の時代にかこれが一度盜掘されたることがあり內部に收められてゐた貴重なる寶玉、金銀類等は全部奪ひ去られわづかに土器數十點の遺物が殘存してゐるのみであつたしかしこの發掘によつて兎に角當時の文化が漢の勢力に伴つて遼東半島にも移植され又一方東漸の要路として多年此地に漢民族の占居してゐたことは確實となつたがなほ濱田博士の今後研究によつて種々の事情が明かにされることゝなつた【寫眞上は玄室內正面の壁畫で研究者中に意見の相異を生じ問題となつてゐるもの、下は玄室內より眺めた博墓入口】

支那側への貸賣　數百萬圓に達す
市政公所で決議斡旋

今回の事變により奉天邦商の支那側官廳及び取引商人との決濟は全然不可能となつたが右の內目下我軍が占領してゐる諸官廳に對する賣掛代金に對しては市政公所において何等かの方法を以て支拂ふべく目下考慮中の趣きであるが奉天商工會議所の調査によれば右官廳筋への賣掛代金は九月三十日現在日本金二百九萬五千百九十四圓八十五錢（この內滿鐵の石炭賣掛その他約百萬圓）現大洋百五十四萬四千五百十四元、奉天票十二萬元である、なほ個人商店に對する賣掛代金は目下調査中であるが數百萬圓に達する見込みである【奉天電話】

內田滿鐵總裁動靜

內田滿鐵總裁は東上の途次、杉本秘書を從へ、六日朝來奉、ヤマトホテルに入つたが、同日はホテルにおいて林總領事その他の訪問を受け午後二時より本庄軍司令官を訪問し、陣中見舞旁々時局に關し會談するところあつたが、總裁は兩三日滯在し、九日十五時二十五分着安奉線急行で上京すると【奉天電話】

衆議院視察團　十六日東京出發

【東京特電六日發】衆議院議員の滿鮮視察團は民政黨由谷義治氏を團長として一行十名は十六日東京發二十日間滿鮮視察門司に引返し更に臺灣視察に赴くと

民政黨慰問團　八日夜東京發

【東京特電六日發】民政黨代表戸田由美、小山倉之助、松尾四郎、作田高太郎の四代議士は今回の事變に際し暴戾なる支那軍を擊破したわが忠勇なる在滿鮮軍隊並に居留民慰問のため八日夜九時四十五分東京驛發渡滿する事となつた、一行は十一日京城發翌夕奉天着黨を代表して本庄軍司令官その他を訪問し在滿同胞とも懇談の上二班に別れ一班は間島方面、他は南下して滿鐵沿線を視察し旅大方面に向ふ筈である

郵便貯金　九月中の成績

滿洲における九月中の郵便貯金は引續き好況を保つてゐたが、去る十八日日支衝突事變の突發に因つて拂戾した爲すもの多くため一時停頓狀態となつたところ數日を出ずして又また活氣を呈するに至り、預入高口數七萬八千四百九十八口、金額二百七萬四千三百六十五萬圓また拂戾高は口數三萬二千五百七十四口、金額百四十九萬五千二百七十五圓にして前月に比し預入高は口數千七百八十四口、金額五十萬二千八百五十七圓、なほ拂戾高は口數五千四百三十六口、金額十一萬六千二百七十三圓を增加し月末現在高は人員二十九萬二千六百五十九人、金額二千六百三十四萬四千二百五圓となり前月末に比し人員は二百五人を減じたるも金額は五十七萬九千九十圓の激增にして主として官吏、會社員等の減俸ならびに滿鐵その他傍系會社の整理等に依り一般に緊張せるものと認められ從つて此の趨勢は今後なほ持續すべきを以て遠からず二千七百萬圓臺を現出するものと觀測される

大連金融組合　九月中の業績

大連金融組合の九月中における業績は左の如くである（圓單位）

▲預り金	
前月末現在	三四、二四一
本月中受入	一一、四三八
同拂戾	七、七〇四
本月末現在	三七、九七五
▲貸付金	
前月末現在	一八四、一〇〇
本月中貸付	八六、〇七三
同回收	八三、二六五
本月末現在	一八七、〇〇八

滿洲特產協會　八日に通常總會

滿鐵が年々二千四百圓の補助金を交附し滿洲特產物の內地紹介につとめてゐる滿洲特產協會第七回通常總會は來る八日午前十一時から東京市丸之內東京會館で開催されるが、滿鐵側代表として東京支社より一名出席の筈

閣議決定事項【東京六日發】

任咸鏡北道知事（二）　朝鮮總督府事務官　富永文一

ばいかる丸船客

【門司特電六日發】八日入港豫定のばいかる丸の主なる船客諸氏　新任旅順要塞司令官大谷一男少將、國粹會理事長中安新三郎、小野田六郎、藤川類造、大谷雅雄、位野茂、位藤安之助、市村富久、芦田甚太郎

關東廳辭令（五日附）

依願免本官　關東廳警部補　濱崎精之助
依願免本官　關東州小學校訓導　山道榮助
文官分限令第十一條第一項第四號に依り休職を命ず　關東州公學堂教諭　太田稔

大觀小觀

宇治川の先陣—ぢやない太平洋の一番乘りトウトウ洋鬼にしてやらる▲尤も此一番乘り、佐々木も梶原も池月も磨墨もみんな洋鬼では競爭にならぬ▲「でかしたりや、でかしたりや」と只拱端？叩いて賞め居る連中の能なさよ、いや腑甲斐なさよ▲はたの見る眼も情なき極み、口惜しとも口惜し▲大西洋の一番乘り、早廻り新記錄、而して今度の太平洋處女空の征服▲アメリカの自慢鼻ますく高く、日本航空界のペチヤンコ鼻いよいよ低し▲だが何と云つても謎の太洋を飛びきつた偉功は偉功だ▲遠いと思つた彼岸も近くなつた、廣いと思つた太平洋も狹くなつた▲せめて梶原でもいゝ日本人の中から出でよ、そして出來る事なら小幡コースを一足飛びに布哇へ、桑港へ▲總領事館襲擊、居留民迫害、條約上の權益蹂躪、兵匪馬賊に脅かされる居留民保護、我はたゞ警備の任務についてゐるのみ▲彼我の責任が何れにあるか極めて明白▲見當違りに相違あり、和平破壞の「軒の巢を拂へば怒る女郎蜘蛛」—邪道句子」

滿洲未來記　宮山鍠一　（3）

滿洲から總理大臣
事務報告などにラヂオを使用

かうした世の中だ、だに、あの耳をつんざくやうなけたゝましい鈴の音と叫び聲、どこの人達も神經を尖らし切つて

何だ！
何だらう！

と言ひながら、大地震にでも見舞はれて屋外へ飛び出すやうな人もあれば、四十階の上から地上と話し合ひもすれば、急エルで階下へ急ぐものもあつた。それも無理からぬ事だ。

◇

號外に人垣を作つた人達は、記事を讀むなり落雷にでも打たれたやうに靜まり返つた。然しそれを讀む達の胸々には心臟の高鳴りを覺えてゐた。

とうとう滿洲から總理大臣を出したか！

と一人がいへば

フーン！

と大きな溜息をもらした人もあれば

有難い時代になつて來た

と言ひながらビルの中に這入つてしまつた。

會社銀行を初め諸大商店には、ラヂオ係やテレビジョン係といふのがある。支配人から命令された或事柄に對して一々之を報告するのである。同時に若し支配人が不在なればそのまゝ蓄聲して後から之を聞かす事となつて居る。テレも同樣に映寫して置くことが出來る。

之れ程ラジオやテレが發達してゐる世の中でありながら、執務時間中は事務の邪攪を阻害するのでどんな會社銀行でも、店內一般的に之れを知らさぬ事として、朝九時から十二時迄、一時から四時迄は事務室で煙草ものめず、私用迄出はまかりならぬことになつて居る。でも今日は皆四、五分位執務時間を失敬した。

併し氣のきいた社員は皆昔の懷中時計位の大きの懷中ラヂオを持つてゐて、ちよつとした聽音管をたいくつ凌ぎに耳へはめると世界のニユースがすつかり聞こえる、其機械の裏に鏡のやうなものがついてゐる。兩手で掩ふて光線を遮るとテレが現はれてくる、といつたものもある世の中だ。

◇

でも號外の鈴の響きは、より以上の響きを人の腦へ刻込んだ。

一ケ年が廿八日の十三ケ月と一日となり、一日の勤務時間が六時間となり、それに土曜日の半休が世界的となつてからもう半世紀もたつたが、それでも四時の退出時間は待ち兼ねられる。

其退出のラッシングアワーにはどの交通機關も內閣組織の大命を拜した大連が生んだ大偉人、元外務大臣加藤崇平が、大正廣場近くの豆腐屋の次男坊のことから、更に夕刊が報じた彼の逸話で、どこもかしこも、それで持ち切りであつた。

◇

あの關東州全部が、殆ど一市街となつたやうな現在、大和尚山が市の公園ともなつて觀音閣あたりも自由に自動車でドライブ出來るやうになり、人口二百萬の祝賀會を周水子で開いてから彼れ是れ十年にもなる。大連灣の水が金州の南から濠洲灣に通ずる運河を開いて、其兩堤に植えた櫻がもうすつかり古木となつてゐるばかりか、旅順攻圍に幾萬の生命を犧牲とした、といふあたりも、凝水寺附近も王家店水源池の奧も、長山列島まで赤い屋根、青い屋根が景色のいろどりとなつて居る。

かうした大市街の中に世界的學界の一大權威を保持する大連大學と、これに附隨する諸學館、北方支那金融の覇を握れる大日華銀行もあれば、大連灣を一丸とした大大連港、北から南へ、南から北への埠頭や棧橋が、まるで太刀魚の口をあけて其齒を見たやうに駢んでゐて、二萬噸、三萬噸といふ船が橫付けして居る。

市街の第一幹線道路として幅七十餘間の大街が濠橋から沙河口淨水地、凌水寺、旅順へと通じ、主要な道路として大正廣場から周水子、金州、普蘭店に達し、金州より又貔子窩の北方に別れて居る。そして滿洲ビルの五十階を筆頭に二十階以上のビルはざらに在る。

かうした大連、大臣の二人や三人出したとて何の不思議があらう？、とはいへ、內閣首班となる大偉人に對する大連市民の狂喜は、昔ながらの提灯行列の火の海が全市を埋めてしまつた。

腑甲斐ないとは　一市民

◇廿六日夕刊所載の記事に腑甲斐なき釣り黨の社員には滿鐵がパスを發行しないとの方針について爭地に奮鬪せらるゝ同胞に對しさもあるべきことゝ同感の至りである。

◇只一言申上ぐ、釣は一種の趣味ばかりではない、體育獎勵の今日釣りは健全なる身體と健全なる精神を涵養する點に歸着する時局たりと雖も內にありては下らぬ娛樂に耽り、出ては飲酒紅燈にあさる輩とは更に趣きが異ふ。

◇釣り黨は滿鐵社員ばかりではない、娛樂、趣味を謹愼せよと言はるゝなれば他にも澤山あらう差し當り滿鐵會社は何故事件突發直後の十九日、廿日に謠曲會場として協和會館を貸與せられしや、然も入場者には滿鐵社員が多數、釣り其物が惡いとすれば何故旅順線の午前四時發の臨時列車を中止せられざりしや。

◇下らぬ記事を發表するが故に滿鐵各地の社員を動搖せしむることは二日の八相面にもある如し。自分で自家を攪亂する、假りにも滿蒙を背負て立つ大會社として從事員の貧弱さには驚かざるを得ず。

◇再び言ふ釣り黨にも血もあり淚もある立派なる日本魂を有してゐる緊急の場合には鍛練されたる身心を以て國家の爲めに働きませう、腑甲斐ないとは過言ではないか。

市況（五日）

株式　東新百一圓　內地大引寢り

內地主力株の大引寢りを入れて當市の東新も百一圓と寢りに引けた

後場　◇延取引（單位十錢）

銘柄	寄付	高値	安値	大引
五品	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
新豆	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
錢鈔	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
大新	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
東新	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
鐘新	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

特產　豆油續落　投げ續出で

後場の定期は大豆豆粕高粱前場低落のあとを受けて一般的に小戾したが豆油のみは依然投げ續出で續落を呈した

◇定期後場（銀建）

▲大豆（强保合）（單位厘）　限月十月末、十一月末、十二月末、一月末、二月末　寄付・高値・安値・大引 [illegible]　出來高 百六十一車
▲普通大豆（出來不申）
▲豆粕（强含）（單位厘）　限月十月限、十一月限、十二月限、一月限、二月限　[illegible]　出來高 七萬七千枚
▲豆油（續落）（單位錢）　[illegible]
▲高粱（强調）（單位厘）　[illegible]　出來高 一萬二千五百箱

◇現物後場（銀建）

▲包米（出來不申）　出來高 五十一車

	寄付	大引
混保大豆（袋入）	五三三〇	五三一〇
普通大豆（袋物）	五二〇〇	五二二〇
出來高	二十車	
豆粕	一七五五	一七五〇
出來高	三萬一千枚	
豆油	出來不申	
高粱	出來不申	
包米	出來不申	

商品　綿糸反撥　麻袋見送り

綿糸　大阪三品大引は前場寄に比し期近二圓高先物三圓揚高と反撥し當市は手仕舞もので相當手合せをみた

銘柄	約定期	値段	梱數
福助	二月限	九三、三	五〇
同	同	九三、五	七〇
同	三月限	九三、四	六〇
同	同	九六、〇	一〇
出來高	百八十梱		

麻袋　出來不申

錢鈔　鈔票引續緩む

錢鈔後場は前場後半に引續き更に小緩み相當の商內をみた

◇定期取引（單位錢）　期近・遠期　寄付・高値・安値・大引 [illegible]　出來高（期近）百六萬五千圓（遠期）百五十三萬圓

◇現物取引（單位錢）　銀對金・銀對洋・金對洋　一時半、二時半、三時半 [illegible]　出來高（銀對金）二萬二千圓（銀對洋）四千圓

奧地市況

現物	▲奉天大洋	四四、四〇	四四、一五
先物	▲開原大洋	二二七、五〇	二二九、〇〇
現物		四四、二〇	
當限	▲安東鎭平銀	六六一	六五六

市場電報

神戶特產　先物▲哈爾濱大豆、現物▲哈爾濱小麥、大豆現物、大豆先物、豆粕現物、豆粕先物、滿洲小麥、豆油現物 [illegible]

東京株式（長期）　東新、東株新、五品先、豆信、豆新 [illegible]
東京株式（短期）　[illegible]
大阪株式　大株新、大紡新、鐘新、東新、日糖、郵船 [illegible]
大阪綿糸　十月、十一月、十二月、一月、二月、三月、四月 [illegible]
橫濱生糸　[illegible]
東京期米　[illegible]
大阪期米　[illegible]
神戶期米　[illegible]

家庭

お子たちの種痘 進んでお受なさい
滿洲に住む我々には特に肝要 細い注意の數々

この頃 警察署の前を通りますと種痘の立看板が出てゐますがこれは毎年春秋に行はれる事で今回は五日の月曜から今週の土曜日まで種痘をして來週にはその檢痘がある筈です、法規によつて強制的にやらされるのは出生より生後一年半までの嬰兒を第一期とし、數へ年十歳の子供を第二期としてそれぐ交番から種痘の通知がとゞいてゐる筈です、ですから

もしこの通知を受けたら當人がひどい營養傷害に陥つてゐるとか、蔓延性の皮膚病、熱性病或は其他重症の病を持つた子供でない限り必ず

種痘を 受けさせねばなりません、生後三ケ月も經てば大がいの赤ちやんは種痘しても差支へありませんし丈夫な赤ちやんであれば生後一ケ月位でも別に危險はありません、寧ろお誕生にもなつて手足の自由が利き走り廻る子供よりも生後數ケ月で未だ寢返りも出來ない赤ん坊の方がずつと樂で經過もいゝのです、つまり動けない赤ちやんであれば安眠が出來ないで泣いたりむづかつたりするだけですが少し大きくなりますと痒さのあまりつい引掻いたりしてしまふからです、若し痘疱が破れたりしますと

着物に くつついたりして痛み、なかなかかさぶたが出來ないばかりでなく、痘疱の中にたまつて徐々に吸收され體に免疫性を作る筈の膿が外へ流れ出るために折角種痘しても完全な免疫性が得られなくなるわけです、ですから第一期の種痘をさせるならなるべく小さいうちにおさせなさい、僅か位の風邪熱位なら種痘をしても別段差支へはありません、種痘がすみましたらなるべく擦らぬやうにして、被服も洋服よりも木綿か白ネルの袖の廣い襦袢にゆつくりした着物を着せた方がいゝでせう、種痘をしたら必ず繃帯するものと考へてゐる方もあるやうですが繃帯はしない方がよく、殊に固く繃帯を巻きますと痘疱がつぶれて

繃帯に くつゝいてなかなかあさがなほらないやうになります、こんな注意をしても若しつぶれたら天華粉かシツカロールを撒いて早く乾燥させねばなりません、入浴は身體に異狀がなく患部をぬらさなければ別に差支ないのですが、絶對に患部をぬらさぬといふことはなかなか困難ですし濡れるといろいろな危險が伴ひますからかさぶたが出來るまでは止めた方が安全です、その代り下着を度々取換へて清潔にし、患部にさはらないやうに體を温湯で拭いてやる位のことは保健上望ましい事です、小さい赤ちやんですと種痘のために可なりの高熱が出ることがありますが他に

原因が なければ熱さましや他の藥をあたへるのは避けて頭を水枕か氷嚢で冷やす位にした方が却て後の支障がありません、又この位の赤ちやんですと排泄物のために腰から下がよごれ勝ですから餘り熱が高くなければ時々腰から下を湯で洗つて綺麗にしてやります、かういふ細な注意を拂つて種痘させれば決して惡い結果を招くやうなことはありません、殊に滿洲に住んでゐる私共は朝夕衛生思想に乏しい不潔な支那人と接する機會が多いのですからなほさら種痘の必要があります、法定の種痘も最低限度の、しかも比較的安全地帯である日本內地を標準としたものであり、その上異民族から傳染した天然痘は非常に惡質のものである事は專門家の研究結果にも明かですから假令

法規の 種痘年齢でない人も出來るならば年に一回少くとも三年に一回位は種痘を受けたいものです、殊に第一期から第二期の種痘までの期間は隨分永く、若しこの間に感染でもしたら生命もはかられませんから五六歳頃に是非一度種痘する必要があります、大連市內の各警察署では市民全體の保健のために前記の期間中毎朝九時から午後三時まで希望者には誰にも無料で種痘を施してゐますから子供さんばかりでなく大人や年寄の方もなるべく種痘されるやうお勸めします

新しい半衿と帯揚

今秋から冬へのキモノに美しい彩りを添へる新らしい半衿と帯揚です、どつしりと手ごたへのある小濱地に上品な美しい草花を刺繍した半衿と、帯揚の裾段に入れた疋田絞りの精巧な出來榮をごらんなさい

東京人の容姿に現はれた階級性
羨ましいかず〲
内田秀子さんのお土産話

六月から三ケ月間東京に日本髪を主として美容結髪着附の方面を研究して最近歸連したすゞらん美容院の內田秀子さんを訪れました。

▼▽…**東京** へ行つて先づ第一に感じたことは婦人の方の容姿がよくその方々の感じていらつしやる階級を表明してゐることでした、商賣人のお內儀さんはお內儀さんらしく、お勤め人の奧さんは奧さんらしく、孃は孃らしく、令孃は令孃らしく、女優も、マネキンも、女給も、或はショップガールもみな一目でそれとわかるほどお化粧法に、髮形に、着附に、お召物の好みに判きりとその階級性が出てゐることで、これは大變いゝことだと思ひました、この邊は大連あたりは未だ未だで、どこのお孃樣かと思ふやうな方が奧樣だつたり、良家のお孃樣や奧樣が女給やマネキン、惡くいへば女給みたいなけばけばしいなりをなすつたりする方も稀に見うけますが、この點東京を學びたいものと思ひました。

▼▽…**一體** に東京では素人の方は髮でもお化粧でもなるべく技巧をさけて自然の美しさを生かしたお上品なのを好まれます、下町では新橋、日本橋あたりの藝妓衆の髮形が標準になるでせうが藝妓と素人のおかみさんでは丸でその粹なり氣品なりの味がちがひますからこれもちきに見分けがつきます、お孃樣と若奧樣のお召物でも同じやうに派手な物を召しても片方は如何にも初々しく、片方は派手な中にしとやかな落付いた柄を選ばれるやうで、髮形や着附にも同じやうな傾向が見えます。

▼▽…**女優** やマネキンは人氣商賣であるだけに萬事のつくりが派手でお化粧も一番上手ですがこれも結構なことだと思ひます、デパートのショップガールが質素ななりをしてゐるのを見て、本當に堅實な職業婦人としての彼女等の生活の斷面を見るやうでうれしうございました、かうしたいろいろの階級性の現れは別に故意に作り出すものではなくて本當に個性を生かすことが上手だからだとも云へませう、ですからあの點には

童話 鐵砲 (十一)
政本いさむ

チエモトはすつかり力を落しました。若狹を置いて一人だけで、どうして歸れよう。

「死んだのか生きてゐるのか、わしにはわからない。金兵衛の奴、乾度娘をかくしてゐるんだらう」

ぷんぷん怒りましたが、どうすることも出來ませんでした。

チエモトはすごすごと一人で船に歸つて行きました。

島の人は何だかわからない大きな葬式の長い行列について歩きました。

「金兵衛の奴、おれをだましたんだ」

チエモトは長い行列を見ながらいひました。

× ×

いよいよ異人さんの船が港から動き出した時、今まで落付いてゐた金兵衛さんは急に

「すまなかつた。許してくれ」

船の方に向いて手を合しました

船はだんだん島を離れました。

チエモトは一人きり甲板に立つて遙かに若狹のことを考へて居りました。

すると、一羽の白い鳥が船を追つかけるやうに飛んで來ました。

緑の空に高く飛んで、いつ迄もついて來ました。

二日、三日、四日船は大きな海を走りつゞけましたが白い鳥はいつ迄も船を慕つてついて來ました

時々帆柱の先にとまつては、疲れた羽を休めながら、しよんぼり立つてゐるチエモトを見下してゐました。

× ×

若狹はとうとう髮を切つて尼になつたさうです。

(附記)

チエモトが金兵衛さんのうちを出る時

「おれは七代祟つてやるぞ」

といつたので金兵衛さんのうちにはそれから七代の間、男の子がなかつたと言ひ傳へられて居ります。(をはり)

慰問袋 寄贈者名

▲一個づゝ田中健市、畔柳信次、渡邊義哉子、堂地政夫、三好四馬、宮本美枝子、昆野巽、同花代、同烈子、坂田尾治、鈴木正善、柳村市造、宮本美枝子、花木花、小又ノエ、小又丑藏、伊藤三郎、同ヨシノ、外村やなぎ、井ト千鶴子、浦江常代、齋藤慶彌、同貞子、近藤雅彦、同芳生、同和子、木野乙吉、藤川瀧榮、宮內好乃、古原仁男、宮崎鐵造、井上又一、市村トヨノ、森下貞次、池田祥子、池田今四郎、江口さみ、菅原信子、柏倉信一、笠原雅子、同美代子、松崎キワ、宿谷良一、前田勝則、逸見番三、三宅俊和、島田チトセ、佐藤平治、松山コト、廣津千代、根上義雄、石橋俊文、鹿島梅之助、小田うめ、志村多喜子、同ミツ、小松崎明子、村上久江、藤田旭、川上清江、深澤勝、谷口信夫、谷口節子、藤原眞成、岩下多惠子、藤元榮穗、柳生末子、毛利洋一、秋山松太郎、玉置よし子、西澤晴夫、田丸憲人、鴨脚正彦、同千鶴子、同俊子、同八重子、大津ます、大津克吉、向井春江、文の家藝妓一同、鳴瀬品代、磯トク、引場政子、櫻町しのぶ、白井ヒサ子、須藤長衛門、久山仲三、倉重光藏、近藤榮子、北原正子、原田淳三郎、會田多喜子、一老婆、八木岡教雄、桑田タツヨ、小嶺イセ子、內海和江、永村昌子、松元サツ、木村美代子、近藤トシ子、勝田牧藏、鳥越きみ子、濱尾マツイ、西山宗太郎、柿谷せん子、加世田シマ子、小沼リン、竹內さと子、小林類一

▲二個宛 山田於兎丸、好澤賢三、有働律記、辰田忠太郎、大森順彌、寺岡力太、山木フサ、榎本タマ、酒井竹子、西尾滿津興、藤島タマ子、田中アキノ、松尾榮、岡本千鶴子、飛田さみ、井上章、平井春枝、森輝子、吉永巖、本田光子、吉野重、西野定吉、大坪末吉、華田三太、東川國盛、池內清子、岡村權次郎、平野實德、高野正義、遠藤隆語、高木むつ子、岩崎出張所、高野伊太郎、大和田慶子、高橋清信、三田錦子、前田滿枝、渡邊仁之山道瑞子、無名氏、川口トシ、川原キワ、河合八郎、木須安二、柴田末藏、小島浩子、本多保、高山峰重、吉井廣隆、大武三男、宮原郁子、中川正男、小池鹿一、藤原勝、鈴木源太郎、小高兵司、宮本米子、可須水千代野、清水熊吉、牧野朔也、武藤清子、佐藤良助、牧田幸子、坂井くら、▲三個宛千田きの、二木保男、宮崎品、岩本キク、藤內商行、旅順民政署扱、井上きみ子、中島康郎、松見宅雄、立道よし子、堀ノ內壽々代、田中しな、増田道義▲四個宛本丸昌子、西山玉江、德山扱、旅順警察署、大橋ナミ子▲五個宛小室信二郎、更科內百合子、廣田、加世田五南子▲七個旅順工科大學生有志▲十個宛久保田齒科醫院、黒井忠一、▲十一個嶺前小學校五年有志▲十三個大連友の會、無名氏▲十六個大連聖公會員、永吉組扱▲二十個金福鐵路公司▲四十四個普蘭店支局扱▲四十五個無名氏金州桂月婦人會▲七十四個貔子窩支局扱▲百八十四個大連金光教會▲二百九個大連妙心寺

計千三百四十二個

總計一萬一千三百四十八個

血壓の話
牧野千代藏述

私は血壓の御話を致しまして滿洲巡遊の御土産に殘し皆さんの御身體の御注意に貢獻し汎く公衆衛生に裨益せん事を期します、可成簡單に御話し致し通俗的に御判りになるように述べたいと思ひます、抑々血壓問題は私が永い間研究しまして大正二年に東京に於て發表した問題でありまして此の血壓を自由自在に左右する事は牧野式血壓調整法でなくてはなりません、牧野式血壓調整法は生理的百ミリメートルの血壓が百三十ミリメートル、百五十ミリメートル、百八十ミリメートル、二百ミリメートル、二百三十ミリメートル、二百五十ミリメートル、と上昇しましても其高血壓をドシドシ下降せしめまして生理的「ノルマール」血壓百ミリメートル迄下降せしむる事が出來ます、此の牧野式血壓調整法は一つの條件がありまして血壓と體量の平均を云ふのであります血壓が百ミリメートルのときは體量も亦各人の骨格に應ずる體量でなくてはなりません、卽ち體量は瘦せてもならぬ、肥つてもならぬ丁度其人の骨格に應ずる目方でなくてはなりません

之れが所謂純健康體「ノルマール」でありまして此の血壓と體量の平均を保たない方は御身體の具合が何時も不平均ですからソコが惡い、コヽが惡いと苦んで居られます吾人は純健康でなくては義勇奉公の道を盡すことは出來ません

血壓

血壓とは心臟が動脈管を通じて血液を全身に送るとき動脈管の側壁に對して壓力が生ずるにより起る者で之れを血壓と稱します

吾人が普通健康の心臟を有する人は年齢を問はず生理的血壓百ミリメートルであります、述者は本年六十二歳でありますが血壓百ミリメートルで終始一貫保續して居ります又體量も骨格に應ずる體量十八貫五百匁內外を何時も保續して居りますから元氣旺盛精力絶倫で晝夜兼行催眠時間の如きは二時間か三時間で働いて居ります、要するに吾人は生きて此の世を處する以上はブラブラして不愉快で行くよりは元氣旺盛で世渡する方が遙に勝利であります

血壓上昇の原因

血壓の上昇は酒でも煙草でもありません左に其原理を簡單に述べます

吾人は胚胎後、母體の榮養受け胎兒となり小兒期となり年月を重ねて吾人の身體發育完成期となる、此の間に於て吾人の骨幹發育上に必要なる養素は石灰鹽なり此の石灰鹽は日常生活する飮食物中より攝取する者なり、卽ち其日常攝取する石灰鹽が骨幹の養素となりズンズン骨幹は發育延長し年齢二十歳程度にて骨幹の發育延長は停止致します、然る後は日常飮食物より攝取する石灰鹽は何れの養素になるかを追究せねばなりません、身體發育完成期後に日常飮食物より攝取する石灰鹽は骨幹の發育に不要產物となります、此の鹽類は或一部は新陳代謝機能により其產物として體外に排出せられますが大部分は全身の組織、組織間、細胞、細胞間質、其他諸臟器に沈着普通血管硬化症云々と稱しますが決して血管のみ硬變するのではありません、卽ち全身硬化であります

此の全身硬化性が新陳代謝機能に及ぼす影響は實に絶大であります卽ち全身到る所の機械の故障が起ります、所謂新陳代謝機病の起るのであります、述者は之れを血壓病と稱します

心臟及動脈管と血壓の關係

心臟と動脈管の關係は、ポンプとホースの關係なり、此のポンプとホースに異狀のないときは血壓は所謂生理的血壓百ミリメートルであります

心臟は生理的の大きさは各人の手拳大であります、此心臟が漸次肥大し動脈管の內經が異狀を來したり致しますと直接血壓に及ぼす關係は大なる者であります

心臟肥大と動脈管內經の異狀と血壓の上昇は必ず共通性の者でありますす今心臟肥大のと血壓の關係を申しますと

(一)心臟が生理的で各人の手拳大のときは、血壓は百ミリメートルであります

(二)心臟が肥大して一倍半大なるときは血壓は約百五十ミリメートル內外に昇ります

(三)心臟が肥大して二倍大となるときは血壓は約百八十ミリメートル內外であります

(四)心臟が肥大して三倍大となるときは血壓は約二百ミリメートル內外に昇つて居ります

(五)心臟が肥大して四倍大となるときは血壓は二百二十ミリメートル內外に昇つて居ります

上述の如く心臟は強大の力を以て自己の容積迄も擴大して血管に血液を送らんと努力致しますけれども血管の內經狹小となり其彈性異狀の爲め末梢小血管、毛細管に血液を送ることは出來ません故に血壓がドシドシ上昇致します

吾人の枯れ往く血壓
所謂牧野式枯死血壓

吾人が枯れ往く血壓を枯死血壓と稱します、此枯れ往く血壓は各人の年齢に百を加へたる程度の血壓が大概普通であります、例之三十歳の人は血壓百三十ミリメートル五十歳の人は血壓百五十ミリメートル、七十歳の人は血壓百七十ミリメートル、と申しますが此枯死血壓は駄目であります、此の枯死血壓で安心して居りますと、身體が自然に老境に入り老衰して遂には意外の變が參りまして枯れ往く樣になります

生理的血壓

生理的血壓は所謂血壓百ミリメートルであります、此生理的血壓を終始一貫保續するときは年齢を問はず元氣旺盛精力絶倫で世渡りが出來ます、御婦人方は牧野式健康法所謂血壓と體量の平均を保たるゝときは幾年經つても月經は閉止しません、月經閉止は所謂血壓病であります、此血壓に篤と御注意が肝要であります

血壓病

血壓病は所謂新陳代謝機能の病であります、卽ち吾人身體の機械の故障であります、其主なる者を列擧しますと

腦溢血(中風)、糖尿病、心臟病、腎臟病、腎臟病、腦神經衰弱症、瘦せた人、肥つた人、蒼白色の人、全身倦怠、肩凝、常習性頭痛、同頭重、眩暈、健忘症、腰痛、神經痛、振顫、陰萎症、痲痺、血管硬化症、萎縮腎、步行難、婦人月經閉止、老衰等であります、要するに病原が細菌細蟲に起因せざる病は總て血壓病であります

血壓病の治療法

血壓病の治療法を御參考に述べて置きますから各々皆さんの家庭醫の御方へ御相談になりまして其御醫者樣へ以下述ぶる治療法を御依賴になりますと直に治ります

抑も血壓病の治療法は牧野式血壓調整法に則らざれば治りません、其法は極めて簡單でありまして沃度を無害にして多量に體內に送るのであります、述者は第三マヨヂンの靜脈注入を致します其分量は體量五十基瓦に付第三マヨヂン四百五十瓦の割合で靜脈注入を致しますと幾年も苦んで居た血壓がドシドシ下降致します、然る時は血壓と體量の平均を取りますから所謂純健康體となります

述者が多年血壓宣傳に從事しました血壓宣傳の文句を左に御參考に記述致します

血壓宣傳

世界の人類はこの血壓病を免る可からず

又

血壓は生命を左右する者なり、血壓の變調は慢性不治の病となる

此の血壓病により吾人々類は悉く死亡す

牧野式血壓調整法により血壓を調整せよ

又

腦溢血の治療

腦溢血(中風)の豫防は此の血壓の調整にあり

病原體(細菌、細蟲)に原因せざる

・糖尿病 心臟病

腦病 腎臟病

◎瘦せた人

◎肥つた人

◎蒼白色の人

頭重、頭痛、眩暈、健忘症、肩凝、腰痛、振顫、陰萎症、痲痺

血管硬化、萎縮腎

◎全身倦怠

◎步行[illegible]

◎婦人の月經閉止

◎吾人の老衰

◎吾人の死亡

之れ皆血壓病なり

之れ皆血壓病なり

國家を患ふる士は此の恐るべき血壓を調整せよ、血壓病を治せ

牧野式血壓調整法は體量と血壓の平均を云ふなり

體量は各人骨格に應ずる體量を保ち、◎瘦せてもならぬ、◎肥つてもならぬ

血壓は生理的血壓百ミリメートルを保たざる可らず、之れを牧野式健康法と稱す

血壓を調整せば吾人は元氣旺盛精力絶倫の人となる老衰は豫防され、老衰は癒る、皺は無くなる、容貌が若くなる

所謂牧野式若返りが出來る

此血壓病こそ亡國病なり

此血壓病以上恐るべき亡國病なし、滿天下の人類一人として此血壓病に罹らざる者なし

◎血壓下降して零ミリメートルは所謂心臟痲痺

◎血壓昇騰し血壓百十ミリメートルで新陳代謝機病發病し百五十ミリメートル內外となるときは糖尿病若くは腎臟病又は心臟病其他病原體に原因せざる萬病が發病されるのである而して血壓上昇して百八十ミリメートル乃至二百五十ミリメートルとなるときは所謂血管破裂なり故に血壓百八十ミリメートルは牧野式危險界なりとす

◎血壓計は牧野式生命計なり

◎此血壓測定により生命の判斷が出來る

血壓病は所謂新陳代謝機能の病なり、血壓の調整は生理的機能の調整なり。

血壓宣傳附錄
牧野式沃度療法

(一)牧野式沃度療法は何故に萬病を治癒せしむるか

沃度は造鹽素なり宇宙間に存在する總ての物と化學的抱合をなす者であります且つ偉大なる化學的殺菌力を有する者です夫故に沃度が身體內に入るときは生理的以外の不安定不必要の物と直に化學的抱合をなし加之新陳代謝機能を頓に促進せしむる能力を有するが故に身體內における沃度の化合體は悉く新陳代謝機能の旺盛により極めて迅かに體外に排出せしむるのであります所謂組織の洗濯をなす者です且つ各種病原體を化學的に殺す

(二)牧野式沃度療法を左の二種に區別す

其一

牧野式生理的療法及牧野式化學的療法二とす

牧野式生理的療法とは如何なる者ぞ

沃度は血管擴張を起す偉大なる性能を有する者であります

血管擴張を起すときは頓に新陳代謝機能が旺盛となるのであります、血管擴張とは大、中、小血管、毛細血管の擴張を云ふなり、加之淋巴管の擴張をなす者なり故に血壓亢進症の如きは血壓頓に下降する者です

此新陳代謝機能が旺盛し加之沃度獨得の作用により體內の石灰鹽にせよ脂肪體にせよ其他總て生理的に不必要なる者と化學的抱合をなし身體內の大掃除をなすのです特に病的變化の部分を速かに取除き組織の再生機能を促進するのであります

故に沃度を生體內に注入するときは灌漑溝が完成し排水溝も亦完成し加之大掃除が出來まして其上大修繕も完成し完全無缺の身體となるのです

其二

牧野式化學的療法とは如何なる者を云ふか

牧野式化學的療法は吾人々類に向ふて發病せしむる總ての病原體を化學的に滅殺するにあり

沃度は化學的殺菌力と殺蟲力を有す、結核菌を速かに滅菌す

梅毒「スペロヘータ」を速かに滅菌す、丹毒の連鎖狀菌を速かに滅殺す、肺炎双球菌を速かに滅殺す

其他球菌族、桿菌族、スペロヘータ族、細蟲族及び各種傳染病の病原體に至る迄總てを滅殺す

之れを牧野式化學的療法と稱す

以上の二作用により萬病を治する者なり

終りに望んで一言話します

在滿同胞貴顯諸賢諸姉よ血壓なる者は上述の如く吾人の生命を左右する者なれば家庭醫の御方と御相談なされて特に御注意ありて終始一貫純健康體となり義勇奉公の實を擧げられん事を切に希望して止まざる所であります。(終)

滿日各地版

部落民馬賊に投じ支那人總てが匪賊 その後奥地方の狀況

【奉天】今回の事件で奥地居住邦人は續々奉天に引揚げて來るが是等避難民の齎した昨今各地における狀況は左の通りである

柳河地方 柳河北山城子、海龍を中心とする内地人廿一名、鮮人一名合計廿二名は日高巡査に護衛され海龍から吉林に出で吉長線から長春經由で四日夜九時奉天に着いた、北山城子より瀋海線で奉天に歸ればその五分の一もかゝらぬが北山城子奉天間の營盤方面には目下王以哲の敗殘兵が横行し虐殺、掠奪を行ふ始末に危險極まりないので比較的安全な吉海線を經て吉林に出て歸奉したものである同方面の避難民はこれで大部分引揚げたがその中には内地人の狂婦人も加はつてゐた、目下の處賊の横行は盛んであるが暴行を行ふ程のこともないし又同地方の支那官憲も邦人に對し責任を以て保護するその代りに日本軍隊を入れて貰ひたくないことを希望してゐるしかしその責任保護も當にならぬので萬一を慮り引揚げて來たのである

新民府地方 新民府附近は一部落を殘しどの部落民も馬賊に投じてゐるそれに敗殘兵も加はつて支那人殆どが匪賊といつてもよい狀態である、しかも彼等は掠奪を行つた上に放火をするので良民の脅威は一通りでない新民府に於ても是等の匪賊襲來の噂が度々起りその度毎に町民は吾先に戸を固く締めて仕舞ふといふ全く文字通り戰々兢々の有樣である、縣長なども居て「日本軍は歸らずにゐて貰ひたい縣長の方で責任を以て邦人を保護するから」と稱してゐるがこれも全く保證の限りにあらずである、之がため同地方居住良民はどこの軍隊でもよいからこれ等の賊が横行しないやうに嚴重に取締つて貰ひたいと願望してゐる

通遼地方 通遼の居住邦人は去月廿六日全部引揚げ農場員と鮮人がゐるのみである目下の處何時通遼に歸られるか不明である同地には支那兵がまだ二個中隊殘つてゐるが警備などはされて居らず人心恟々の態である、滿鐵社員坪井氏を人質として去つた馬賊は蒙古人であることが判明したが何處の方面に拉去したか見當もつかぬ

そして農場との通信もその間支那人のため遮斷され詳細なことは判らぬ同地方鮮人も目下秋の收穫時期ではあるがこれをされば賊團が來て全部持ち去る始末に鮮農は銃を所持せしめられたいと希望してゐる程であるがため本年の收穫は平年より幾分多いと豫想されてゐたものも是等匪賊の横行掠奪で收穫は皆無となりはせぬかと憂慮されてゐる

瀋海沿線一帶の匪賊を掃蕩 わが軍出動の詳報

【撫順】既電奥地鮮農保護鐵策確立の爲四日わが出動軍の詳報、當日わが軍編成はまづ島本大隊長の率ゆる獨立守備隊第二大隊三個中隊と第六大隊の二個中隊が主力であつた、是に參加した撫順守備隊は川上中隊長、村上、角田兩中尉以下百餘名午前五時半營門を出發六時半瀋海線撫順驛に到着本隊と合し七時三十分撫順站を發車したまづ同出動隊の列車は威容全く堂々たるもので先頭には裝甲列車三臺是に客車六輛、飲料水食料兵器レール馬匹等滿載の貨車五輛計十四輛と機關車四輛を以て構成され壯觀そのものゝ如くであつた、尚これよりさきモーターカー二臺は鐵路偵察のため進んだのであるが果然驛馬站石門寨間の線路一本は完全除去一本は犬釘を悉く拔き必然そのまゝ進めばわが軍の列車は顚覆されるのであつたがモーターカー隊で逸早く是を發見幸ひ事なきを得た

而し本隊は下章營驛で全部下車しそれより敗兵掃蕩實狀視察並びに日支居住農民に絶對的安心を與ふる等の目的で同所より三隊に分れ一は下哈達を迂廻營盤に一隊は瀋海線路兩側にそひ一隊は渾河右岸に副ひ何れも營盤めざして進軍した、わが隊の勇姿を見た支鮮住民は歡喜して是を迎へ始めて安堵せる態であつた、玆に劇的シーンを展開したのは下哈達附近その他山間樹林中に兵匪の難を逃れて鮮農が隨所に飛び出し帽を振り双手を高らかにかゝげ日本軍萬歳を連呼し前進中の將卒に縋り感激の涙に咽んでゐた一事である、斯くして渾河に沿ひて進みし隊は午後零時三十分鐵嶺に向ひし隊は同一時下哈達を右廻せる隊は同三時三十分何れも目的地營盤に到着、その間逸早く逃走したる兵匪の影は全く認められず一彈をも費さずして上述各地居住鮮支農民にもう大安心だとの拔くべからざる信念を與へ得たのであつた

營盤驛頭支那官民は兵匪掃蕩の我軍來るや逃げる處か是亦非常な安心を得衷心好感を以て續々出迎へ湯茶の準備をする者豚數匹をわが軍門に慰問のため獻ずるもの等續々と押掛けた是は如何に皇軍を中國大衆が信頼するかを裏書したものであつた、尚同地方中國民間代表者としては山城子農商務會長、公安局長等二十數名が遠路馳せつけその出動は我々中國居住民を殘虐なる兵匪から救濟するものと感謝してゐた、一方是にも增し喜悦を湛へて迎へたのは同地方在留邦人代表者渡邊龍藏、小島熊太郎兩氏、山城鎭病院長中島敏夫、海龍領事分館員岡宗義、館澤氏等でビール四箱、煙草四箱、菓子十箱等を運び來り出動軍の勞をねぎらふ所あつた

在留邦人並びに鮮人及び一般支那住民の將來の生命財産保障の重要なる日支代表者の會見は同日午後五時營盤驛長室において行はれたのである、今や同地方の兵馬の實權を握る東邊防司令于芷山はその治安維持全般の責務を司る傅參謀長をして吾が軍を迎へしめ島本大隊長と會見、島本中佐は峻嚴なる態度を以つて兵匪の殘虐行爲を默認するは日鮮居留民の脅威のみならず中國良民の不幸である故貴官にして責任を持ち得ざる場合は遺憾ながら吾が軍はこのまゝ直に軍事行動に移るが如何との最後的聲明に對し傅參謀長は東邊地帶一帶の警備は充分わが手でなし得る狀態に還元してる故今後は日鮮居住民の生命財産は于芷山並びに私に依り絶對的に保障すると誓ひ驛前廣場に屯す精鋭なる吾が軍を見て完全に慄へあがつてゐたのでわが隊今回出動の根本目的は上述以外にないので玆に傅參謀長の提示せる誓約書二通に調印を了し午後六時五分營盤發裝甲列車で歸隊の途につき同七時半撫順站着それより本隊は奉天へ撫順守備隊は同驛で夕食を認め同九時兵營内に歸隊したのである

敗走兵は總べて于氏麾下に統制 王以哲の支配を脱す

【撫順】撫順、鐵嶺等の背後地現下の兵權は何處へ行つたか？別稿の四日營盤方面に出動したる有力な撫順守備隊の一將校の語る處に依ると舊部下數千をひつさげ奥地各縣下鮮農を掠奪、虐殺、婦女暴行等を恣にしてゐた北大營殘將王以哲も何等か方向轉換をせざる限りその運命は正に迫り一說には既に吉林方面に逃亡したと謂はれてゐる、而して北大營を脱して以來暴報の如く暴虐の限りをつくしてゐた數千の敗殘兵は武裝解除された者又は山城子にある護路軍の總取締であり東邊防鎭守司于芷山のもとに集結されつゝある從つて惡逆行爲の總指揮官王以哲の支配を脱し今やその大部隊は于芷山の秩序ある統制下に置かれる事となり北山城子を中心として西南八家子三家子、南雜木一帶は勿論、西北西豐、海龍、東豐、東南興京、通化一帶即ち南滿で鮮農の最も多く居住する地域の兵權は時局直後の變態たる王以哲を離れ于芷山に移つた、從つて于芷山にして誠意ある治安維持をなす以上同地方一帶の邦人並に鮮農の生命財産は保障される筈であると

した、放棄するより外なしと斷念せる一年間苦心の結晶たる收穫物の取入も出來る事となつたので彼等の喜びは正に譬へやうなく帝國官憲の至らざるなき保護に感泣喜々として欄攬へ歸途に就いた

西安の邦人 鐵嶺に引揚

【鐵嶺】敗兵團殺到せる爲め頗る危險に陷つた西安大疫痘の居留邦人村上巡査以下十五名は支那側公安大隊に避難してゐたが鐵嶺領事館から引揚命令が發せられたので二日同地出發撫順を經て三日無事に開原まで引揚げた

八十名の馬賊 我騎兵隊と交戰

【公主嶺】馬賊の動靜公主嶺支那町を襲撃放火激戰の馬賊慘劇事件後大小の馬賊團は當地を中心とし附近部落を横行之れが警防に不眠不休警官の活動中四日午前一時賊山好を頭目とせる八十名の騎馬賊は當市を距る北方二十支里の地點に頭目黑龍の率ゆる三十餘名の賊團は東方十支里の地點に移動し來り形勢頗る不穩となり嚴戒中支那町衙門に四日午後九時支那町を襲撃すとの馬賊の大集團より脅迫狀が舞込んだので住民は戰々兢々貴重品を附屬地に運搬しつゝありとの情報に騎兵聯隊より下士以下六名の斥候出動同日午前十時東南方（邦里）一里半の地點に於て移動賊團の先發隊と遭遇交戰一時に亘りこれを擊退歸隊し各方面に賊の行動を報じたので要所の警備を嚴にしたのであるが同夜はことなくすみたるも今尚嚴戒中である

敗兵鐵西に移動 滿鐵線路を横斷して 四日以來續々と潛行

【鐵嶺】三日夜來敗殘兵の大部隊が新臺子鐵嶺間の滿鐵線を横斷し續々西方に向ひつゝありとの情報に亂石山西方の沙河子柴家屯等に居住する鮮農三百餘名は東部大甸子方面の二の舞を恐れて續々避難を開始し四日朝までには殆ど引揚げた模樣であり而も四日未明柴家屯方面に炎々たる火焰擧がり敗兵の放火が開始されたる如く見受けられたため鐵嶺守備隊警察隊は急遽特別班を亂石山に派し附近一帶を警戒し四日朝六時吉川大尉指揮の下に二十九名の守備兵警察官通譯等は沙河子柴家屯濕牛堡子等各部落を視察正午歸來したが其報告によると、同地方は一兵の姿を見ず柴家屯には四日午前三時頃三十名、四十名の二組通過せるも遼河を越えて法庫縣内に入り孤家子にも同時三百名、四百名の二團通過して同樣法庫縣へ向ひたるが同部隊は孤家子新臺子間に於て阿牛堡子の村長を捉へ大洋百六十餘元を強奪した、右敗兵は何れも四日午前零時頃康家屯の踏切を横斷して西方に向つた模樣あり尚此ほか四日午前三時頃濕牛堡子に八、九百名の一團到着したるも直に河を渡つて新民法庫方面に移動した模樣である、斯くして今まで東部方面に潛行してゐた敗兵は鐵嶺守備隊重松大隊の出動によつて全く進退に窮し東部潛行の危險を知つて西方に移動せんとせるものゝやうであるが各地とも何等被害なく柴家屯方面の火焰はこれ等敗兵團がその友軍に所在を知らしむるための烽火に過ぎなかつたと

夫の死場所を弔ひ去りやらぬ遺族の涙 戰死者の遺族激戰の跡を弔ふ

【長春】南嶺、寬城子の戰蹟見學者は憲兵隊の許可を得て毎日押かけ忠勇義烈なる皇軍の戰死者を弔ひその慘澹たる激戰を回想して慘烈極まる支那軍の蠻行無秩序をにくんでゐるが戰歿者慰靈祭の前日即ち三日には公主嶺獨立守備隊戰死者遺族が内地歸還前是非夫の戰死した跡を弔ひたいといふ處から南嶺の戰蹟を訪れ、實戰に參加した守備隊の將校はこれを案内して前市岡大尉の戰死した處は此の地點、薦田少尉は此處とその戰鬪當時から最後の戰死までを詳細に説明したものである、國に殉ずる軍人の妻子とは云へ夫の死が何で悲しまずにゐられようか、遺族は夫の奮戰遂に暴虐なる支那兵のため斃れた地點を去りもきらず潸然として其の靈を慰め案内者の歸路をうながすのも耳に入らぬか歸らうともせず果ては夫の身體から流れた血潮の跡をハンケチに掴取つてヤット歸つたといふ悲しいエピソードも殘されてゐるが、軍部では近く南嶺の兵營で完全に殘つてゐるのを修理して駐屯軍越冬のため野砲隊、重砲隊及び歩兵の一部を收容し他の兵營全部は全部破壞燒却の筈である、尚砲彈、手榴彈、小銃彈等多數發見されてゐるので之は一纏めにして一兩日中に爆破處分に附することゝなつてゐる

この軍人にこの國民あり 感謝せしめる數々

【長春】長春の日支事變に於て市民が軍に献心的に援助したことは軍としても感激おく能はないところであらうが魏兒溝及白警廳の寬城子戰に於て戰傷者を第一線から擔架で後送應援したこと工建現業組合員が寬城子、南嶺兩戰で捕獲した戰利品の運搬、野砲軍馬の雨にうたれるのを見て一致團結し馬舍を築造して寄附したこと等は寧ろ全市民をして如何に感激奮させたか知れぬ二百頭以上の軍馬が北滿の冷たい雨にうたれながら止むを得ないとは云へ放置してあつたのを見た市民は恐らく國のため身命を賭して働く軍馬のため同情の涙を寄せたであらう、大連近江町碇子隆三氏が

拜啓貴組合益々御繁榮の段奉賀候陳者本日滿洲日報紙上にて承り候へば今回の日支事變出征軍の最も重要なる軍馬に對し馬舍を建築御寄附の由誠に美擧の事と存じ奉り候就ては誠に僅少にて候へ共貴組合今回の馬舍建築費中に御加へ被下度金十圓也を御送附申候間御納め被下度候

長春現業組合に寄せられたなどは日本人を除いて見出せない義擧であらうと組合でも寧ろ恐縮の態である、滿蒙權益擁護のため國に殉する軍人これを支援する國民この協力が日本をして強からしめるところであらうと思はれる

沿線往來

▲三宅關東軍參謀長 五日長春より奉天へ
▲森守備隊司令官 四日奉天へ
▲羽田滿鐵々道部次長 同上
▲佐竹滿鐵理事 四日大連へ
▲平田第廿九聯隊長 四日奉天へ
▲棟居拓務書記官 五日釜山へ
▲濵田陸軍省副官 五日長春へ

避難した鮮農達耕地に歸る 五日汽車で撫順出發

【撫順】島本大隊今回の英斷は實に奥地日鮮支農民始め一般居住民に太平の安心を與へ北大營の敗殘兵以來十數日に亘り兵匪に蹂躙された鐵嶺清原その他各縣の治安維持確立の根幹玆に成つたのでその徹底的救濟方策に惱み危機を傳へられてゐた避難鮮農問題も急轉解決に向ふ事となつた、同出動隊に參加奥地現狀を確めたる川上第二中隊長は四日午後十時守備隊に避難鮮農代表者を招致左記實狀を語つた

諸子の元耕地治安維持大體は全くなつた決して心配する事はない只今後とも三人五人の便衣賊の出沒は保證出來ないが是等は奥地の事であり事變前と何等異ならぬ譯だ所謂敗殘兵として多數部隊の掠奪横行は斷じてない保證する

かくて右代表は喜々として民會に歸り各自歸農するか否かに就き相談する處あつた一方寺 警察署長岩崎高等主任は川上中隊長と熟議且つ避難鮮農の意見も聽き五日各耕地に歸農さす事と確定した、撫順縣下より避難せる殘部は午前直に歸農さし賀撫順縣公安局長を撫順署に招致寺田署長より將來の警備に就て注意する所あつた尚鐵嶺縣下より避難せる者で民會で收容せる百四十五名も歸農さす事となつたが第に懸念されるのは撫順鐵嶺兩縣境に今尚少部隊の敗兵横行すとの噂及び鐵嶺署の情報に依り萬全の策を執り鐵嶺附屬地まで汽車で歸し同處より安全地帶を通り各耕地に復歸さす事となつた所が滿鐵交涉の結果汽車賃半額は成立したが殘餘旅費はおろか辨當代もないので民會の殘金及び撫順署に保管せる貧民救濟金の内より金百圓を與へ五日午後三時五十五分列車で前記百四十五名全部を歸農さした

鴨綠江沿岸に再び侮日氣風 わが當局の態度注視

【奉天】排日の最も盛んな鴨綠江沿岸の支那一般官民は今回の事件後非常に緊張し日本の强硬なる態度に怯えてゐたが其後漸次平靜に歸すると共に排日、侮日の態度が再び起り而して支那人要人は日本政府の聲明、聯盟の模樣、出先外交官の言動に對し慎重な注意を拂ひ若し日本側が時局の收拾を急ぎ或は極めて平和裡に解決せんとすれば彼等は直に之に乘じて事をなさんとする色彩が濃厚となつて來たと

御下賜繃帶傳達式 五日午前臨時長春衛戍病院内で皇后陛下御下賜の繃帶傳達式が行はれた、寫眞は木下衛戍病院長より繃帶を拜する負傷兵第四聯隊代表佐々木少尉

布告破棄の主犯 蕭共天處罰さる

【開原】既報の開原城內に貼示した軍司令官守備隊司令官の布告三十餘枚を廿八日の一夜の內に破棄殘餘の布告面に排日の文字を大書せし主犯者開原城內居住蕭共天(二〇)は犯行の一切を自白したるを以て飯田中隊長は十月五日午前七時軍法に照し練兵場に於て銃殺し同日午前九時死體は佟縣長尹公安局長に引渡した、尙共犯の疑ひ深かりし金夢周外四名は誓約書を提出せしめ身柄は同じく佟縣長に引渡した、主犯蕭共天の父は元陸軍聯合軍團司令部軍械教育班教官の要職に在り退職後は開原城內に安穩してゐるので生活に不足なき家庭に生れ老母弟妹あり昨春開原縣立中學校を優等で卒業した前途ある青年であつたが外交協會幹事載濟民に誘惑されて以來總ての智能を排日に向け主席幹事として働いたが遂に後悔も及ばざる軍大事を敢行したもの事である十月三日は飯田隊長の許可を得て老父母へ左の如き書面を送つた

兒の不注意により無意識の內に爲せし行爲が斯かる重大なる結果を招き全城の住民に多大の迷惑を懸けし不孝なる罪は何とも申譯なし兒が國民外交會に携はりし事は御承知の如く吉林に赴きたる載濟民(元國民外交協會主席)の懇請もだし難く入會せしものにして今之を顧みるに載より操つられし感あり今に至つて己の不甲斐なきを後悔すれども詮なく兒は既に覺悟しつゝあるも未だ處分決せず帝國主義の日本軍人は血も淚もあつて兒の要求を悉く容れ食事も暖も充分に優遇されつゝあり老父母よ御安心あれ兒は今や全身後悔の念に燃え兒は己が身の痛みをも感ぜず唯だ老父母に孝養を盡し得ざりし事を悲しむ何卒兒は亡き者として諦められん事を

十月三日日本守備隊に於て 兒 蕭共天拜

移動兵約四千

【鐵嶺】四日夜鐵嶺南方の鐵道を橫斷し西方に移動したる敗兵はその數約四千と見られ何れも當縣下第八區大康屯、阿牛堡子、烏巴海(共に鐵嶺西方七十支里)に分宿し大康屯の分は五日早朝出發法庫縣に向ひ他の部隊は尙滯留中の模樣であると

法庫縣內動搖

【鐵嶺】法庫門では鐵嶺縣から數千の敗兵來るとの情報に市民は戰々兢々とし人心頗る動搖の模樣であるが縣長は既に法庫縣內には斷じて入らしめざるやう手配してあり敗兵は新民彰武方面に向ふであらうと言明してゐる、尙法庫門南方には約八百名の優勢馬賊あり市街襲擊の機を狙ひつゝありとの報あり法庫門市民は敗兵と馬賊とで頗る恐怖してゐると

入江氏奉天へ

【奉天】全滿商議聯合會上京委員と共に滿鐵及び關東廳を訪問せる入江副會頭は五日朝歸奉したが語る

四日は關東廳を訪問し塚本長官と約一時間に亘る會見をなし續いて滿鐵正副總裁とも一時間餘會談し決議文を手交の上諒解を求めて來た、滿鐵側正副總裁に對しては時局以來支那側の態度が軟化してゐるのに樂觀してゐる樣子があつたのでこれは支那側の通常例であることを告げて置いた、尙上京委員は四日出帆大阪で藤田會頭と落ち合ふことになつてゐる

撫順選炭競爭

【撫順】選炭の如何は市場爭覇に重大な關係あるので撫順炭礦係では七月一日より九月末日まで三ケ月間各選炭所の選炭競爭を行ひ爾來その結果に就き嚴密中の處左記入賞決定優勝大盃は大山選炭所の得る處となつた

△一等大山選炭所△二等萬達屋選炭所△三等老虎臺選炭所△四等龍鳳選炭所

歸國したさに 鮮女嘘の訴へ

【撫順】支人亭主に持つ鮮女が望鄕心やみがたく旅費捻出策から強盜の虛僞の訴へ――松田街南一番地華工宿舍許文仁妻朝鮮京畿道生れ金氏(二〇)は十八歲の時文仁の妻となり最近一度故鄕へ歸り度ひ一念から最近籌金の這入つたのを旅費にすべく隱匿御丁寧に四日午後十一時頃拳銃所持の三名組強盜が侵入金七百圓を強奪されたと訴へ警察は非常線を張るやら大騷ぎをやらした酬いで拘留五日

戰死者告別式

【鐵嶺】吉林松花江畔に於て名譽の戰死を遂げたる鐵嶺工兵隊故小林上等兵の告別式は五日午前九時半より營庭に於て執行されたが在鐵各團體官民二百餘名參列盛大を極め各宗僧侶の讀經に次で花井中隊長(代讀)小野新潟縣人會長以下名士の弔詞多く參列者一同燒香し鐵嶺始めての戰死者とて盛んな告別式であつた、遺骨は同日午後零時半特急で戰友に護られ鄕里新潟に向つた

開原

治安維持會

十月三日開原城內の各界有志協議の上新に治安維持會を組織したが取敢ず元縣長佟玉塀氏を會長に元公安局長尹連元氏を副會長に推薦し城內外の治安維持に當る事になつたと

病死兵告別式

開原守備隊步兵上等兵佐藤小太郞君は病魔に侵され鐵嶺衞戍病院に入院加療中であつたが不幸十月九日遂に永眠したので十月九日午前十時開原守備隊に於て告別式を執行する旨通知があつた在住者は成るべく多數參拜し哀悼を表すべきである

外交協會解散

開原外交協會は昭和五年八月遼寧省外交協會の指導を受け本部を開原城內縣教育會內に設置し縣立師範、女子師範、中學、職業中學、滿眞小學師範附屬小學外縣下百五十校の全學生を網羅しその幹事には前記各學校の教職員及び學生々徒の有力者約二百四十名でその背後には縣長商務會長等の後援ありて各縣共同樣の組織を以て相互の連絡をとり根強く活動して居たが今次蕭共天の重大犯行に依り飯田隊長は直に同會に解散を命じ排日の根源を絕つのみか佟縣長尹公安局長をして將來之れに類似の會合をも嚴重取締る事を誓はしめた

鐵嶺

鮮農救援隊

去る一日以來奧地鮮農救援と被害狀況調査のため大甸子方面に出動した鐵嶺警察署渡邊警部の一行は各地の調査並に被害狀況を寫眞に撮り鮮農の保護方法に就て支那側とも充分交涉し遂く白旗寨方面にまで出動して無事その任を了へ三日午前十時半元氣で歸鐵したが一行が各地で調査した被害狀況は虐殺十九名(一行の檢視したるもののみ)負傷三名、放火全燒廿一戶破壞掠奪五十六戶に達したが刈入れた粮は全部燒棄られたのでこの損害は莫大であると

中山中隊歸る

鐵嶺開原縣下の敗兵掃蕩に出動した鐵嶺守備隊中山中隊は鷄冠山に於て渡邊警部一行の警察隊と別れ開原縣下柴河溝に向ひ此處で重松大隊と合流し各地の敗兵を追ひつゝ開原附屬地に出で五日午後二時半着列車にて歸鐵した

撫順

軍隊に感謝狀

今回の日支事變に際し暴戾なる學良一派を掃蕩わが滿洲の特殊權益確保東北四省眞の中國大衆の福祉增進のため事件發生以來日夜東奔西走した關東軍及び獨立守備隊各將卒勞問の爲五日午前六時十分發列車にて撫順在住民を代表して宮澤庶務課長、田中實業協會長、福永局長渡邊社員會撫順聯合會長窪田利平、寺西奎之、大橋組三の各氏相連れ赴奉本庄軍司令官に感謝の辭を述べ併せて感謝狀を贈呈する處あつた、次で今回の事變に壯烈護國の神となれる新國伍長、增子上等兵の追悼會にも參列した

戰歿者慰靈祭

北大營の戰ひに名譽の戰死を遂げたる新國伍長、增子上等兵の慰靈祭は五日午後一時三十分より奉天忠靈塔前で雲集する參列官民肅然たるなかに行はれたが撫順守備隊よりは川上守備隊長、角田、村上中尉以下將卒多數午前九時三十五分列車で赴奉參列午後五時三十五分着で歸隊した

鞍山

事變映畫公開

鞍山地方事務所社會係主催鞍山各新聞支局後援の下に六、七の兩日間午後六時より北二條町鞍樂館に於て時局の實寫日支衝突事變第一報を公開すると入場料大人四十錢

候氏無事歸る

鞍山滿鐵支店出納係候立峰氏は馬賊の人質となり拉致されて居たが五日午前十一時頃歸宅衰弱のため臥床引籠り中だと

右近氏等赴連

鞍山製鐵所右近庶務課長長井庶務會計主任は來年度豫算編成のため四日夜行にて大連滿鐵本社に出張した

遼陽

縣城は極平穩

【遼陽】遼陽縣各機關に對し一日付在錦州臨時遼寧省政府から爾今一切の公翰は同省宛に付方通牒があつたが各機關共目下の處觀望態度であるのみならず城內四鄕各村民は一時人心動搖不安の念に狩られて居たが關東軍司令官の布告後は農商民何れも活氣を呈し物價も漸落し市中全く平穩に歸しつゝあり

共同討伐希望

支那官憲は匪賊討伐に關しては常に武器彈藥の補給が不充分なる爲め目的の達成上相當困難を感じ却て匪賊に逆襲されると云ふ場合もあるのでこの際日本側と共同討伐を行ひ實績を擧げたき希望を有して居る

千射會納會

滿鐵遼陽大弓道場では弓友俱樂部員も加はり千射會を催したが五日午後四時から月並會に兼納會を催したが千射會參加者三十餘名で一等賞は山崎領事で參加者には全部記念メダルを贈呈したと

野村氏嚴父

遼陽地方事務所社會主事野村茂里氏嚴父富治(六五)氏は豫而病氣靜養中の處同日東京に於て死去したる旨の急電に接し五日急行で朝鮮經由上京した

營口

營口市民大會

營口市民協會、滿洲自主同盟營口支部、滿洲青年聯盟營口支部の發起にかゝる市民大會は四日午後七時から公會堂に開催され加藤讓次氏の開會の辭に次で座長の推薦ありて松本貞男氏當選し座長席に就き宣言決議起草委員の推薦あり加藤讓次、坂井喜則、安彥英三、樋口親藏、小川義和、松本貞男の諸氏擧げられ別室に於て宣言書を作成し松本座長より宣言書及決議文を朗讀し一同の贊成を求めたるに滿場割るゝばかりの喝采裡に可決しこれより演說會に入り尾崎久市、岡松乾丈、樋口親藏、伊藤與次、上田正喜、古川米吉、小川義和氏其他數氏の熱烈なる演說あり何れも舌端火を吐く如き熱辯を振ひ滿堂溢るゝばかりの聽衆に深き感動を與へ聽衆皆悲憤慷慨して支那官憲の暴逆無道を憤り切齒扼腕するもの多かつた該宣言書は關係方面に打電した

瓦房店

父兄會に寄贈

瓦房店小學校兒童鹿島晴子及び操の兩氏より在學記念として金十圓を父兄會に寄贈した

補習生徒募集

瓦房店實業補習學校にては本年度後期生徒を募集することゝなつたが學科は國語、算術、支那語等で授業料は一期間金一圓始業は十月七日よりの豫定但し各學科につき志願者十五名に達せざる時は開講せざる由

旅順

祝賀會を中止

來る十日の双十節當日に際し在旅順の學生青年會等は記念祝賀會を催し演說演劇等を行つて來たので公議會では逐次會合をなし協議會を開いた結果本年は時局柄これ等の會合を中止することに決したので各學生團體、青年會等も自然中止すると

鄕軍臨時大會

在鄕軍人旅順分會では時局突發と同時に自警團急設その他のため多忙を極めつゝあつたが出動部隊に對する謝意激勵並に國家の現狀に對する態度、輿論の喚起に關し近く臨時大會を開催せんとの議があるので理事幹事間にては目下打合せ中である

燈臺電燈敷設

旅順港務支局では兼て計畫中の老虎尾半島燈臺の電燈敷設及び半島突端に施設さる霧笛信號工事は目下民政署森本電氣主任に委囑し研究設計中であるが假算約四千圓位で霧笛信號は主として老鐵山突端迄聞える強音なものであると

傳染病發生

朝日町一七橋本德義長女淑子(三つ)は三日赤痢と診斷さる

黃金臺

◇故久保田金平翁建碑地鎭祭は三日午前十時より白玉山西斜面閉塞隊記念碑傍に於て擧行今村神官の祝詞參列者一同の玉串奉奠等嚴かに行はれたが竣工は十一月十日頃にて黑井海軍大將揮毫の見事な碑文も到着したので直ちに起工する

◇八王寺商業學校生徒二十四名は矢野教諭外二名に引率され二日午前九時十分着列車にて來旅各所を見學即日離旅

◇出雲大社教旅順布教所では來る十七日から三日間秋季大祭を行ひ第一日宵祭は午後七時二日本祭は午前十時及午後七時三日目祝祭は午前十時からいづれも祭典後說教あり參拜者には神饌神酒を頒つ尙祭典三日間は社殿其他にはイルミネーションを施し境內には提灯及び川柳漫畫燈籠の献灯又野口菊水軒社中の奉納生花有志の献詠和歌動物園の作り物があるが十八日午後祭典後は寶籤がある、尙又十九日午後六時からは昭和園に於て活動寫眞の映寫を爲す

◇第十一師團長に榮轉した厚東篤太郞中將は愈々六日午後四時半旅順驛發離旅するので三日附各方面に對し在職中の挨拶狀を寄せた

◇在滿第十六驅逐隊朝顏は五日午前九時龍口に向け出港せるが同地よりは六日芙蓉が歸港交代の由

◇旅順第一中學校では州內中等學校連合野外演習中止のため六日拂曉より水師營南側地に於て四五年を基幹とし全校職員生徒を擧げ東西兩軍に別れ壯烈なる空砲發火演習を行なつた

◇在滿中の軍艦淀は五日午後一時出港したので關東廳から水谷地方課長は長官代理として同艦を訪問した

市中の噂

時局のため奧地へ出動した旅順署の警察官も平素の四割を減じたので殘留警察官は目下五人分の仕事をやつてゐる▲それが爲め文字通り不眠不休の大活動だ夜の巡行、潛伏警戒等で時折り自警團や駐劄聯隊步哨等から誰何される事もあり一通りの苦勞でない▲聯隊や重砲隊では在鄕軍人分會員の連日連夜に亘る緊張夜警取締のため返つてコソ泥一つも出でぬ平和鄕▲催し物も一時遠慮したので最早期日遲れの感ある爲め一層の平穩不振ぶりは深刻なものがある殊に重砲聯隊の不在は市中にとつて一番淋しい點って影響する方面は第一に御用商人、カフエー▲コレデ一時に襲來する嚴冬の前ブレでもあると此年末は大分違つた變化が現はれる事と觀察されてゐる▲博多町一七の六十號車夫君塚芳有は三日午後二時頃深川齒科醫院前で現金二十三圓七十錢入の蟇口を拾得屆出たのは一寸感心▲それかと思ふと西町七居住の竹細工行商董國標(二〇)は留守宅を覗ふ不埒三日午後四時金澤町の石井數一少尉宅へ押入中騎馬憲兵の佐々木巡査に現認された

簡單に出來るサーワ化粧

◇從來の白粉とは少し調子が違ふ
◇白く冴えるから半量以下で充分

市川松蔦丈

（ミツワ文庫）我當丈の高南（林冲）

チタニウム主劑のサーワ白粉が此頃大變な評判で、何ちらへ參りましても、白粉を御使用の向では此白粉の話で持切り、とまア云つたやうの譯で、全く白粉界に一紀元を劃しました次第ですが、早くからの愛用者としまして、私が氣付きました點を二、三お話致して見ませう、と云ふのが、在來の無鉛白粉とは大分に調子が違つて居りますからで、又それが取りも直さず、サーワ白粉の特色にも成ります譯でございますから。

先づ此白粉には從來の無鉛白粉のやうにクリーム類とか化粧下の類が餘計に要らないと云ふ事です。要らないと云ひますよりは、餘計に使ふと却つて白粉が寄つたりするのです。尤も特別の濃化粧に成れば別で、それにはサーワの白粉下を少々使ひますが、普通の化粧には作用の緩いミツワ石鹼で洗ひ整へた地肌なれば、その化粧下にはサーワ化粧水を使ふだけで、全く充分なのです。

況して種類の違つたクリームとか化粧下を使つたりしては、何うも結果が面白く無いやうです。

そして例へばサーワの煉白粉だと致しますと、之を別の皿へ分て疊板刷毛で良く煉ります。そして豊富と之を襟なり顏面なりに塗るのですが、塗ると直きに乾きますから、乾く一方から水刷毛を一寸絞つて手早く撫で伸ばしてゆき、その跡を今度は牡丹刷毛でもつて輕く押へ氣味に、そしてソット伸ばし氣味に之又手早く馴らして行きます。さうすると實際美しく艶よく冴えて、此白粉は面白いやうに附着伸びするのです。

此水刷毛と其跡の牡丹刷毛が實に良く利くといふのが、矢張此白粉の特色をなして居ります。

そして其上にサーワの粉白粉を刷きますと、實際にふつくらとして極自然な、美しい化粧ができます。

何しろ好く冴える白粉ですから從來よりは餘つ程少いめにお塗りに成つて、それで充分です。遠目も實に白く冴えますから、御外出などにも其處の手加減が要る事に成ります。つまり半量以下でよい事に成るのでございます。

それから尚此の白粉の特色として特に申上げ度いのは一旦附けた白粉が仲々剝げないといふ事です、即ち汗にもお化粧崩れがしないといふ事であります。

私ども舞臺の事ですから、季節外れの厚着をします事などは常住で、隨分暑い思ひも致しますが、それで其汗がタラ／＼するにも拘らず、此白粉は崩れませんのですそれこそ濡手拭を絞つたものでソット押へて汗を除れば、化粧は矢張冴えてゐるのであります。

斯ういふ工合にお話いたしますと全く切が無いのですが、兎も角も今迄に無い良い白粉だといふ事はお分りの事と存じます。

何しろ特色の多い優良白粉ですが、普通のものと一寸調子が違ひますから、そこを速く御會得なさるのが宜しうございます。

松蔦丈の盤千鳥（平家女護島）

土臺は地肌

片岡我當丈

化粧をして見ますと、今更のやうに土臺の地肌が大切な事が分ります、など ゝ申上げると如何にも今更らしいのですが、之は何處までも眞理でございます。

つまり其地肌が清潔に成つてゐなければ成らず、同時に滑かに整へられてゐる必要があります。

荒れてゐていけないし、又脂つぽくても白粉はのりません。

平生の洗料が問題に成る所以でございます。即ち同じ純石鹼といひましても、其處に隨分の違ひがありますから、よく／＼作用の緩和いものを選まなければ成りませんので、此點定評のありますミツワ石鹼を使へば最も安心です。

汚れた脂肪を除つて而も跡に適度のうるほひを殘しますから、地肌は柔軟なめらかに成つて、實際よく整へられます。つまり作用が特別に緩和で、使用後に些しも石鹼分を殘さぬからであります。

白粉界に一新紀元を劃したサーワ白粉の特長

（一）普通白粉とは全く原料を異にし絶對に鉛分を含まず、然も含鉛白粉同樣に附着伸自由で、汗に崩れずまた剝げ落ちません。◇

（二）濃淡の化粧總て水刷毛が利いて水刷毛を使へば使ふ程よく冴え、眞に生彩ある化粧榮と成り又二重塗が實によく利きます。◇

（三）濃化粧に極少量の白粉下を用ふ他は、ミツワ石鹼で洗ひ整へた地肌なれば、化粧下はサーワ化粧水だけで美しく附きます。◇

（四）特に被覆力大に良く冴えるから普通白粉の半量以下で却つて以上の效果を舉げ仕上りはサラサラとして白粉が浮きません。◇

（五）その乾きが速いから、濃化粧しても襟を汚さず、又衣類に附いても乾かして叩けば、粉末と成つて跡無く飛んで了ひます。◇

（六）含鉛白粉と同じに顏のみか手足までも濃化粧ができて、白粉が地肌に滲込んだやうに美しく洸んで、驚く程永保致します。◇

（七）此白粉で化粧して撮つた寫眞は、他の化粧の時の寫眞とは全く違つて、目鼻立實にくつきりと、鮮かな美しさに寫ります。◇

（八）白粉焦せず斑點を作らず、溫泉海水浴に湯焦日燒を防ぎ、若し又内容が乾いても、サーワ化粧水か水で溶けば新しく成ります

御注意

近來チタニウムを原料とし或ひは之を配合した所謂チタニウム白粉と云ふものが數十種販賣されて居りますが、之等は三木元子女史研究創製のサーワ白粉とは全く種類を異にしてゐます混同なさいませぬ樣、御注意の程を願上ます。

頗る簡單な一化粧法

中村芝鶴丈

絶對に無鉛無毒で、それでもつて含鉛白粉同樣にノリノビの優れた白粉、それは近頃評判のチタニウム主劑のサーワ白粉です。

大日本俳優協會の特約品といふので、私も早くから愛用いたして居りますが、事實優れた白粉で、冴々した其白さは比類がございません。

一つ簡單なお化粧法を申上げて見ませう。それは先づサーワのヴアニシングを小指の頭ほど左の掌に採り、それより少し多いめのサーワ粉白粉を加へて、兩掌でよく捺合せますと程よく伸びますから之をお顏面へ兩掌でもつて一面に塗りますと、キレイに附着伸びしますから、其上へパッフでサーワの肌色か濃肌色の粉白粉を適宜に刷付けますと、手早に美しいお化粧ができ上ります。

お襟の方は固煉を普通に用ひられゝば宜しいので、お顏面の下地はミツワ石鹼で洗つて、サーワ化粧水をつけるだけで結構です。

勇士の遺骨を祀り大連市の慰靈祭 きのふ忠靈塔において 近來稀な盛儀

今回の滿洲事變に際し寛城子ならびに南嶺の激戰で陣歿したわが帝國の勇士熊川少尉以下二十九名の英靈を弔ふ大連市の慰靈祭は六日午後二時から中央公園忠靈塔に於て佛神兩式により嚴修された、これより先關東軍倉庫に安置された

遺骨は 午後一時靈柩車に移され警官先驅、戰友鷹原少尉以下々士卒二十名、並に市吏員在鄉軍人その他に護られて同所を出發、忠靈塔に到着し正面の祭壇に安置された、祭壇には關東軍司令官、大連民政署長、滿鐵總裁、滿蒙研究會、青年聯盟等の榊、在鄉軍人分會聯合會、大連產婆會、同婦人會の供物など飾られ軍人後援會、福島縣人會、仙臺鄉友會、南滿電氣、同瓦斯兩會社、大内市會議長その他の花輪で埋まり福島縣人會、會津人會、大連現業組合その他の弔旗も數旒樹てられた

參列者 は陣歿者遺族を始め辛島民政署長、江口滿鐵副總裁、櫻井遞信局長、森本地方法院長、岩井在鄉軍人分會聯合會長、石井大連、飯島水上、三浦小崗子、久下沼沙河口各警察署長、大内市會議長、田中前大連市長、市會議員、區長、方面委員、在鄉軍人、傷兵、青年聯盟、青年訓練所生、各中等學校生徒、婦人團體等無慮數萬を算し折柄の暗雲低く垂れ雨さへ落して一入のしめやかさを添へた、式は最初佛式に始められ香偈、祭文に次いで讀經あり四誓偈に終り更に神式に移り、降神、祝詞に次いで永井市長代理

祭文を 朗讀、更に來賓を代表し滿鐵總裁弔辭（江口副總裁代讀）栃内仙臺鄉友會長の弔辭本庄軍司令官の弔電（加藤航空官代讀）朗讀あり、遺師の燒香、齋主の玉串奉奠あつて後永井市長代理、遺族代表として古川純義氏他三名、辛島民政署長、江口滿鐵副總裁、加藤現役軍人代表、岩井在鄉軍人代表、傷兵代表、大内市會議長、村井商工會議所會頭、學校代表、仙臺鄉友會、福島縣人會、山形縣人會、新潟縣人會各代表の燒香並に玉串奉奠あり、陣歿者の英靈を慰め同三時半閉式したが大連近來にない

盛儀で あつた、なほ雨は式中で晴れ遺骨は再び靈柩車に依り關東軍倉庫に安置された、式後社會館には四戸長春在鄉軍人分會長の長春に於ける日支衝突事件の實況に就いての講演あり、聽衆場外に溢れ多大の感動を與へた

祭文

本日茲に滿洲事變に戰歿せられたる勇士熊川少尉以下二十九名の遺骨を迎へ慰靈祭を嚴修するに方り恭しく英靈に白す

顧れば輓近滿蒙の天地危機を孕み暗雲低迷して終に這次の滿洲事變の勃發を見るに至れるは極東平和の確保を使命とせる我帝國の洵に痛恨措く能はざる所なり此時に於て忠勇なる諸士は單に從ひ鐵火の下に在りて勇猛奮戰し遂に護國の爲め殉難せらる悲壯何んぞ堪へんや然りと雖も諸士の赫々たる武勳は永く青史に輝きて萬古に朽ちざるべくその英魂は化して極東平和の礎となり紛擾せる滿蒙問題の禍根を斷つに至るべし

庶幾は英靈安らけく瞑せられ雄魂永へに此地に止まりて吾等が上に加護せられん事を

昭和六年十月六日
大連市長代理　永井律一郎

弔辭

今次の滿洲事變に際し寛城子および南嶺に於て名譽の戰死を遂げられたる我忠勇なる將士の英靈に對し謹み敬みて哀悼の意を表す

昭和六年十月六日
南滿洲鐵道株式會社
副總裁　江口定條

弔詞

本日滿洲事變戰歿者の慰靈祭を擧行せらるゝに當り忠勇なる將士の英靈を弔し謹みて哀悼の意を表す

昭和六年十月六日
大連仙臺鄉友會
會長　栃内壬五郎

弔電

戰歿將士の遺骨離滿に際し英靈に對し恭しく弔意を表す

關東軍司令官　本庄繁

大連市都市計畫の內實的な調査進む 延びくの第一回委員會は明春一月頃の豫定

大連市の都市計畫は未だその根本法令の制定も見ず又曩に設置された都市計畫委員會もたゞ昨年內部的協議會が催されたのみで正式の會議は一回も開かれず而も日に月に非常なる勢ひで膨脹しつゝある大連市の現在に對し如何なる

方針 を以て進むかさへ決定されず延ぶに任せきりかの觀があるが、他面これ等の形式的內容の整はざるに反しその基礎をなすべき各種の測量、調査等內實的方面は着々と進められつゝあるのは甚だ愉快である、卽ちこれは主として關東廳土木課に於て行はれてゐるのであるが、それによると將來の大連市は現在の大廣場を中心として半徑十粁の圓內卽ち北は甘井子及周水子以北南は小平島に及ぶ廣大なる地域を範圍とし之に計畫さるゝあらゆる都市的施設は又人口百萬人を

目標 として實施することがその基準となつて居り目下幹線道路及下水放出處分等に關して折角交通量調查或は潮流調查等を行ひ考慮中で續いて人口增加率、特に工場、商店、住宅等の增加率其他も現市街地及郊外に於ける詳細なる統計調查を要するわけであるが、一方その基礎をなすところの實測地圖も既に一萬五千分の一、六千分の一、千二百分の一といふ大小各種の地圖が完成されたので近く要塞地帶の關係で之を陸軍省に廻附その

許可 を受くる手筈となつてゐる、なほ前記一萬五千分の地圖は今回の都市計畫區域全部に亙る詳細なるものであり、六千分は現市街各戸の番地まで記入された詳圖、更に千二百分は全區域內の土地所有者一筆每の境界線番地まで書込まれたものでこれには各番地別に公園、墓地、住宅、商業、工場別及び住宅中でも普通住宅、別莊、工場も重工業、輕工業、商業も諸種の商業と一々之を一定の色彩を以て染むることによつて直に一見して市街の現況を見取り得べく作り又交通量等の統計もこれに綴の大小其他の方法で之を表しこの地圖によつて直に各種の計畫を樹て得るといふ

重寶 な地圖であるが、陸軍省の檢閲が約二ケ月を要するので本月中開催の豫定であつた第一回の委員會も來春一月迄延期となつた

英靈安かれ

（上圖）各派僧侶の讀經
（下圖）忠靈塔前の式場

商大生、警官隊と衝突 學生教授亂打さる 重輕傷者が五十餘名

【東京六日發】商大學生二千餘名は六日午後三時半頃隊伍を組んで校歌を合唱し乍ら一つ橋の舊校舍より一齊に街頭に流れ出し永田町首相官邸に赴かんとした處警戒中の麴町警察署員と衝突し同校門附近で警官隊と大亂鬪を演じ學生三十八名檢束され重輕傷者五十餘名を出し大騷動を捲き起した、その際これを阻止せんとした吉良、村松兩助教授は檢束され上田貞次郎博士太田、猪谷兩助教授、中村講師は警官に毆打され殊に上田博士は頭部三ケ所を毆られ負傷した負傷者は附近の小林醫院に擔ぎ込み手當中であるが中には相當の重傷の者もあり學校側では此の警官隊の暴行振りに極度に憤慨し何分の對策を講ずる事となつた

學生二名も瀕死の重態 上田博士は呼吸困難

【東京六日發】警官に毆打された上田博士は肋骨を損傷したものゝ如く呼吸困難で醫師の診斷にも苦痛を訴へてゐるのでエッキス光線で檢診する事となつた、なほ學生の負傷者中兒玉章一（二一）は內出血のため生命危篤、豫科二年宮崎庄吉（二七）は左胸部打撲傷で重態である

籠城戰術で商大學生頑張る 二千餘名が舊校舍で

【東京六日發】商大に發起つた豫科專門部廢止反對の學生運動は籠城戰術を案出して學生二千餘名は五日夜一つ橋の舊校舍で一枚の毛布と十錢の麵麭と水で籠城の第一夜を明かした、午前七時頃からぼつ〳〵起上つた學生連は昨夜から準備した大釜で焚出しを始め白米二石と澤庵二樽、梅干一樽をけろりと平げ九時より學生大會に移り各方面に陳情した、代表者の報告演說あり飽く迄此處を死守し目的の貫徹を期する旨の聲明をなしそれより校內デモを行つた、一方學校當局でも十時より教授會を開き強硬態度を採るに決した、なほ今後の運動に要する費用は教授會で負擔する事となつた

渾河右岸を敗兵西漸 地主富豪避難

渾河の右岸は敗殘兵の掠奪盛にして同方面居住の支那民家は牛馬金品等殘らず掠奪されたがそれ等の敗殘兵は渾城に沿ふて西漸しつゝあるので同方面居住民は戰々兢々たる有樣であり大地主、富豪連中はその噂を傳へ聞いて逆に東方へ向つて移動避難しつゝあると【奉天電話】

佐藤氏死體發見されぬ

佐藤忠氏の慘殺死體は一間堡一帶を隈なく搜査したが遂に發見に至らず六日午後五時十分長春に引き…

亂石山附屬地に鮮農避難し來る 敗殘兵の掠奪に遭ひ

【長春電話】去る十月三日夜十二時ごろ大砲、機關銃等を所持した約二、三千名の敗殘兵が當舗屯で道案內者を求め滿鐵線を越えて西進し新城子附近において馬十五頭を掠奪して更に西進し紅山塞より遼河を亘り更に西進したが、その內の負傷兵敗兵等二、三百名後方に殘され彼等は沿道至る所で掠奪を行ひつゝあるが折柄恰度秋の收穫時である爲め被害が甚だしい、その暴行を恐れた鮮農八百餘名は刈入れを放棄して四日朝續々亂石山附屬地に避難し來たので目下保護中である【奉天電話】

負傷した戰友に抱かれ着連 奉天の戰死者遺骨

奉天北大營の激戰に名譽の戰死を遂げた獨立守備第二大隊第四中隊步兵伍長新國六三氏、同步兵上等兵增子正男氏の遺骨は六日夜八時大連驛に安着した、これよりさき驛ホームから驛頭にかけては關東倉庫長代理田中三等主計正、山西村上兩滿鐵理事、山中大連民政署地方課長、大内市會議長、在鄉軍人會代表その他多數の官民代表をはじめ靑訓生徒、各宗教團體、一般市民の出迎へで埋められた、かくて定刻遺骨を載せた第十二列車は黑煙も靜かにピッタリとホームに到着、最後部展望車に安置された兩英雄の遺骨は警護の佐藤軍曹が先頭に立ち戰友佐藤、牧山兩上等兵に捧げられて驛ホーム設けの位置に安置された、寂とした嚴肅な空氣の裡に出迎へ人は最敬禮しこれを迎へ、佐藤軍曹は出迎へ人に簡單に挨拶を述べた、かくて再び白布に覆はれた兩遺骨は三人の戰友に護られて驛頭用意の自動車に移され佛教團體の讀經の聲に送られ一路關東倉庫に向つたが遺骨を捧げた佐藤上等兵が北大營の戰ひに負傷した頭部に白い繃帶を卷いた姿は一層出迎へ人の心に強い感動を與へた、なほ遺骨は本夜は關東倉庫に長春で戰死を遂げた勇士達の遺骨と共に安置され七日大連出帆の香港丸で內地に向ふ

天津航路滿員

六日午前十時天津に向け出帆した大汽天潮丸は各等滿員と云ふ賑々しさで出發したが右は時局柄北寧線の不安により航路を選ぶものが急增したにもよるが、事實はかつて東北政府にあつて用ひられてゐた支那側官吏連が密かに平津の地に至り學良氏のもとに馳せ參ずるものが增加した事を裏書きするものである

披露宴費寄贈

南滿瓦斯會社專務更任披露宴は這般事變のため遠慮中であつたが出動軍部並に警察當局の辛勞を察して右披露宴を取止め當該費用全額を軍部警察官慰勞の資に寄贈する所あつた

リ氏岳父逝去

【イングルウッド五日發】リンデー夫人の實父ドワイト・モロー氏は今日午後一時五十二分ウイツケツで逝去した、享年五十七歳氏はメキシコ公使ロンドン會議全權として令名あり共和黨次期大統領候補者と目されてゐた人である

安樂椅子

滿鐵の林秘書係主任と云へばこの人位多忙な人は滿鐵會社中にも二人とあるまい、宴會だ、招待だ、それ自動車だ、重役の旅行だ、やれバスだと一日中セカ〳〵と驅づり廻つてゐる。

……◇……

よく〳〵忙しくこの世に生れついたと見えて仕事する時でも滿足に椅子に腰掛けたことがない退社後はゆつくり家庭の氣分を味はつたらよささうなものだがそこが林式で暇があるとベビーゴルフに走り出すと云ふあはたゞしさ。

……◇……

健康なればこそと誰も思ふがその林多忙子が稀らしい病氣をして二三日缺勤したのだ口の惡いのが擬態を遷しうして「林さんも總裁の旅行する每にお供を仰せつかつて滿足に飯も食へないやうな思ひをしてゐるので今度こそは正副總裁の上京前に病氣になつた譯か」などゝ云つてゐたら

……◇……

內田總裁出發の五日にけろり病氣が治つてのこ〳〵出て來たから堪らない、そら日程だ、打合せだと病み上りの林さん獨樂のやうに舞ひ初めた。

……◇……

そして總裁に呼びつけられて「下の關まで行つてくれ給へ」と來た、斷る譯にも行かず引還つたが室にかへつて長嘆息「下關から先はご免蒙りたいなア」は恰も實れッ子の惱みと云ふところ。

摩天樓の間を縫つて飛ぶ 豪膽なパ氏の手腕 ハーンドン氏の飛行略歷

【東京特電六日發】太平洋無着陸橫斷飛行に成功したパングボーン氏は本年三十六歳で飛行時間總計一萬二千時間、一九一九年以後支那航空本部長始め多數の支部人に飛行術を敎へた、一九二二年に有名なゲーツの空の巡回飛行團に參加しニューヨークの摩天樓の間を縫ひ飛行機から飛行機への曲乘を演じて二七年市街地上空は一千五百フィート以下を飛ぶべからずとの法令を出さしめるに至つたハーンドン氏はペンシルバニアタイタスビルの法律家の息でプリンストン大學中途退學飛行時間總計一千七百時間パングボーン氏と一九三〇年巡回飛行團を組織した時からの友達である

暴風雨に二度遭遇 パ氏飛行談

【ウエナーツチ五日發】淋代出發後機首を一路ダッチハーバーに向け千島に沿ふて大圈コースを採つて進んだ途中ロシア領海沖と米大陸沿岸附近で暴風雨に遭遇しカスケード山脈附近でも向ひ風に遭つたが左程の困難も經驗せず大體に於て樂な飛行であつた、倫淋代出發後三時間後に重量輕減の爲め滑走輪を棄てたモーターの調子は飛行中全く完全に動いて呉れた

ヴ號の平均時速は百十九哩

【ウエナッチー五日發】ヴイードル號の全飛行總哩數は約四千九百十五哩平均時速は百十九哩で右哩數中にはスポーケンの上空の飛行哩數三百哩も含まれてゐる

小兒保險は夭折しても支拂 初日の申込は百七十五

從來小兒を被保險者とする保險は徵兵保險、學資保險、婚資保險等數種あるが、これ等は被保險者が一定期間生存することを條件とする保險所謂生存保險であつて途中夭折した場合等には保險金を支拂はないことゝなつてゐるが、今回遞信局が十月一日から滿洲內のわが郵便局にも始めて開始せしめた小兒保險は契約期間滿了の際は勿論その以前に夭折した場合にも保險金を支拂ふ生死混合保險であつて養老保險と同性質のもので、たゞこれを養老保險と區別したのは小兒保險は抵抗力の弱い小兒を被保險者とする關係上道德的危險防止のため保險關係人および保險金額等に制限を附する等特別取扱ひをなすべき必要があるに因るものでなほ初日の申込みは百七十五件に達したと

曙の鐘 (71)

倉田潮
河野想多 畫

大都會の暗黒（一）

お夏はその夜目をさますどころか、實は洋館にはゐないのだつた。彼女は朝起きると、今夜非番であるのを幸ひ、こつそりと屋敷をぬけ出して、淺草の松竹座へ行つて見たいと、露子と共にしきりにその話をしあつてゐた。松竹座には夏子のひいきにしてゐる若手俳優の蓮三郎が獨り芝居をしてゐるのだつた。今度の上京に蓮三郎は中央の大芝居にも顔を出してゐたが、よい役がつかない爲めか、淺草に出ばつて、こゝで得意な狂言を三つも並べてゐた。露子も蓮三郎一座には蓮童と云ふひいきがあつた。

二人は午後九時頃、床をしいて寢た風をしてそつと洋館を忍び出た。そして、裏門の前から圓タクで淺草に走せつけた。芝居は最後の幕の「梅忠」をしてゐた。蓮三郎の十八番もので、飜通日本一の賞讃をゆるしてゐるものだつた。一體に蓮三郎と云ふ役者は和事を最も得意とするが、その他の如何なる種類の劇にもたんのうで、今度の芝居にも一番目には樓門の五右衛門をやつてゐた。

お夏とお露とは棧敷に通ると、でかたに女持の名刺を渡して、それを蓮三郎と蓮童に持つて行つて貰ふことにした。お夏はこの前の上京の折には、一人で幕も寄附もしてあるし、外でも二三度蓮三郎に逢つてゐるのだつた。名刺を見たら直接挨拶があることだらうと、二人は思つた。

ところが、幕になつても蓮三郎からは何とも云つて來なかつた。お夏はイライラして、名刺の裏に本夜小舍がはねてから夜食を一緒に食べないかとの意味をしたためてまたでかたに持たしてやつた。お夏は冷たい男のしうちに胸がムカムカしてゐたが、對手が冷酷に出れば出るほどますます熱情が増して、大きい白豚のやうにこえふとつた蓮三郎の肉體を吸ひつけられるやうな心持で思ひつめてゐた。しかし、二度目の使ひもつひに返事を持つて來なかつた。何うしたことなのだらう、何か譯があるのか、それともわざとぢらすつもりなのだらうか、いろいろに考へてその度にお夏はますます熱い怒りと狂的な渇望に身をやかれた。お露もお夏につれられて來て蓮童を知つたので、お夏を出しぬいて一人で逢ふ譯にも行かず、自然お夏と共に蓮三郎を怨まねばならなかつた。

すると、終りの幕になつてからやうやう先程の出方が名刺の裏に書いた返事を持つて來た。見るとそこには蓮三郎の手蹟に先程の返事が遅れたことが丁寧にわびてあり、最後に今夜は何うしてもぬけられない大切な用事があるからとの斷りがえんきよくな言葉にしためられてある。そして、最後に今夜でなければ何時、何處へでも御供もするとのことが附け加へて記されてあつた。

「チエッ」

と、勝ち氣なお夏はその名刺をビリビリと引きさいてお露の前に叩きつけた。

「私よりよいお客が來てゐるんだわ」

そのままお夏はぷいと立ち上つて、お露には振りむきもせずそこを出た。お露はお夏の氣質をよく知つてゐるので、蓮童には心殘りがあつたが、しひてお夏と調子をあはせて小舍を出た。お夏は外に出ると

「お露さん、蓮三郎のあんな百貫デブや蓮童の大根なぞのことはサッパリと思ひ切つて、今夜は一つ思ひ切つて陽氣に騒がうぢやないか」と云つた。「毎晩あんなおぢいさんの御きげん取りで、近頃はほんとに氣がクサクサして了つたわ」

「でも」とお露はさすがに案じ顔に云つた。「餘り遅くなりあしないでせうかね」

「大丈夫よ、今夜はいくら遅くなつても大丈夫なことがあるのよ」

手をあげて自動車をとめながらお夏はお露をかへり見て凄く笑つて見せた。そして、自動車に大塚へ急行しろと命じた。お露には、こんなに遅いのに、女である自分達をむかへて娯ましてくれる家があるとは考へられなかつた。

「姉さん、何處へ行くの」

「默つてついてゐらつしやいよ。とつてもうれしいことのあるうちへ連れて行つてあげるから」

大連 JQAK　十月七日

▲午後六時五十分ニュース ▲英語講座（テキスト第二十五課）大連神明高等女學校山田長三郎 ▲マンドリン合奏（スペイン舞曲）伊藤十五郎作（サラバンダ）ボーム作（デイアポロの歌）サルトリー作、滿鐵音樂會演奏部員 ▲清元（六歌仙文屋）唄、平、同岡崎同村石、三絃清元延益富 ▲郷土民謡（公家歌）（茶屋唄）福岡縣八女郡民謡栗原珠城 ▲職業紹介事項 ▲天氣豫報 ▲ニュース

東京 JOAK

十月七日午後六時三十分 ▲講演「國際運輸勞働組合聯盟（ITE）の葬式及其の使命」聯盟代表エドフインメン、通譯日本海員組合國際部長米窪滿亮 ▲放送舞臺劇「海亮毛剃」林和作、市川三升、市川紅梅一座 ▲小唄「主さん」「やぼな屋敷」「散るはうき」「秋雨」「ぶらり」「晩に忍ばゞ」唄小堀小滿孝、三味線同小滿笑 ▲ヴアイオリン獨奏（大阪より）「冥想曲作品四二ノ一」チヤイコフスキー作「雲雀」チヤイコフスキー作「スケルツオ作品四二ノ二」チヤイコフスキー作「東洋風小曲あきに咲」「圓舞曲」グラズノフ作「印度風の唄」リムスキコルサコフ作「カンツオネツタトダンツア作品四三」メジユネル作、アレキサンダーモギレフスキー、ピアノ伴奏ナデジタロイヒテンベルグ

滿日臨時碁戰

六段 岩本薫氏
三子 初段 井上太市氏

○一一レの三の處粘ぐ
○一二一へ十八 ●一二二チ二 ○一二三レ十五 ●一二四チ十七
○一二五チ十八 ●一二六ハ十一 ○一二七ニ十一 ●一二八ロ十二
○一二九ハ十 ●一三〇ロ十一 ○一三一レ十六 ●一三二ソ十六
○一三三ソ十五 ●一三四ソ十七 ○一三五ト十二 ●一三六へ十二
○一三七へ十一 ●一三八ト十三 ○一三九チ十二 ●一四〇ニ十三

▲岩本六段講評 黒百廿二は（い）に桂馬する方が大きい處である

—【7】—

滿洲日報　夕刊　十月六日

勞農、呼倫貝爾を懷柔　滿蒙に勢力扶殖畫策

滿蒙政局の推移に重大關心　微妙な日露支の關係

【ハルピン六日發】ロシアは滿洲政局の推移並にコロンバイル獨立軍の行動に多大の注意を拂つてゐるが、ロシアは**コロンバイル獨立國を極力懷柔して滿蒙に經濟的勢力を扶殖すべく**虎視眈々たるものあり從つて日支露三國の滿蒙における關係は益々デリケート化するものと見られてゐる

露支交渉に讓歩し　ロシアを抱き込め

學良氏、莫全權に訓令

【ハルピン五日發】張學良氏は政治的經濟的に**日本を牽制**し合せて滿洲事變に關する來るべき日支直接交渉を自國に有利に導くためモスクワにおける莫德惠氏に訓令し**東支鐵道問題に關するロシア側との交渉において此際或る程度の犧牲**を拂つてもロシアを抱き込み滿洲事變に對する列國干渉の端緒を開くやうな擧に出ないとも限らぬとの說あり

張作相氏引籠る

【北平五日發】東北邊防軍司令長官代理張作相氏は昨夜順承府の最高會議に列席したる後病氣と稱して引籠り本日は一切の訪問客を門前拂ひとした

獨立新政府の命に服すな　張作相氏命令

【ハルピン六日發】張作相氏は吉林邊防軍副司令の名義で各機關に對し時局對策方針決定するまで新獨立政權の命令に一切服すべからずと嚴命して來たが各機關は右に對し遲疑逡巡の態である

張海鵬氏北進

最近齊々哈爾方面に逐日反學良の氣勢が增し來り一方張海鵬氏も屯墾二ケ旅を確實に手中に納めこれを率ゐて北上し黑龍江省に入り込むといふ噂が立ち齊々哈爾方面ではまたも人心動搖を始めたと【奉天電話】

蒙古騎兵二千名

洮南地方で機を狙ふ

【ハルピン六日發】支那側消息によれば蒙古王侯に屬する蒙古騎兵二千名が洮南地方に出沒機會を狙ひつゝありと

露軍支那領を犯さず

【滿洲里六日發】ロシア赤衞軍が續々露支國境に集中しつゝあるとの報に對しロシア側では滅營のため最近國境に從來より多少軍隊が增加してゐるが、セミヨノフ將軍の舊部下及び支那軍が露領を犯さゞる限り赤軍は斷じて支那領を犯す意思はないが赤軍は萬一を考慮し國境の警備は嚴重にしてゐると稱してゐる

米露兩總領事　北滿各地を視察

【ハルピン五日發】ロシア總領事館は時局につき連日長時間に亘つて會議を開きつゝあるが、一方本國政府より滿蒙における最近の狀勢を詳細に報告すべしとの訓令に接したハルピンアメリカ總領事ハンソン氏は長春より吉林、洮南、ハイラル方面に向ひ親く蒙古の現

袁金鎧氏等の逮捕令發令

學良氏、中央に要求

【上海五日發】張學良氏は蔣介石氏に對し昨日附左の電報を寄せ來つた

一、袁金鎧等九名は奉天省獨立宣言をなしたるにつき中央より逮捕令を出されたし

二、余は來月南下し對內外時局收拾につき親しく中央の指示を請ふ意嚮なり

東邊居住邦人の安全保障を契約

于氏と島本中佐間に

動松大隊の敗殘兵討伐に關し獨立守備隊第二大隊は撫順方面に出動の際警盤において王以哲部下の敗殘兵の身柄を引き受けたる于芷山氏より島本大隊長の許に使節を出し十月四日附を以て左の如き契約書を作成した

一、于芷山はその所管區域における內、鮮人の生命財產に責任を負ふて保護すること

一、但し前項の約束に背反することありし場合には日本軍が任意の行動を執るも何等の異議なきこと

右契約書は二通を作成し雙方一通宛所持することにし立會人として日本側は島本中佐、支那側は東邊鎭守使代理傅希齡氏これに調印した【奉天電話】

南支の抗日行動に嚴重な抗議提出

政府、重光公使に訓電

【東京六日發】中部及び南支一帶の排日反日運動は邦人に對する暴虐事件を續發し各地邦人居留民の生命財產の危險及日本の商權の殲滅を來す虞あるにつき政府は五日の閣議の結果差當り重光公使をして南京政府に對し嚴重抗議をなすに決し五日夜同公使に左の如き訓電を發した

最近各地の滿洲事變に藉りて報復的排日運動を計畫實行する者有り、**中部及南支一帶において反日暴動沙汰の突發すべき不穩の氣漲り**而かも中國政府がこれを拱手傍觀するが如き態度を取らんとしてゐる如きは最も遺憾とするところである、斯くの**如き事態を放置する時は遂には重大なる結果を生ずるに至るべく**而かも右は全く中國政府の責任であるからこの際日本政府は中國政府の反省を促し、かゝる重大なる結果を來さゞるやう中國政府が今において全責任を以て右排日運動の防止取締に當られんことを衷心要求する

斷じて辭職せず

宋子文氏聲明を發す

【上海特電六日發】財政部長宋子文氏辭職說に對し四日夜南京に歸つた宋氏は五日之を否認し國家緊急の際斷じてこの重責を捨てるが如き事なしと聲明した。且財政部員をして左の如く發表せしめた

抗日會常務會　日貨沒收決議

【上海特電六日發】抗日救國會の

太平洋會議　結局中止　委員會のみ開く

【東京特電五日發】太平洋會議は支那側が日本を除外しても近く杭州で開催せんとし此間、會議の中央理事會長グリーン氏は日支間に立つて斡旋中であるが、斯る空氣の中に會議を開くも何等の所期の目的を達し難いので結局今年の會議は中止となる模樣である、但し中央理事會並に研究委員會は來る十三日上海で開催の豫定で右會議には新渡戶博士以下日本側委員八名參加する

社員會の宣言文

けふ役員會で決定

滿鐵社員會の國際聯盟及び各國當局言論機關等に對する宣言文は近く發送する筈で英文翻譯にかかつたが宣言文に添附して送附さるべき註釋も奧村外事課長の手で材料蒐集中の處六日取揃へて山岡幹事長の手許に差出したので六日午後三時から社員俱樂部で常任幹事及び役員會議を開催して決定すること

貴族院でも政府を鞭撻せん

【東京特電六日發】日支衝突から日本の國際關係緊張し各方面殊に貴族院方面では國論統一、政府鞭撻の要ありとし近く具體運動に着手の模樣である

滿鐵自體の仕事にベストを盡す覺悟

けさ着奉の内田滿鐵總裁談

內田滿鐵總裁は六日午前八時四十分林總領事、伍堂、木村兩理事外多數官民の出迎へを受け奉天驛貴賓室において出迎への人々と挨拶して後ヤマトホテルに向つた、

青聯代表　外務次官に進言

【東京六日發】青年聯盟代表東京誕岡田氏一行は昨日は閣議のため首相及び外相との會見不可能なりしため今六日會見する事となり五日は永井外務次官、矢吹外務次官と會見

田中前市長の慰勞金

大連市會では八日午後三時から市役所議員控室で全員協議會を開き田中前市長の慰勞金問題を協議するがこれに對する市の原案は田中氏の就任期間まる一年八ケ月として一萬五千圓である

滿鐵重役會議　營業費豫算審議

滿鐵では七年度營業費豫算審議のため六日午後より重役會議開催の豫定であつたが同日午後二時より中央公園忠靈塔に於て戰歿者の慰

孤立狀態の學良氏

內憂外患の惱みから滿洲事變解決に焦慮

北平特派員　坂本禎

滿洲事件の重大責任者たる張學良氏が南京に着いたといふ情報が入つた二日の午後、まさかとは思ふが、若し學良氏が南下したとなれば北平としては大變である。暴動を豫想する居留民の一人として

所でその學良氏であるが、氏の最も信賴する、當夜會見した某日本人に對して、彼は滿洲事變に就いてから語つてゐる。

貴院議員團視察日程

大河內輝耕子を團長とする貴院議員團一行の日程左の如し

▲十四日大連着ヤマトホテル、十五、十六日滯在、十七日後

▲十八日奉天着前六四〇、發

人事

▲高井麻太郎氏（地方法院檢察官）

▲杉元乙二郎氏（名古屋新聞理事）四日陸路來連

▲三浦忠次郎氏（支那駐屯軍附參謀）五日入港天潮丸にて來連

▲木內良胤（南京總領事館領事）

▲三浦運一氏（奉天醫大教授）

▲岩本海量師（本派本願寺贊事）

蛇角

哈剌和林附近図

淋代出發から着陸まで 四十一時間四分快翔
太平洋横斷のヴ號

【ウエナッチー五日發】太平洋無着陸横斷はパ、ハ兩氏により見事に完成されたが、淋代を出發し着陸までに要した時間は四十一時間四分である

出發後車輪を捨て逆立ちで着陸
パ氏が輕傷したのみで無事
湧き返るウ飛行場

【ウエナッチー五日發】ウエナッチー飛行場には早朝にもかゝはらず太平洋横斷一番乘の兩勇士を迎ふべく群衆押し寄せ聽てその機影を見るや場内は忽ち歡呼と狂喜に未曾有の情景を呈した **兩勇士は機上から兩手を振ってこの歡呼に答へ群衆の上を旋回すること三度** 機首を東方に向けて着陸の姿勢を取り悠々着陸した **機は出發後直に速力を早めるため車輪を捨て無車輪のまゝ飛翔したため着陸の際機首を地上に突込み** ためにパングボーン氏ははずみを喰ひて前にのめり目の上に輕微な負傷をしたが他に異狀なく **二人共頗る元氣** 何等疲れも見えずハーン氏は機から降りるや最初に求むるものは煙草であつた、なほ機は着陸の際機首を地上に打ち附け同時に片翼にて機體のバランスを得んとし片翼を甚だしく損傷した、また兩氏着陸するや飛行場内で愛兒の到着を待つてゐた **パングボーンの母親が感極まり目に涙を溢れさせて泣いてゐた** 様は感激そのものである

兩氏交々苦心を語る
四千七百哩を飛び乍ら餘裕綽々
午前三時沙市を通過

【東京特電六日發】ウエナッチ來電によればパンクボーン氏は着陸までの苦心に就き
われ〳〵は殆んどスポーン縣（ウエナッチの東方約百四十哩）の上空まで出て再びウエナッチに引返したのです、シャトルの上空も通過しましたが霧が一ぱいでした
と語り餘裕綽々たるものである、同機は四千七百哩の長距離を飛行したに拘らずガソリンタンクにはなほ百ガロンばかりのガソリンが殘つてゐたものであつて着陸に當つて爆發を避けるために全部空中から放下したものであるなほ兩氏は語る
ガソリンは殘つてゐたが何分にも霧が深いので豫定のソートレーキシチーまで行かなかつた、タコマ市の東南約五十哩の地點にある海拔一萬四千呎以上のレニヤ山の上空を旋回する事實に三度に及んだシャトル上空を通過したのは午前三時で即ち淋代シャトル間四千七百哩を約三十七時間で突破した譯である

絶好の天氣に惠まれ成功
戸川航空課長語る

【東京特電六日發】ミス・ヴイードル號成功の報を手にして戸川航空課長は左の如く語る
途中の經過を知る事が出來ぬのは遺憾だ、千島からアリユーシヤン群島、アラスカ附近の天候が千番に一番と云ふ絶好のコンディションに惠まれた結果、この成功を收めたものと思ふ、淋代發からウエナッチー着陸までの所要時間を計算するとペランカ機の性能以上を出してゐる事も判明するから太平洋大圏コース翔破中は常に追風に惠まれて快速力で飛行した事と當ふ、パングボーン、ハーンドン兩氏は技倆も優秀であるし殊に今回の壯擧に就ては堅い決心を以て前人未開の大空を征服したものと思はれ愉快である、世界航空界の新しい記錄として兩氏の成功に敬意を表する

ダラスへ 更に飛行
賞金獲得に

【ウエナッチー五日發】機上から降りた兩勇士は元氣旺盛一寢入りした後イースターウツド賞金を得るため當地より更にテキサス州ダラスに無着陸飛行をなす意向である

朝日賞を贈る

【東京特電六日發】ミス・ヴイードル號着陸と共に朝日新聞代表者が馳寄り豫て用意の賞金二萬五千弗の小切手をハ、パ兩氏に手渡しつゝ兩君お目出とうと早速の祝辭を述べ兩飛行家とかたき握手を交はした

御納采日の李鍵公妃殿下（中央）

苹果の産地 着陸したウ町
母を喜ばすのに ウエナッチーに着陸

【東京特電六日發】ミス・ヴイードル號の到着したウエナッチ町はワシントン州中部にある小都會でシャトル東方九十マイル人口一萬二千の有名な苹果の産地でパングボーン氏の令兄パーシー氏が實在【電話】

【ウエナッチー五日發】ヴイードル機がスポケーン市の上空に達しながら引返してウエナッチーに着陸した理由はスポケーンに着陸して長距離飛行記錄を作るよりもウエナッチーに待つ母を喜ばさんとの魂膽に出たものと信ぜられる

佐藤氏死體 大捜査
けふ一間堡へ

滿鐵社員佐藤忠氏の惨殺屍體捜索隊は六日午前八時二十分長春發臨時編成の貨物車二輛に乘つて寛城子に至り同地より徒歩一間堡に向つた、一行は滿鐵社員一四一名、警官、憲兵二名、軍部より五名、巡警四名で長春驛事務所員服部氏が隊長となり傳書鳩十數羽を携帶したが、若し本日發見出來されば當分續行して大捜査を行ひ飽くまで發見に努める筈だといふ【長春電話】

見送人と埠頭
あすの準備

今次の事變により北滿の露と消えたわが名譽ある勇士の遺骨は既報の如く五日夜恙なく着連大連市各方面の人々に護られ靜かに關東軍倉庫で一夜を明したが、遺骨は愈々七日出帆香港丸にて内地に向ふ事となり水上署陸軍運輸部では（以下略）

兩勇士の遺骨 今夜大連着

今回の日支衝突事件に際し其の壯烈なる戰死を遂げたる獨立守備第二中隊第四中隊歩兵伍長新國六三氏及び歩兵上等兵増子正男氏の遺骨は六日午後八時大連着の筈

ゆふべの停電 變壓機の故障

五日午後八時ごろ市内沙河口神社裏滿電變電所内の變壓機に故障を生じ一大音響と共に變壓機より火を吹き出し大騷ぎを演じたが約三十分の後應急修理をなしたそれがため同變電所關係の沙河口西部大連各方面は三十分停電したが幸ひに人畜には負傷者なかつた

タクシー代の合理化にメーター制を急ぐ
今度の値下げは羊頭狗肉だと
非難の聲があがる

大連市内のタクシー業者は多年の懸案であつた現金制を採用し料金二割引といふ宣傳の下に十月一日から値下を實施したが、從來の割引制度のあつた當時に比して少しも實質的値下げとならず、殊に競馬場外二、三ケ所は舊料金を採つてなり地域によつては却て値上げとなるといふが如き奇現象を呈するに至り早くも非難の聲があげられてゐるが、この矛盾せる料金制度を合理化させるはメーター制實施の外なしと大連署ではいよ〳〵眞劍に研究を始めることゝなつた

獨逸人三名がしのび込む
昨夜王以哲の自邸で荷物を運ぶ所を逮捕

五日夜獨逸人三名支那人一名は奉天城外東北軍第七旅長王以哲の自邸に忍び入り密かに王の荷物を運び出さんとした所を我警備兵に發見逮捕された【奉天電話】

毛皮を掻拂ふ

六日午前八時二十分市内伊勢町四四番地毛皮商タレー商會へ四十歳前後の紳士風の日本人が訪れ商品を物色中カワウソ毛皮（時價六十圓）を掻っ拂ひ逃走したので店員が追跡、市内信濃町一番地に追ひつめ毛皮を取り戻したが犯人は小崗子方面に逃げ去つた、大連署で嚴探中

西部大連に怪音
原因不明で目下調査中

五日午前十時ごろ尾ケ浦一帶を中心として霞家屯西部大連方面に連續的な砲聲らしき一大音響があると同時に地響きし家屋がグラ〳〵と搖れ出したので同地方面の居住民はスハ地震と何れも戸外に飛び出すやら尾ケ浦方面のものは時節柄沖合にて軍艦が戰爭を始めたのだと海岸に出るものもあり同地料理店尾の家では大望遠鏡を据ぎ出して見るやら大騷ぎを演じたが、沙河口署では同日午後樋津保安主任が尾ケ浦に出張し大連觀測所員と共に調査をなしたが原因不明で謎の音として目下引續き調査中であるが、村上前滿鐵地質調査所長は本紙に發表した學説の溶變による急變ではないかとも見られてゐる

世界野球選手權爭霸戰
カ軍最初より優勢でア軍の追撃及ばず
五對二一勝一敗

【東京特電六日發】費府來電によればワールドシリーズ第三日はカージナルス軍先攻で費府シャイドパーク球場にて舉行、カ軍終始リア軍を壓迫ア軍最後にシモンズの本壘打で二點を入れたが、遂に及ばず五對二でカーヂナルス軍再勝これでカ軍二勝ア軍一勝となつた、スコア左の如し

	一	二	三	四	五	六	七	八	九	計
ア軍	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2
カ軍	0	2	0	2	0	0	0	1	5	

ペスト發生説
四洮線開通附近

十月四日四洮線開通より鄭家屯に來た支那人の談によれば開通の附近田舍に最近ペスト流行し多數の死亡者あり、同地にはこれが防止設備なく四洮沿線に蔓延の恐れありとて一般の人心恟々としてゐる【四平街電話】

調査したが事實なし 滿鐵衞生課

右に關して千種滿鐵衞生課防疫主任は語る
九月十日同方面にペスト發生し十八名死亡したとの報があつたので四洮鐵路醫院から醫員出張して調査した處その事實なきを確かめ越えて先月二十九、三十日は又復發生したとの噂があつたので支部側で調査した處これ亦事實ではなかつた、これが或は傳はつたのではあるまいか當方には何等情報がない、支那側は萬一を慮つて附近に醫員を派し乘客の檢診をしてゐる由であるから發生したらすぐ知れる筈だ然し充分警戒してゐる

花代値下で振興策をはかる
三業組合でけふ相談

大連三業組合では深刻な不景氣に祟られて料理屋、待合、藝妓置屋の揚高は逐年減少の一途を辿り本年の如きは慘憺にない赤字を出し、何れも經營難の悲鳴をあげ、救濟資金の融通方を組合に申出てゐる向も多數あるが、組合として は救濟金の準備もなく結局振興策を講じ窮境打開の外なしといふに意見一致し六日午後一時から役員會を開催協議することゝなつた先づ振興策の骨子は花代値下げで明し花十圓を七圓乃至八圓、時間短縮して四圓乃至四圓五十錢となし、この外宴會の如きも時代に適應した値下げを行はんとするにあるが、花代の値下げについては北村席を初め大武屋連中が反對してゐるので相當曲折あるも結局多數決をもつて實現するものと見られてゐる

蛇牛哨で敗兵二百名が機關銃小銃で一齊射撃
守備兵警官隊苦戰して撃退
我軍の死傷者四名

五日朝滿鐵線蛇牛哨驛附近に多數の支那敗殘兵現はれたとの急報に四平街駐屯の獨立守備步兵第五大隊第一中隊木原特務曹長は三十七名の部下を率ゐ警察署より巡査十名の應援を得て午前十一時二十分輕油動車にて現場に急行、午後二時蛇牛哨驛東南方約二里の地點に差しかゝりたる際、突如三方の高地より約二百名の支那敗殘兵は一門の機關銃その他小銃にて一齊射撃を開始して攻撃に出でたので、わが軍は不利の地形にあり而も敵の重圍に陷り約二時間にわたる苦戰の結果漸く敵を擊退した、この交戰においてわが軍は死者一、重傷三名を出したるが、敵は六名の死體を遺棄して敗走した、敵の損害多數の見込みである【四平街電話】

金の恨みで斬り付く
支那人の兇行

市内北關街一番地無職程國禄（二）は五日午後五時五十分ごろ市内平和街三八阿片小賣所附近で同じく阿片吸煙中の同街七二番地金貸業雲田（六）に「思ひ知れ」と矢庭に所持する新聞紙に包んだ石灰を顔面に投げつけ同人がひるむ隙に隱し持つた肉切包丁で左頭部に突刺し瀕死の重傷を負はせ逃走したが、直ちに捕縛された小崗子署に連行取調べの結果程は三年前許外二名と共同出資のもとに金貸業を始め許がその責任者となつて開業するに至るまで一回の利益分配金も受けず二三要求するも一向に誠意なく無責任であるのに憤慨しかねて殺害せんと前記石灰包丁を所持して許をつけ廻して居たものであると

同壽病院長醫學博士に

大連醫院分院同壽病院長山口律氏は嘗て京都大學に「糖尿病の研究」と題する論文提出中の處五日教授會を通過し醫學博士を授與された、同氏は岐阜縣出身にて南滿醫科大學卒業後直に大連醫院に入り其後研究のため京都大學に遊び歸來後大連醫院内科外來部主任として令名あつたが本年八月同壽病院長として榮轉し患者間に評判の良い國手である【寫眞は山口律氏】

醉拂ひ自動車 暴れ廻はる

市内大正通り一七二番地興和タクシー運轉手菅原寅（二）は六日午前三時ごろ友人と共に小崗子料理店にて飲酒の上自動車を運轉して店に歸る途中市内惠比須町二番地に差しかゝつた際運轉を誤つて前方を進行中の北崗子十二番地居住の乘用馬車夫劉殿賓（二）の馬車に衝突し劉及び乘客市内若狹町二和永木縣店員葉連二郎（二）の兩名を路上に顚落せしめ更に附近の藥舖に衝突して電柱に激突しその反動で約二間餘後方に跳返つて漸く停車したがこれがため馬車より路上に顚落した兩名は全治一週間餘を要する擦傷を負つた

地震ではない

昨日午後尾ケ浦の人より電話があつたので早速調査はしてみたが大體現場地所もハッキリ分らないのですからその音が何であるか原因等についてはいまのところ全然判りませんが地震ではありません

右について若草山觀測所より尾ケ浦に調査に赴いた同所の清三氏は語る

殷々たる砲聲

五日正午頃旅順郊外に當つて突如砲聲らしきものが殷々として轟きわたり關東廳をはじめ市中家屋の硝子戸に震動を與へ時節柄スワと市民を驚愕せしめたが右は中虎尾の海務局燈臺に海軍無電信所にこれが調査を依賴中であるが海務局燈臺の言によると別に軍艦らしきものを見ず不審とされてゐるなほ軍部方面でも取調

娯樂座談會

滿洲社會事業協會では八日午後七時から市社會館に於て民衆娯樂の問題に就て座談會を開催すると

森本家慶事

醫學博士森本兼之助氏令嬢冨子氏は今般山崎信夫、山本豐吉氏兩夫妻の媒酌により滿口龍雄氏と婚約成り來る十五日大連神社に於て結婚式舉行後同日午後六時より連鎖街共榮食館にて披露することになつた

天氣豫報 七日

北西の風 曇後晴 所により雨模様

各地温度 六日午前十一時 最高

	六日午前十一時	最高
大連	一三・四	二〇・五
旅順	一三・九	二〇・七
營口	一三・八	二一・七
奉天	一四・七	二一・五
長春	一四・六	二二・七

滿潮 午前 六時 午後 六時
干潮 午前 零時 午後 零時

けふの小洋相場（正午）

暗流阿修羅館 (207)

生田蝶介　挿畫　藤井耕逹

田沼問答（十一）

由比が立つと同時に

「では、行つて來ます、ごめん」

と、新左衛門も、つと立つた。

「まあ、いゝではないか」

と奉行が云つたが

「さうしてゐては、なかなかうまく連れて來られません」

と云つたかと思ふと、もう次の間から見えなくなつた。

「それでは」

と、奉行が見送りに、早足にあとを追つたが、玄關に出て見ると履物も無く、新左衛門の姿もなかつた。

部屋に戻ると、そこには由比が尾花屋のお紋と坐つてゐた。

由比は不服さうな顔をして、奉行を見上げた。

「折角連れて來ましたのに、どうなさいました」

「いや風のやうに早かつた」

「でも」

「時をうつさず、例の詮の方を調べてくろといふのだ」

「だとて、寸刻をあらそふこともありますまいに、お上を連れて來ると云つたので、電のやうに轉じたあたり、どうも、ね殿、さうは思ひませんか。あ、それはさうと之がその尾花屋のお紋さんです」

「お初にお目にかゝります。私が尾花屋のお紋、何卒お見知りおかれまして、いく久しく御贔負下さいませ」

「おゝ、そちがお紋か」

奉行は坐つた。

「この度はまた、私の不行屆きから、御役所にお手數をおかけしまして相濟みませんでございます」

と美しい襟足を見せて、辭儀をした。

「いや、別に何でもないが、えらい者が宿り込んだやうだな」

「宿り込んだゞけならよいのですが、それが何處へどう行きましたか逃げてしまひまして、申譯がございません。私どもで逃がしたと申されても何とも云ひ開きが立たないやうな立場になつて居るのでございます」

「逃げたのか逃がしたのか俺わからないやうな役人ではない。その點は安心してよい」

「有難うございます」

「いや、實は、其方に逢はしたい人がこゝに來てゐたのであるが、入れちがひに去つてしまつた」

「どのやうなお方さまでございます」

「よい男ぢや」

「よい男？」

「水の垂るやうなよい男」

「……」

「それは冗談だが、三河大藏によう似た男が來てゐたので、其方に見て貰ひ、それが昨夜尾花屋に宿つた男か否かを知りたかつたのぢや」

「あのお方が、またどうして此所においでになります」

「それにはいろいろ理由がある。が、もう、こゝにゐない。よい男であらうがな」

「はい、顔の白い眉の凜々しい」

「うむ」

「女のやうに美しい目の、底にはきりつとした強い光のある」

「二十七八であらうがな」

「二十三四にも見えまする。背は高い方、すらりとして、何處となく引締つた」

「うむ、鼻と耳のあたりに黒子はないか」

「黒子？ ほんにございました」

「でせう！殿」

由比は、したりと奉行を見た。

キネマと演藝

大劇四の替

大連劇場の東京歌舞伎松本松五郎一座は今六日左の如く四の替り狂言を上演して打揚げることになつた

▲第一　箱根靈驗躄仇討（二場）阿彌陀寺施行の場、塔の澤白糸の場 ▲第二　鞘（四場）千住大橋邊の場、質兩替商若松屋の場、神田明神境内の場、大工政五郎宅の場 △第三　高田の馬場（三場）菅野六郎右衛門宅の場、中山安兵衛浪宅の場、高田の馬場仇討の場

噂話

▲常盤座と三田尻との紳士協約が破れてさうさう行くところまで行きさうな形勢になつた折柄▲常盤座の次週映畫が「しかも彼等は行く」とは皮肉な題名であるが▲現在の調子では双方とも、しかも彼等はそれぞれ思つた方へ行くより外に途がない▲さて解決はどうなることか、映畫界満洲事變で双方實力行使で華々しく火花を散らすことだらう

日活映畫を繞り紛糾を生ず

中野氏が帝國館契約　常盤座は引揚に異議

大日活の紛爭問題から同館を離れた日活映畫は中野常助氏が契約し爾來常盤座に紳士協定を以て上映し來つたが、今夏來兩者間の感情に間隙を生じ小競合を繰返しつゝあつた矢先、去る三十日大日活の競賣が長氏側に落札するや、翌一日に突然中野氏側は常盤座に對して帝國館を契約する旨を傳へ、これが諒解を求めたところ、常盤座側にては、大日活の紛爭解決後なれば無條件にて日活引揚げに應ずるも、まだ問題が未解決にある時中野氏側が帝國館を契約することは明かに大日活問題の解決如何に係はらず日活映畫を以て帝國館經營の野心あるものとし、日活本社に對して正式に抗議をなし、常盤座があつて甫めて中野常助氏が日活映畫を契約し得たものであることを強調する旨を傳へ果然問題は紛糾するに至つた、これに對して中野氏側は日活との契約上何等常盤座の名義を利用したる事なく、契約條項に不備の點なしと聲明して一歩も讓らず目下兩者は睨み合ひの姿である、なほ日活映畫の常盤座引揚げ期日に就いては未だ交渉されてゐない

常盤座の主張　小泉友男氏談

大日活解決後に日活映畫を大日活に引揚げるのならば今日只今でも文句はないが、大日活以外の他館へ持つて行くことは紳士協約の破棄である、大體中野氏が日活と契約が出來たのは常盤座があつての契約であるから、大日活が手に入らぬからと勝手な振舞をされては常盤座は踏臺にされた事になるから默つてゐられない、大體館を持たないものに契約をするなぞとは日活自體が既に異法である、映畫界未曾有の保證金一萬圓を積んでどこの館でも上映出來るやうな契約條項によるなんて、これは明かに利權を與へたことであるから、常盤座から日活映畫を引揚げて帝國館に上映出來るものなら、やつて見ろと言ひたい、私は多年の映畫界の醜惡な裏面を暴露して、日活本社の公平な裁斷を仰ぐ決心である、そのためには私としては第二、第三の手段がある、結局今回の中野氏の帝國館經營策は計畫的であると斷定する

斷然引揚げる　中野常助氏談

私の方でも將來館が無くては先達つての樣に居直り的なことをされた場合心細いので帝國館を借りることに腹を決めて其の諒解を求めに行つたのです無論日活映畫を移す考へ迄持つて居なかつたのですが、日活映畫を持つて居る丈けに私の方でも氣が引けて妙に誤解されてもと思ひ豫め諒解を求めたのであります、處が意外にも帝國館を借りるものなら借りて見よ、自分は尻を捲るのケツを捲るのと暴言を吐かれたのです、然し私の方では小泉氏が一時亢奮の餘りついに口に出たことで小泉氏の本心から出た言葉ではないと思ひまして貴下にも四、五日小泉氏の爲に考へさせてあげて下さいとお願ひした樣な譯です、それなのに今尚今日の樣な態度なれば小泉氏の言はれたことは最初から本心であつたものと思ふ、元々日活を入れる當初から我々を素人と思ひ長氏にことよせ三日間でもといふ氣に入る言葉を使つて入れて置いて私の上映權を横取りする考へであつたと思ひます、そんな人とは性格が合ひませんから今後は手を握つて行く譯には行きませんので此際斷然引揚げます

日活出張所談

私（伊藤出張所長）としては一應會社の意見を問合せて決定するが契約者は中野さんであるから中野さんの意見もよく聞いてこちらも考へねばならぬといふ外、何等具體的考へはありません

帝國館の館主決る　中野氏と契約

別項の如く帝國館は中野常助氏との間に家賃月一千五十圓、敷金一萬圓で契約し去る二日保證金として二千圓を授受し中野常助氏が帝國館を借入ることに決定したので中野氏は工事竣工と共に開館すべく準備に着手した模樣で、映寫機はシンプレックスのペヤレスを購入し、また發聲映畫裝置をなしモーターその他も注文し來月中旬開館の豫定である

本社特選　新棋戰（其三）

平手先　六段　△飯塚勘一郎
六段　▲小泉兼吉

【圖は二四同金迄の局面】
▲小泉氏　持駒、飛歩歩歩
▲飯塚氏　持駒　飛歩

△八四飛　▲四九飛
△五九銀　▲二九飛成
△八一飛成　▲三六歩
△同　歩　▲三七歩

【土居八段講評】▲小泉君は桂の持駒丈けでは攻勢を採るに困難であるから成歩を作つて徐ろに肉薄しようとの方針なり、三七歩と突き捨て、三六歩と打込んだのはこの場合至當の方策である。

【萩原六段解説】飯塚氏の八四飛は當然の攻め手であつて、小泉氏又二四金を先手に四九飛と打ち込み、二九飛成と桂得して守りしは至當な應手であつた。この四九飛に對し五九銀は、五九金と引くと矢張り二九飛成となつて、以下三六歩、同歩、三七歩で四八銀が目標になつて早く當りが付くから五九銀も至當であるが、かゝる局面ではよく五九金と當てる方が先手と思つて誤ることがある。何れにせよ二九飛と成るのであるから、五九銀と飛車に當てなくてもよく、後の事を考へて置くべきで、この五九銀と五九金の差は前途の如き深い意味を持つことになる。

滿洲日報

發行人 鈴木 [illegible] 編輯人 [illegible] 印刷人 [illegible] 發行所 大連市東公園町 株式會社滿洲日報社
定價 一ヶ月 金一圓二十錢 一部 金五錢
廣告料 普通一行 金一圓三十錢 特別一行 金一圓六十錢 場所指定 二割以上加算

蔣介石氏いよく下野を決心す

着々その準備を進む

宋財政部長もこれに殉ぜん

【上海特電五日發】信ずべき筋の報道によれば蔣介石氏は愈々下野の決心を固め目下その準備を進めつゝある、彼は最近その直系軍隊たる劉峙、顧祝同、王均及准直系軍たる陳銘樞、熊式輝等各軍に對しそれぐ新鋭の武器を支給し、同時にその駐屯地も財政的に最も實收ある武漢、隴海沿線、南京、上海、浙江各地に移駐せしめつゝある、下野の決心をするにいたつた原因は第一財政的にすつかり行詰りたること第二はその最も得意とせる軍事上にも廣東の討伐どころか共産軍の肅靜さへ全く自信を失ふにいたつたこと第三は外交上滿洲問題を藉つて廣東との無條件妥協を策したるも却つて廣東側からは足許を見すかされ同時に國民からは鼎の輕重を問はれるに至つた
なぞ、既に八方ふさがりの悲境に陥つたためである、蔣氏下野と同時に又財政部長宋子文氏の辭職説が傳はり、宋氏は過般上海に引揚げて以來上海の私邸に引こもつてゐるが、本日の支那新聞は彼が既に國民政府に向つて辭表を提出した旨報道した、彼の辭表は云ふまでもなく蔣氏の下野に殉ずるものと思はれるが實現の曉は浙江財閥を中心とする上海方面の財界は相當混亂に陥るであらう

和平會議決裂

蔣介石氏の態度に廣東代表憤慨

下野する迄交渉打切

【東京五日發】上海四日發某所着電によれば、廣東南京和平成立説傳へられたるも蔣介石氏より張繼氏等の南京代表に宛てた通電によれば蔣氏は自己の下野には觸れず、却つて香港に於て取極めたる和平辦法の修正を要求したるため廣東側委員は大に憤慨し蔣氏が自發的に下野する迄は交渉を打切り、和平統一會議は廣東側單獨にて開催すべき旨發表した、尚蔣氏の意圖は胡漢民氏等の自由回復は臨時之を實現するも蔣氏の下野問題及びこれに關連する黨務政務全般に亘る改造は上海の和平會議迄留保するもの、如くである

蔣氏が直屬部隊を鄭州開封に集結

近く何等か大變動

【上海五日發】某所着確報によれば蔣介石氏は南京、上海地方に在る直屬部隊及び携行に不便なる兵器、材料の全部を四、五日中に鄭州、開封方面に輸送集結すべく密電を發したと、又南京警衛の軍人家族は郷里に送還すべく準備した又宋子文氏は家財家族を上海に移す準備を整へてゐる模様にて右情報を綜合すれば近く何等かの大變動が起るに非ずやと豫感せらる

佐世保の我艦隊に待機命令下る

南支の形勢險惡に

【東京六日發】南支の形勢險惡となり何時如何なる事態あるかも知れぬので海軍省では佐世保鎭守府在泊の艦隊に對し待機命令を發し二十四時間乃至四十八時間内に揚子江岸に到着する準備を整へてゐる

北方の反蔣運動

その成行注目さる

北方反蔣派の有力者は舊馮系の河北民衆外交後援會、反日救國會等で何れも河北省、山東省出身者を主とする反張學良團體で之に關聯のある軍閥は韓復榘、商震、于學忠等諸氏で韓氏は最も重きをなしてゐる、これに山西派が結びついて何ういふ形勢を捲き起すかは興味ある問題である【奉天電話】

日本軍行動正當

米系カトリツク敎宣敎師

米本國政府等に報告

滿洲のアメリカ系カトリツク敎會宣敎師は今回の事變に關し米本國政府並に同敎會總本部その他の要路に對し左の意味の報告をなすところあつた
一、今回の日支兵衝突事件の原因は支那兵の日本守備隊襲撃、滿鐵線路爆破にあることは確實である
二、日本軍の執つた措置は自衛權の發動によるものにして日本は友邦に對し領土的侵略の野望はない、而して日本兵は支那兵に比し秩序整然たるものがある
三、滿洲における各自警團(保甲團)は何等損傷を受けて居ない【奉天電話】

陳興亞氏ら要職に任命

張學良氏が

我軍に對し歸順の意を表し來つた王以哲、于芷山はじめ前の憲兵司令陳興亞、獨立を宣言した張海鵬氏等はこの度張學良氏よりそれぐ左の如く任命された
滿洲鐵路警備司令王以哲▲東邊國防警備司令于芷山▲北寧鐵路警備司令陳興亞▲洮安鎭守使兼警備司令張海鵬
既に錦州にある陳興亞氏はともかく他の三名はこれを受くるかどうか興味をもつて見られてゐる【奉天電話】

政府を組織し獨立の意圖なし

地方維持委員會通電

地方維持委員會は五日午後左の如き意味の通電を南京政府はじめ全國各界に發した
地方維持委員會は今回の事變により地方行政機關が消滅したため地方維持のため成立し治安維持、難民救濟、金融恢復等に努力してゐるものであるが、本會は決して政府を組織し獨立するが如き意圖を有するものでないと
右通電によつて地方維持委員會が政府組織を斷念したこと愈々明白となつた【奉天電話】

東北政務委員會錦州に移轉

交通委員會

東北大學は北平へ

錦州政府成立以來目下閉鎖中の各機關は續々同地又は北平に移されつゝあるが、袁金鎧氏も又その一員たる東北政務委員會は勿論、交通委員會も錦州に移ることに決し、東北大學は北平に移ることに決した、かくて各種二重の機關を生ずるのみか看板のみで學生のない學校が出來るわけである【奉天電話】

臨時遼寧省政府縣長に徴税命令

目下の處實施不可能

錦州に設立された臨時遼寧省政府は去月廿八日交通大學内に事務所を設け活動を開始し各機關の要人は續々參集中であるが、四日張學良氏の名を以て遼寧省管下の各縣長に對して徴税送金方を電命したが、各縣長は時局の推移を觀望中で、命令の實施は不可能の狀態にある【奉天電話】

寧古塔鎭守使獨立宣言

【ハルビン特電五日發】某所着電によれば寧安、東寧、穆稜、密山の四縣は寧古塔鎭守使を中心に宣言し軍費捻出のため製粉公司總理を財政廳長に任命したと

敦化出動の榎本支隊

吉林に引揚ぐ

敦化へ出動中であつた我が榎本支隊は五日午後四時着列車で吉林へ引揚げたが、これに不安を感じた同地居住日本人十八名鮮人十名も軍隊と同時に吉林へ避難して來た【長春電話】

重松大隊奉天に歸着

北山城子方面に王以哲の殘兵討伐の爲赴いてゐた重松大隊は六日正午、無事奉天に歸着した【奉天一電話】

各地の獨立張氏樂觀

【北平五日發】滿蒙各地獨立の報頻々と至り支那側は極度に神經を尖らしてゐるが張學良氏は案外樂觀的で、昨夜も某日本人との會見に於て之等は總て一時的現象で結局自分の手に返らんと奉天歸還の日を信じてゐたと

經濟的打擊の覺悟は必要

南支の抗日運動について

木内南京駐在領事談

滿洲における今回の事變調査の目的で五日入港大連丸で南京總領事館領事木内良胤氏が來連したが南支方面における抗日狀況等につき語る
どうしても一度こちらに來てよく調査しておく必要を感じたのでやつて來た、恰度あの事件の當時は漢口における水災の狀況視察のため南京に居なかつたがこの
事變が およぼした支那側へのショックはかなり深甚なもので、その後抗日運動となり氣勢をあげてゐる、漢口、南京等の邦人婦女子も萬一を慮つて避難してゐるがそれはこちらで考へられる程まで切迫はしてゐない、しかし何分相手が支那人なのだから油斷は出來ないと云ふところから來てゐるのだ、政府筋のものは表面鎭壓策を講じてゐる樣だが
內面的 には相當動いてゐるのではないかと思はれでもない、通學の日本兒童が投石されるなんて事もこんな事こそ面白くない事だ、抗日氣勢は日毎に揚つてゐる樣だがゲンコを揮ふまではいかなく結局支那式のワイく云ふにとゞまるだらう、經濟的打擊は日本としても覺悟を決めればならぬ、在來の排日とは大分その行き方を異にしてゐる多いのには驚く、それに今次の事變に對して平津方面の支那側智識階級の意見を徵すると案外冷靜で、お互ひに何とか
妥協策 を講じて永遠の策をとらなくてはいけないと云ふ意見が多く、どうも若い學生連に急激な思想の持主が多いと云ふ事は苦々しい事だ

平津地方は天下取で物凄い

天津在留邦人は案外平靜

三浦參謀少佐の談

支那駐屯軍司令部附參謀三浦忠次郎少佐は五日天津より入港せる天潮丸にて來連したが天津方面の時局に關し語る
一寸奉天まで關東軍司令部を訪問に來たのだ、用件とて別にない、事變の大體は情報によつて知つてゐるが一應赴奉してよく
最近の 樣子を知らうと思つて來たのだ、滯奉期間はまあ一週間の豫定である、平津における反日運動は今のところ大して表面に現はれてゐないが支那側新聞の宣傳が惡辣なので無智な支那人は大分昂奮してゐる樣だ、邦人引揚げに關してはそこまで事態は急迫してゐないが聞くところによると北平の婦女子中には既に少數の引揚邦人がある由である、天津の方は何時で
も
驅逐艦 が來てくれる筈なので一般邦人は案外平靜にしてゐる、それに上海、南京邊りとちがつて支那側官憲も相當嚴重に反日を取締つてゐるからそう急に大事を惹き起す事はない
次に平津の地は目下天下取りを夢見るものが多く物凄い策動が續けられ獨立運動や復辟運動にかなり懸命になつてゐるものが

日本を中傷する大ヨタ通牒

施支那代表が聯盟に

【ジユネーヴ五日發】施肇基支那代表は五日聯盟理事會に對し左の如き公式の通牒を發した
一、約百名の日本騎兵は北寧線新民縣警に屯營した
二、北平で日本の無賴の徒は支那學生大會の中に自動車で飛び込み數名に負傷せしめた
三、日本軍は北寧線皇姑屯驛の電信電話室を封鎖して電報の檢閱をなしつゝあり
四、日本軍は皇姑屯の穀類倉庫在中の穀類を取り出し滿鐵驛に向け運び去つた

國境赤軍の兵力

カーコリン大佐談

南京政府軍事顧問にして元コサツク兵騎兵大佐カーコリン氏は今回の事變前北滿國境方面のロシア軍集結狀態を調査に赴いてゐたが四日來奉當地の行政狀態を調査の上同夜南京へ向つた、カ大佐の話によれば現在露支國境に集結せるロシア軍は第十七軍團第十二師團、民兵第四師團、極東軍團、太平洋師團、第二黑龍江師團、第二十六ウラトフスキー師團、第九騎兵師團の七團で命令一下滿洲里、ボグラ方面に出動の準備が出來てゐる【奉天電話】

北滿商業機關に重要訓令か

ソウエート側

【ハルビン特電五日發】滿蒙の變局に際しソウエート側は經濟界の將來の不安を感じたらしく北滿蘇業機關に對し重要な訓令を寄せた模樣で、本年の特産界には頗る消極的態度を執るものと見らる

民政黨特派慰問使八日發滿洲入

【東京五日發】滿蒙における日本軍並に居留民に對する民政黨の特派慰問使戸田由美、小山倉之助、風見章、松尾四郎、作田高太郎の五代議士は八日午後九時四十分東京發、京城經由十二日奉天着の豫定で、奉天以南と間島方面の二手に分れて慰問視察をなす豫定である

青聯代表歡迎會

【東京五日發】對外同志會主催の滿蒙青年聯盟代表歡迎會は五日午後四時青山會館に於て開催、席上岡田代表は滿洲事件に於ける支那兵の計畫的鐵道爆破の眞相を目撃的に説明し滿蒙問題につき熱辯を

軍事行動を支持目的貫徹を期す

稀れの盛況だつた奉天に於る全滿日本人大會

滿洲事變に關する全滿日本人大會は五日午後七時から奉天春日小學校講堂において開催された、時節がら會場めがけて集まるもの多く定刻前流石廣き大講堂も立錐の餘地なき大盛況を呈した、まづ上田統氏の開會の挨拶について座長に野口民會長推され宣言書朗讀後、緊急動議として岡虎一氏は去月三十日東京において開かれた勞農大衆黨常任中央執行委員會において出兵反對闘爭委員會を設け、觀察のため代表を滿洲に派遣するといふが、右代表來滿の際は反戰運動の理由を詰問し社會主義共産主義一味にして爲軍寸次の行動に反對しその反對運動擴大のため滿洲に潜入するものあらば斷乎としてこれを排撃する事を全員にはかり滿場一致これを可決、決議文を直に大衆黨に打電することゝなつた、更に大會としての決議文作成に關しては起草委員をあげ左の如き決議文を起草、朗讀の結果、これまた滿場一致可決し同七時三十五分より時局に關する大演説會に移り數名の辯士何れも舌端火を吐く熱辯を揮ひ大喝采を博し近年にない大盛況裡に同十時過ぎ散會した、尚決議文は直に軍部並に政府要路にあて打電した【奉天電話】

決議文

今次滿洲における我軍事行動は東亞永遠の和平を確保するため正當且つ適切の行動にして中外の齊しく理解するところなり、茲に擧國一致軍事行動を支持し以つて本來の目的貫徹を期す

全滿日本人大會「宣言綱領」

五日夜奉天春日小學校において開催した全滿日本人大會における宣言綱領は左の如くである
一、滿洲に於ける權益擁護の爲めに此度我軍部が實行せる處置に依りて從來侮日的態度に終始せる東北軍閥破壞せられたるも昨今傳聞する所に依れば張學良は尚北京に在りて盛に東北地方官に號令し再び東北政權を恢復せんとするに努め加之南京政府は此度の事變に鑑み改過遷善以て我國と友好の關係を恢復せんとはせず却て之が爲め我國と一戰を辭せずと放言して國民の排戰的氣分を煽動するに至りては全く國際信義を無視し飽くまで我國に敵意を挾さむものにして此儘に推移するときは兩國の禍根は永久に除去せらるゝの期なく却て支那における全國的排日氣分の激成は將に倍し我國の蒙むる禍害は更に擴大するものあらんとす此際我國民は一致團結して重大なる覺悟の下に徹底的に禍根を艾除し以て東亞永遠の平和を確立せんことを期す
二、侮日的態度に終始せる支那軍閥官僚並に共匪、學匪の徒を徹底的に排擊するも善良なる民衆は吾人と共存共榮の僚友なれば誓つて之と益々親善關係を敦厚ならしむることを期す
三、此度實行せる我軍事行動は國際的慣行と正義に立脚せる正當なる處置なれば其の結末に於て將來兩國の間に充分なる諒解を完全なる保障の下に善隣の修交回復する迄は斷じて保障占領を解かざるは勿論在留邦人の多年築き上げたる經濟上の地盤を擁護すると共に地方治安の維持の爲め少なくとも條約上認められたる最大限度の駐兵を實行し現地保護を徹底せしめんことを期す
四、東北軍閥の敗殘兵は南滿各地到る處に殺傷、掠奪を擅にし或は個人を狙擊し或は列車を襲擊し或は朝鮮人部落にて虐殺を行ふなど人道上默過すべからざる兇暴なる蠻行のために地方の安寧は事變前に比して寧ろ破壞せられ内外人の人心不安の極に在るの時我軍は早期の撤兵を行はず徹底的にこれが掃蕩をなさしむる事を期す
五、條約上に根據を有し正當なる協定の下に顯著なる資本を投下しながら東北軍閥のために不當なる壓迫を受け進展せざりし權益並に通商上の權利等は遲滯なく伸張せしむることを期す【奉天電話】

軍事行動

蒙古に於る

哈市領事團が漸く重大視

【ハルビン五日發】蒙古獨立をスローガンとするコロンバイル獨立軍隊は支那軍に比較して遙かに近代式の武器を有し其の兵力侮るべからざるものあり、滿洲事變を轉機として多年の目的達成のため結氷期に入ると共に地方支那警備軍を一氣に掃蕩する計畫であるといふ、これがためハイラル居住邦人は極度の不安に襲はれ續々ハルビンに引揚げ準備中である、尚ハルビン領事團は愈々蒙古の軍事行動を重大視するに至つた

大谷新旅順要塞司令官

新任旅順要塞司令官大谷一男少將は八日入港のばいかる丸にて着連直に旅順に向ふ筈だが驛着は午後二時の豫定

横田南洋長官辭任

【東京五日發】横田南洋長官は病氣のため近く辭任する事となつたので、その後任には拓務省管理局長生駒高常氏が任命さるゝ事に内定した

第二の反抗 (50)

三宅やす子

阿部金剛畫

ある決心(五)

とても難しいと内心恐れてゐたなし
て居た佐枝子の決心が、案外容易に運へつて、兩家の都合のよいやうに、と折れて出たのは、ともかく兩親は喜んだ。
勿論、決して彼女がそれを喜んで居ないことは、よのつれの娘が縁談に際したさきのやうな、浮々した樣子が、微塵もないので、察知されるが、さうかと云つて、親を一時的にだますのだとは見えない。此儘、また氣のかはらぬうちに、早く結納だけでもすませてしまひ度い、と母が急ぐと、敬三は「結納では安心がならない。支度萬端大速力ではしよつて、式を擧げてしまはうぢやないか」と云ひ出す。
地主の花嫁として、形式のことつた支度をするのが、父には厄介なことをそれとなくほのめかすと、母は
「それもいゝでせう。でも、あつちから支度のことは——」
「勿論、うちで費用を負擔することはないさ。佐枝は向ふの人間だからな——しかし、親類の挨拶萬端、やはり、何もいらないといふわけには——兎も角とあたつての心用意はしておかんとな」
「それはさうで御座いますとも」
母は頷いて
「兎に角、私も忙しくなります。式服だ何だつて、見立てるだけでも一と働ですからね」
と云ひ乍らも、何となく愉快な用事を、あれこれと考へめぐらせてゐるのだ。

「式を擧げるとなると、向ふでやるか、それとも、東京で、こつち流にするかな」
「それは、太吉さんのお考へもあるでせうし、第一、太吉さんのお身體具合次第ですわれ。わざく東京まで出て來るのが大儀だとでもいふことになると、やつぱりあちらですか」
「田舍の婚禮はうるさいんでなあ——時間許り長くかゝつて、まるで皆に酒をのませる許りだよ。佐枝なんか、到底あんな婚禮の場に坐らせたら、すぐにいやになられてしまふ」
「ホ、、、それもさうですのれ。まあ、何しろ、敏衛さんがまた見えるつていふから、御本人とすつかり打合せませう」
父と母は、ひまさへあれば、こんな會話を交せて、のどかな鍵を出して居る。
佐枝子は、それを知ると、いよく彼女の
「どうでもいゝ」
といふ氣分を強められて、朝夕すきな書物許りに親んだ。
「また勉強かえ。ちつと、百貨店にでも一緒に行つて御覽でないか。今年はまた莫迦に値が下つて、素出しに澤山掘出し物があるつていふから」
「掘出し物は、どうぞお母さんが掘出して來て頂戴。どうせ田舍に埋れる人間には、特價品の掘出しだつて、勿體ない位よ」
「まあ佐枝子、そんな皮肉を」
「だつて、あたし、着物なんぞうだつていゝんですもの」

社説
共存共榮の樂土
永遠の平和　善隣の交誼

「滿蒙在住三千萬民衆の爲めに、共存共榮の樂土を速に實現せん事は、衷心熱望してやまざる所」といふのは、關東軍司令部から出した聲明書中の一節である(本紙五日附夕刊奉天電話)此れ固より關東軍の熱望であつて、同時に日本全國民の熱望である。否、啻に日本全國民の熱望たるに止まらず、世界各國全人類の熱望する所でなければならない。支那に在りては、先日來吾等も論述した如く、古來治者階級と被治者階級とがあつて前者は後者を搾取して自家一門の榮華の限りをつくし、後者は只壓迫搾取されて、それを自分等の天分として居つた。治者階級は、昔は皇帝貴族及び其臣下たる文武百官であつた。辛亥革命以後は、大總統以下の文武百官であつたが、亂世の常として其權力は武力に占められ、所謂軍閥の天下となつた。

◇

國民黨が一黨一國を唱へて革命の半分を成就してからは、治者階級は黨人と新軍閥とに占められた。元來支那におけるすべての戰爭は、皆治者權の爭奪戰であつた。皇朝の交代から最近南北に起つた反蔣戰に至るまですべてそれである。其間に民衆は、古往今來、相も變らぬ搾取の目的物であつて、治者階級の贅澤と彼等の爭奪戰との費用を全部其の額の汗から產み出されねばならなかつた。四億の人類はいつも此重荷を負ひながら、墓地に急ぐ動物であつた。人類の樂土などは彼等の夢にも見られない所であつた。

◇

滿洲に在りては、曾つて張作霖氏一門榮華を極めた時、支那本部は權勢爭奪戰を續けて居た當時心ある者は、其の支那人たると日本人たるとを問はず、張氏が本部の爭奪戰に關係せざるを以て、彼自身の爲めに利益なりとなし、又民衆の爲めに利益なりとした。所謂保境安民であつて、保境安民の保たるゝ間は滿洲の特殊性の關係上、民衆の爲めには比較的樂土たるを失はなかつた。然るに其後張作霖氏が關內に野心を挾み、次で張學良氏に至つては、全然滿洲民衆の利害を顧みず、支那の爭霸戰に參加するに至つて、其費用を滿洲民衆より搾取せざるを得ざるに至つた。學良氏自身は中華民國陸海空軍副總司令となり、滿蒙に關しては、東北政務委員會主席と東北邊防長官を兼れ、榮華の限りを極めた。軍閥と黨人との勢力を兼れて、治者としての最高權威であつた。此下に民衆の樂土がある可き筈はない。人民はすべて地獄の焔の上に喘いで居た。時なるかな。學良氏の思ひ上つた心得違ひが頂點に達して、遂に天兵の一擊を被むつた。此處に當然起られねばならぬのは、民衆の爲めに地獄の火を消して、樂土の花を開かす可き運動である。

◇

今の人類は餘りに國家主義に捉はれて居る。元來國家は民衆の利益の爲の國家でなくてはならないのに、今は國家が民衆の不利を招いて居る點が多い。全體西洋文明が行き詰つて來たので、資本主義は人類全體の幸福の爲めに起つたのだが、今は動もすれば人類不幸の源泉となる米や棉がなくては暮されない人類であるのに、それが多すぎて貧乏になる。器械は人類の幸福の爲に作られて、却つて人類の幸福を奪ふといふのは、すべて現今の弊害である。國家主義なども同樣の弊を免れないで、昔から國家觀念などのない支那に斯樣な考を持つて來るのが誤りである。世界の進んだ人達は國家主義資本主義などの出すぎた弊害を除いて、如何にして人類の樂土を實現す可きかを苦辛講究して居る。國際聯盟、不戰條約、軍縮會議などの計畫され是認さるゝ根本はそこにある。支那には昔から國家觀念なきこそ却つて幸、國家主義、資本主義といふ人類の樂土に至る一過程をオミットして、一足飛びに樂土其物の建設に從ふがよいのだ。孫逸仙氏が國民黨を作つた時は、國家主義全盛時代だつたから、其黨基には國家主義を多く疊み込んであるけれども、若し今日まで生きて居たら、恐らく吾等の言に耳傾けたであらう國民黨の人達が此處に氣がつかずして、極めて舊式な國家思想に拘泥して支那の騷亂を招き、國際間にも自ら禍害を受けて居るのを氣の毒に思ふ。

◇

滿洲では今回の事變の爲め、軍閥黨閥、即ち現在支那の搾取階級がなくなつた。此際當然出現す可きは從來の被治者階級の自治である。併しながら民衆(へ被治者)は、慣習上自屈的であつて知識も足りない。自治制を建設するだけの識見も膽力も技倆もあるまい。そこでウッカリすると、出て來るのは、此等民衆の代理を爲すと稱する一種の中間階級である。此階級は、軍閥黨閥の候補者たる可きもので、あつて、追々と本物の治者階級に成長するものである。丁度、國民黨が民衆の代りに軍閥から政權を奪回してやるのだと稱して自ら其政權を橫取りし、しかも訓政期と稱して、人民の政治訓練を施すのだと云ひながら、自分等はうまく〳〵と新軍閥黨閥となつてしまつた樣なものだ。斯樣な事になれば、民衆の爲めには何にもならぬ。民衆の中の識見ある者は、常に此點に注意せねばならぬ。而して知識階級中の誠意ありて、眞に民衆の爲めを患ふる分子に對して、吾等はいつも不良分子の跋扈を抑制して、眞に民衆の爲めの樂土を建設せん事に努力せん事を希望する。我關東軍司令部は實に滿蒙の議者及民衆に對して、有益な示唆を與へたものである。

住むに家なく 喰ふに食なし
奉天附近に避難の鮮人二千餘
總領事館に救濟方陳情

內地人に率先して滿鐵沿線その他滿蒙各地に散在せるわが鮮人同胞は間島附近の約四十萬を差引いても尙五十萬人に及ぶ、之等同胞は恰も內地人に代つて孜々營々として滿蒙開發に殆ど生命懸けで根強く努力しつゝあり、眞の滿蒙開發者として滿蒙に貢獻するところ實に大なるものあるに拘らず、這般の萬寶山事件における如く絕えず上下支那住民に脅かされ來り、殊に今回の日支衝突事件の勃發後は每日の如くに各地に於て掠奪、虐殺さるゝの慘事に逢ひつゝあり、これ等鮮人は今後北滿の嚴寒迫ると共に如何にして

生存してゆくかわが當局に於ても大いに憂慮してゐるところであるが、奉天附近在住の同胞三百二戶二千餘人の代表者六十七名は最近奉天總領事館に趨り左の如き救濟方の陳情書を提出した

私共の大部分は從來奧地にあて農業に從事したるものなるが近年の中國官憲の無理な壓迫と不當な誅求並に所謂思想運動朝鮮人の迫害等の爲め多年苦心して築き上げたる基礎も財物も放棄して所謂安全地帶なる滿鐵沿線に避難したるものである、而して今春奉天に彷ふ我等五百餘戶二千名の家族のものは昨冬より

今春迄　住むに家なく喰ふに食なく働くに職なき爲め或は二日一食の粟粥を、或は米糠等を以つて口を糊し、其の乃至彼等の糊口の方便として今後二、三週間を經過し愈々收穫が始まれば掠奪人質加害等を恐るゝことは火を睹るより明にして現に既に多數のものが危害を蒙りつゝある現狀なり、此際に當つて我等は微力にして他に自治の途も

生活は　全く當なき狀態で…

自衞策　も講ずる方法なく又從來の如くたゞこれを運命と諦め饑餓に泣き、坐して餓死を待つ譯にもゆかず、然りとて其根本原因や責任が誰にあるかとて不平や理論のみを言つてゐる時でもなく、又慈善家の自發的同情を待つても居られない、從來の經驗に徵するに無力な吾等が或は掠奪され或は人權を蹂躪され甚しきに至つては其の生命さへ奪はれても日本官憲の抗議を申込みし以外に賠償も處罰の

報復も　したことあるを聞かず、かくて朝鮮人は先進獨立國民の犬馬の生命程の價値も認められてゐないと言はざるを得ず、茲に於て我等は日本の爲政當局者に向ひ、その職責上からしても人道的見地からも此際保護救濟の爲め左記各項の應急對策を講じ、餓死の危機に瀕せる我等の生命をお助け下されたく、茲に謹んで陳情する次第なり

希望事項

一、奉天附近に避難し無職饑餓に泣く我等二千の朝鮮人民の爲め失業救濟事業を起し來春迄饑餓を救援すること

二、我等に來年より耕作すべき土地を與ふること

三、今秋奉天に避難すべき農民に對し鴻業公司その他日本大家主所有家屋を開放し來春まで無賃にて收容されたきこと

四、避難出來ざる事情にあるものゝ生命財產保護のため必要なる地帶に警察官を駐在せしめられたきこと

五、朝鮮に歸鄕又は他に移住せんとするものに對し滿鐵並に朝鮮鐵道の無賃乘車を許すこと

「今度の上京は 豫算が主だ」
五日夜內田滿鐵總裁 朝鮮經由で東上す

內田滿鐵總裁は時節柄內外の注目を浴びつゝ愈々五日午後十時發列車で上京の途についた、出發に先だち總裁は五日午後三時から重役會議を開いたが席上七年度事業に關する最後の審議を兼れ時局に對する報告を聽取し今後に處する滿鐵の方針について熟議した模樣である、內田總裁は途中奉天に三日滯在することゝなつてゐるが、同地に於て軍司令官及び滿鐵首腦部の

重要會議　を開催しその結果を齎して京城に赴き宇垣總督と打合せを爲し上京するのではないかと觀測される、それからあらぬか總裁の上京と共に佐堂、十河兩理事も奉天まで同行する內田總裁は出發に先だち左の如く語つた今度の上京は豫算が主だから別に問題にすることもあるまい、豫算も昔の盛んな時代ならよいが赤字時代の今日では却々つらい役目だ、途中奉天に寄るが別に意味はない、奉天には知人も多いことだから滯在するまでさ京城は宇垣總督とも舊知の間柄であるから一緒に飯位は食はせて吳れやうさ、僕の上京は

五日夜東上の內田滿鐵總裁と見送りの江口副總裁……大連驛にて

日銀一律に利率 二厘引上げ
六日から實施を發表

【東京五日發】日本銀行は五日午後六時二十分左の如く金利を一律に二厘引上げを發表した

商業手形割引步合日步一錢六厘▲國債抵當貸附利子及び國債保證手形割引步合一錢七厘以上▲國債以外のものを抵當とする貸附利子及び國債以外のものを保證とする手形割引步合一錢八厘以上▲當座貸越し及びコレスポンデンス貸越利子日步二錢以上
昭和六年十月六日より實行す

我國の金輸出 再禁止意見
藤原氏から發表

【東京五日發】藤原銀次郞氏は五日午後の研究會總會席上對支貿易並びに對英貿易の現狀から見て金本位制維持は困難だから我國は金輸出再禁止をせねばなるまいとの意見を發表した

時局とは　關係はないのだ、然し斯ういふ時期であるから聽かれゝば參考になることはどし〳〵意見も述べる、それは僕に限つたことではない、誰でもが腦味噌をしぼつて當事者を後援するのが當り前である、滿洲地方委員會や商議の代表等も上京するさうだが非常によいことだと思ふ、强硬外交といへば語弊があるかも知れぬが、主張すべきことはどこまでも主張し今後再びかやうなことのないやうにせねばならぬ、僕が外相にでもなれば?そんな馬鹿なことがあるものか、幣原君が全力を盡してやつてゐるではないか、今回の事變に際して世界の信賴を得、聯盟をして諒解せしめたのは幣原君の外交方針が功を奏したのだ、勿論今回のことは

わが軍は　正義のために行動したのだから何等憚ることはないが、然しこのわが眞意を外國に理解せしめたのは幣原君の手腕が大いにあづかつて力がある、今後に處する滿鐵の處置か?何しろ相手がどうなるか解らない今日どうするといふことも出來ない、が變化に應じていざと云ふ時には何時でも交涉出來るやう充分研究し準備して置く、また政府の意見も充分

支那側への貸賣 數百萬圓に達す
市政公所で決議斡旋

今回の事變により奉天邦商の支那側官廳及び取引商人との決濟は全然不可能となつたが右の內目下我軍が占領してゐる諸官廳に對する賣掛代金に對しては市政公所において何等かの方法を以て支拂ふべく目下考慮中の趣きであるが奉天商工會議所の調査によれば右官廳筋への賣掛代金は九月三十日現在日本金二百九萬五千百九十四圓八十五錢(この內滿鐵の石炭賣掛その他約百萬圓)現大洋百五十四萬四千五百十四元、奉天票十二萬元である、なほ個人商店に對する賣掛代金は目下調查中であるが數百萬圓に達する見込みである【奉天電話】

着京は十三日夜

五日大連を出發した內田總裁は途中奉天に三泊京城に一泊して京都に立寄り十三日午後九時二十分東京驛着の豫定だ

內田滿鐵總裁 動靜

內田滿鐵總裁は東上の途次、杉本秘書を從へ、六日朝來奉、ヤマトホテルに入つたが、同日はホテルにおいて林總領事その他の訪問を受け午後二時より本庄軍司令官を訪問し、陣中見舞旁々時局に關し會談するところあつたが、總裁は兩三日滯在し、九日十五時二十五分着安奉線急行で上京すると【奉天電話】

大連市長の詮衡 中絕の形
見當らない適任者

大連市長問題は市長詮衡委員の一部が軍隊慰問のため旅行中に就き目下中斷の形になつてゐるが全會一致を以て推薦すべき市長適任者の見當らぬ今日、革新俱樂部では大內市會議長を推さんとする策謀ありと傳へられ、革新俱樂部を除く他派は金井市會議員を立てんとする說擡頭してゐると噂されてゐる、何れも何の程度まで進捗してゐるかは不明であるも大內市會議長ならば現辯護士の職を擲つても就任すべく、また大內氏自身も食指大いに動いてゐるものゝ如くである、一面金井議員は滿鐵衞生課長の要職にあり、之れを辭して迄も市長たる事は氏の立場から考へて疑問とされてゐる。之れを見越した革新俱樂部では大內氏に可能性充分ありとし前後四回にわたる詮衡委員會もこうした前提の許に空氣を誘引すべく紛糾せしめたとまことしやかに言はれてゐるが、果して大內氏が市長たらんか自然決選投票を豫想されて市會は一層紛糾するであらう

2―0 全大連チーム 英艦軍に敗る
五日の蹴球戰成績

目下大連入港中の英國巡洋艦カンバーランド號對全大連日本チームの對抗蹴球戰は五日午後四時五十分より大連運動場に於てホルト氏審判の下にカ號先蹴で開始、全大連練習不足のためコンビネイションを缺き二對〇で零敗を喫す

カ號 (2―0 / 0―0) 全大連

前半　大連トスに勝ちプール側(風はバックスタンドより吹く橫風)に陣しカ號のキックオフで開始、一分カ號右隅蹴を得たが成らず後壓迫を續ける五分カ號右より攻入りRIルッシュ、シュートしたが成らず、六分三十秒大連右より攻入りFC內田シュートしたが成らず七分三十秒カ號HBの好蹴をRWメイヤー得て長驅してゴール前に迫り中央にパスRIルッシュ、ヘッディングでこれを受けたが惜しくもはづれ九分右隅蹴をカ號FWへッディングして大連危機と見えたがGK後藤とび出してこれをはらひ危機を脫す後十五分カ號左より攻入りLIリーダーの好シュートGK後藤よく止め右にそらすをRIルッシュとびこんでシュートGK後藤轉倒しながらこれを防ぎ觀衆拍手を送る二十分HBロブソン三十碼附近よりロングシュートしてゴールをうかゞつたが上にそれて得點に至らず二十五分カ號右よりFWパスの後LIリーダー、ヘッディングを以てゴールをうかゞつたがGK後藤これをよく防ぎ二十八分カ號右より攻入りCFロビンソンにパス、ロビンソンが成らず二十一分大連右…HO古垣單身ドリブル敵攻入りゴール前に迫つたがこれを防いでも返へし、RWメイヤーの好蹴をLIシュ、ヘッディングでゴールをうかゞつたが後藤ジャンプこれを防ぎ後もり返へして突進し古垣右よりパスしRW、RIともに居らずはカ號直ちにもり返へす

後半　カ號直ちに攻入右隅蹴を得てLIリーダーこれを得て強引にゴールに迫つたが三浦これをよく防ぎ、一時もり返へしたが再び攻められる六分三十秒大連左より深く攻入り右隅を得たがる九分カ號FBの長蹴にもり返へされカ號右より攻入つてセンターパスをロビンソン、シュートしたが成らず後壓迫を續け十五分RWメイヤーシュートしたがGK後藤好守十七分大連好機…顯右にはらふをRWメイヤーばやくとび込んで左にパスRIルッシュ、シュートして最初の得點を擧ぐ▲カ號直ちに見事FWパスで攻入りRWメイヤーから左に流れLIリーダー、シュートして更に得點しそのまゝハーフタイムとなる

カンバーランド號		全大連
ロビンソン ルッシュ メイヤー	FW	田藤 內野 名飯
アーシュマン ロブソン ヒングストン	HB	田垣 富間 古福
バーペンター コックス	FB	浦本 三山
フエイマン	GK	後藤

市民と迷惑 非難のこゑ
大連中央卸市場問題

大連中央卸賣市場は日本人側卸賣人十三名の辭退により全く支那人側の獨占する處となつたが辭退せねばならぬ理由は既報の通りなるもその裏面にはまた卸賣人多數を擁する支那側は市場離間題に遭遇した場合何時も多數決を以て日本人側を脅迫してゐた、その間に日支人の民族的鬪爭も加味され醜穢せる空氣が今回組合嘆願の一蹴に反映したと云つても過言でない、換言すれば日本人側の敗退で今や市場は支那人側の獨占壇上であり

變形的　なものとなつてしまつた、市は將來に處する善後策無くして日本人側を辭退の餘儀なきに至らしめたため目下これが善後措置に苦慮してゐるが、萬一殘留の支那人を基礎として新規日本人の出願者に對して卸賣人たることを許可したとしても果して支那人側と對抗出來るや疑問であり結果において何時も支那人側より壓迫さるゝは火を睹るより瞭かであり、一面辭退せる日本人側十二名より協力して對抗された場合市民利益のため市の市場掌能が充分發揮さるゝや疑はしく斯くなる事全く市理事者の市場行政上に對する大失態であらう、一說には市が現在の如く支那人のみの市場を經營するならば寧ろ解散して自由市場となし轉じて

懸案の　市場改組案が實現した場合改めて出願者を許可した方が安當の策であるとも傳へられてゐるが、何れにせよ現在の儘ではわれ〳〵市民の迷惑一方でないと非難の聲が高い…噸增にして主として官吏、會社の減俸ならびに滿鐵その他の整理等に依り一般に…もの謂められ從つて此…は今後なほ持續すべきを以て…のと觀測される

郵便貯金
九月中の成績

滿洲における九月中の郵便貯金は引續き好況を保つてゐたが、去る十八日日支衝突事變の突發に因つて拂戾しを爲すもの多くために拂金は一時停頓狀態となつたところ數日を出ずして又また活氣を呈するに到り、預入高口數七萬八千四百九十八口、金額二百七萬四千三百六十五萬圓また拂戾高は口數三萬二千五百七十四口、金額百四十九萬五千二百七十五圓にして前月に比し預入高は口數千七百八十四口、金額五十萬二千八百五十七圓を、また拂戾高は口數五千四百三十六口、金額十一萬六千二百七十三圓を增加し月末現在高は人員二十九萬二千六百五十九人、金額二千六百三十四萬四千二百五圓となり前月末に比し人員は二百五人を減じたるも金額は五十七萬九千九…

衆議院視察團
十六日東京出發

【東京六日發】衆議院議員の滿蒙視察團は民政黨由谷義治氏を團長として一行十名は十六日東京發門司より滿鮮視察に赴くと

ばいかる丸船客

【大連特電六日發】八日入港豫定のばいかる丸の主なる船客諸氏
旅順要塞司令官谷一男、國粹會理事長中安新三郞、田六郞、藤川類造、大谷雅、佐野茂、位藤安之助、市村、芦田甚太郞

閣議決定事項

【東京六日發】
朝鮮總督府事務官　富永文一
任咸鏡北道知事(二)

「國難だ、躊躇するな、政府は速かに宣戰を布告しろッ」と熱血學生は叫ぶ▲「宜しい諸君が切望する政府は即時開戰する、勇敢に義勇軍に應募すべし」▲…

投書歡迎 (五十行以內)
腑甲斐ないとは
一市民

◇廿六日夕刊所載の記事に腑甲斐なき釣り黨の社員には滿鐵がバスを發行しないとの方針について事地に奮鬪せらるゝ同胞に對しさもあるべきことゝ同感の至りである。

◇只一言申上ぐ、釣は一種の趣味ばかりではない、體育奬勵の今日釣りは健全なる身體と健全なる精神を涵養する點に歸着する時局たりと雖も內にありては下らぬ娛樂に耽り、出でゝは飲酒紅燈をあさる輩とは更に趣きが異ふ。

◇釣り黨は滿鐵社員ばかりではない、娛樂、趣味を謹愼せよと言はるゝなれば他にも澤山あらう、差し當り滿鐵會社は何故事件突發直後の十九日、廿日に謠曲會場として協和會館を貸與せられしや、然も入場者には滿鐵社員が多數、釣り其物が惡いとすれば何故旅順線の午前四時發の臨時列車を中止せられざりしや。

◇下らぬ記事を發表するが故に沿線各地の社員を動搖せしむることは二日の八相面にもある如し。自分で自家を攪亂する、假りにも滿蒙を背負て立つ大會社として從業員の貧禄さには驚かざるを得ず。

◇再び言ふ釣り黨にも血もあり淚もある立派なる日本魂を有してゐる緊急の場合には精練されたる身心を以て國家の爲めに働きましせう、腑甲斐ないとは過言ではないか。

市況 (五日)

株式
內地大引崩り 東新百一圓

內地主力株の大引崩りを入れて當市の東新も百一圓と崩りに引けた

◇延取引(單位十錢)

品	後場			
五品	一	一	一	一
新豆	一三	一一六	一三	一六
錢鈔	一	一	一	一
大新	一〇〇三	一〇一五	一〇〇三	一〇一〇
東新	九九五	九九五	九九五	九九五
鐘新	一	一	一	一

特產
投げ續出で 豆油續落

後場の定期は大豆豆粕高樂前場低落のあさを受けて一般的に小戾したが豆油のみは依然投げ續出で續落を呈した

◇定期後場(銀建)

▲大豆(强保合)(單位厘)

限月	寄付	高値	安値	大引
十月末	三四〇〇	三四一〇	三四〇〇	三四一〇
十一月末	三四三〇	三四八〇	三四三〇	三四八〇
十二月末	三四七〇	三四七〇	三四七〇	三四七〇
一月末	三四九〇	三四九〇	三四九〇	三四九〇
二月末	三五〇〇	三五〇〇	三五〇〇	三五〇〇

出來高　百六十一車
▲普通大豆(出來不申)

商品
麻袋見送り 綿糸反撥

綿糸　大阪三品大引は前場寄に比し期近二圓高先物三圓拂高と反撥し當市は手仕舞もので相當手合せをみた

錢鈔
鈔票引續緩む

錢鈔後場は前場後半に引續き更に小緩み相當の商內をみた

奧地市況

市場電報

神戶特產

大豆現物	三八〇
大豆先物	二七〇
豆粕現物	九八
豆粕先物	一九八
滿洲小麥	出來不申
豆油現物	一五二〇

東京株式(長期)

銘柄	後場寄	後場引
東株	一一〇〇	一一二〇
東新	一〇二七〇	一〇三一〇
五品先	九二〇	九二〇
豆信	不申	不申
豆新	不申	不申

東京株式(短期)

銘柄	東新	鐘紡
寄値	九八〇〇	一四五二〇
引値	一〇三〇〇	一五四四〇
高値	一〇四〇〇	一五四四〇
安値	九七九〇	一四五〇〇

銘柄	鐘新	滿鐵新
寄値	五八八〇	二三四〇
引値	六一九〇	不申
高値	六二五〇	二三四〇
安値	五八八〇	二三三〇

滿日各地版

部落民馬賊に投じ 支那人總てが匪賊
その後奥地方の状況

【奉天】今回の事件で奥地居住邦人は續々奉天に引揚げて來るが是等避難民の齎した昨今各地における狀況は左の通りである

柳河地方　柳河北山城子、海龍を中心とする内地人廿一名、鮮人一名合計廿二名は日高巡査に護衛され海龍から吉林に出で吉長線から長春經由で四日夜九時奉天に着いた、北山城子より瀋海線で奉天に歸ればその五分の一もかゝらぬが北山城子奉天間の營盤方面には目下王以哲の敗殘兵が横行し虐殺、掠奪を行ふ始末に危險極まりないので比較的安全な吉海線を經て吉林に出て歸奉したものである同方面の避難民はこれで大部分引揚げたがその中には内地人の狂婦人も加はつてゐた、目下の處賊の横行は盛んであるが暴行を行ふ程のこともないし又同地方の支那官憲も邦人に對し責任を以て保護するその代りに日本軍隊を入れて貰ひたくないことを希望してゐるしかしその責任保護も當にならぬので萬一を慮り引揚げて來たのである

新民府地方　新民府附近は一部落を殘しどの部落民も馬賊に投じてゐるそれに敗殘兵も加はつて支那人殆ど全部が匪賊といつてもよい狀態である、しかも彼等は掠奪を行つた上に放火をするので良民の脅威は一通りでない新民府に於ても是等の匪賊襲來の噂が度々起りその度毎に町民は吾先に戸を固く締めて仕舞ふといふ全く文字通り戰々兢々の有様である、縣長などもゐて「日本軍は障らずに居て貰ひたい縣長の方で責任を以て邦人を保護するから」と稱してゐるがこれも全く保護の限りにあらずである、之がため同地方居住良民はどこの軍隊でもよいからこれ等の賊が横行しないやうに嚴重に取締つて貰ひたいと願望してゐると

通遼地方　通遼の居住邦人は去月廿六日全部引揚げ農場員と鮮人がゐるのみである目下の處何時通遼に歸られるか不明である同地には支那兵がまだ二個中隊殘つてゐるが警備などはされて居らず人心恟々の態である、滿鐵社員坪井氏を人質として去つた馬賊は蒙古人であることが判明したが何處の方面に拉去したか見當もつかぬ　そして農場との通信もその間支那人のため遮斷され詳細なことは判らぬ同地方鮮人も目下秋の收穫時期ではあるがこれをされば賊團が來て全部持ち去る始末に鮮農は銃を所持せしめられたいと希望してゐる程である之がため本年の收穫は平年より幾分多いと豫想されてゐたものも是等匪賊の横行掠奪で收穫は皆無となりはせぬかと憂慮されてゐる

瀋海沿線一帶の匪賊を掃蕩
わが軍出動の詳報

【撫順】匪賊奥地鮮農保護鐵策確立の爲四日わが出動軍の詳報、當日わが軍編成はまづ島本大隊長の率ゆる獨立守備隊第二大隊三個中隊と第六大隊の二個中隊が主力であつた、是に參加した撫順守備隊は川上中隊長、村上、角田兩中尉以下百餘名午前五時半營門を出發六時半瀋海線撫順驛に到着本隊と合し七時三十分撫順站を發車した、まづ同出動隊の列車は威容全く堂々たるもので先頭には装甲列車三臺是に客車六輛、飲料水食料兵器レール馬匹等滿載の貨車五輛計十四輛と機關車四輛を以て構成され壯觀そのものゝ如くであつた、尚これよりさきモーターカー二臺は鐵路偵察のため進んだのであるが果然驛馬站石門寨間の線路一本は完全除去一本は犬釘を悉く拔き必然そのまゝ進めばわが軍の列車は顛覆されるのであつたがモーターカー隊で逸早く是を發見幸ひ事なきを得た　而し本隊は下章營驛で全部下車しそれより敗兵掃蕩實狀視察並びに日支居住農民に絶對的安心を與ふる等の目的で同所より三隊に分れ一は下哈達を迂廻營盤に一隊は渾河右岸に副ひ何れも營盤めざして進軍した、わが隊の勇姿を見た支鮮住民は歡喜して是を迎へ始めて安堵せる態であつた、茲に劇的シーンを展開したのは下哈達附近その他山間樹林中に兵匪の難を逃れて鮮農が隨所に飛び出し帽を振り双手を高らかにかゝげ日本軍萬歳を連呼し前進中の將卒に縋り感激の涙に咽んでゐた一幕である、斯くして渾河に沿ひて進みし隊は午後零時三十分鐵嶺に向ひし隊は同一時下哈達を右廻せる隊は同三時三十分何れも目的地營盤に到着、その間逸早く逃走したる兵匪の影は全く認められず一彈をも費さずして上述各地居住鮮支農民にもう大安心だとの拔くべからざる信念を與へ得たのであつた

營盤驛頭支那官民は兵匪掃蕩の我軍到るや逃げる處か是亦非常な安心を得衷心好感を以て續々出迎へ湯茶の準備をする者豚數匹をわが軍門に慰問のため献ずるもの等犇々と押掛けた是は如何に皇軍を中國大衆が信頼するかを裏書したものであつた、尚同地方中國民間代表者としては山城子農會務會長、公安局長等二十數名が遠路馳せつけその出動は我々中國居住民を殘虐なる兵匪から救濟するものと感謝してゐた、一方是にも增し喜悦を漲へて迎へたのは同地方在留邦人代表者渡邊耀藏、小島熊太郎兩氏、山城鎭病院長中屋敏夫、海龍領事分館員岡宗義、館澤氏等でビール四箱、煙草四箱、菓子十箱等を運び來り出動軍の勞をねぎらふ所あつた

在留邦人並びに鮮人及び一般支那住民の將來の生命財產保障の重要なる日支代表者の會見は同日午後五時營盤驛長室において行はれたのである、今や同地方の兵馬の實權を握る東邊防司令于芷山はその治安維持全般の實務を司る傅參謀長をして吾が軍を迎へしめ島本大隊長と會見、島本中佐は峻嚴なる態度を以つて兵匪の殘虐行爲を默認するは日鮮居留民の脅威のみならず中國良民の不幸である故貴官にして責任を持ち得ざる場合は遺憾ながら吾が軍はこのまゝ直に軍事行動に移るが如何との最後的警告に對し傅參謀長は東邊地帶一帶の警備は充分わが手でなし得る狀態に還元してる故今後は日鮮居住民の生命財產は于芷山並びに私に依り絶對的に保障すると誓ひ驛前廣場に屯す精鋭なる吾が軍を見て完全に慄へあがつてゐたのでわが隊今回の出動根本目的は上述以外にないので茲に傅參謀長の提示せる誓約書二通に調印を了し午後六時五分歸隊の途につき同七時半撫順站着それより本隊は奉天へ撫順守備隊は同驛で夕食を認め同九時兵營内に歸隊したのである

敗走兵は總べて于氏麾下に統制
王以哲の支配を脱す

【撫順】撫順、鐵嶺等の背後地現下の兵權は何處へ行つたか？別稿の四日營盤方面に出動したる有力なる撫順守備隊の一將校の語る處に依ると舊部下數千をひつさげ奥地各縣下鮮農を掠奪、虐殺、婦女暴行等を恣にしてゐた北大營殘將王以哲も何等か方向轉換をせざる限りその運命は正に迫り一説には既に吉林方面に逃亡したと謂はれてゐる、而して北大營を脱して以來匪賊の如く暴虐の限りをつくしてゐた數千の敗殘兵は武装解除された者又は山城子にある護路軍の總取締であり東邊防鎭守司于芷山のもとに集結されつゝある從つて悪逆行爲の總指揮官王以哲の支配を脱し今やその大部隊は于芷山の秩序ある統制下に置かれる事となり北山城子を中心として西南八家子三家子、南雜木一帶は勿論、西北西豐、海龍、東豐、東南興京、通化一帶即ち南滿で鮮農の最も多く居住する地域の兵權は時局直後の變態たる王以哲を離れ于芷山に移つた、從つて于芷山にして誠意ある治安維持をなす以上同地方一帶の邦人並に鮮農の生命財產は保障される筈であると

した、放棄するより外なしと懸念せる一年間苦心の結晶たる收穫物の取入も出來る事となつたので彼等の喜びは正に譬へやうなく帝國官憲の至らざるなき保護に感泣喜々として相携へ歸途に就いた

八十名の馬賊
我騎兵隊と交戰

【公主嶺】馬賊の跳梁公主嶺支那町を襲撃放火濫殺の馬賊團襲擊事件後大小の馬賊團は當地を中心とし附近部落を横行之れが警防に不眠不休警官の活動中四日午前一時戰山好を頭目とせる八十名の騎馬賊は當市を距る北方二十支里の地點に頭目黑龍の率ゆる三十餘名の賊團は東方十支里の地點に移動し來り形勢頗る不穩となり嚴戒中支那町衙門に四日午後九時支那町を襲撃すとの馬賊の大集團より脅迫狀が舞込んだので住民は戰々兢々貴重品を附屬地に運搬しつゝありとの情報に騎兵聯隊より下士以下六名の斥候出動同日午前十時東南方(邦里)一里半の地點に於て移動賊團の先發隊と遭遇交戰一時に亘り之れを撃退歸隊し各方面に賊の行動を報じたので要所の警備を嚴にしたのであるが同夜はことなくみたるも今尚嚴戒中である

西安の邦人 鐵嶺に引揚

【鐵嶺】敗兵團殺到せる爲め頗る危險に陷つた西安大疫症の居留邦人村上巡査以下十五名は支那側公安大隊に避難してゐたが鐵嶺領事館から引揚命令が發せられたので二日同地出發撫順を經て三日無事に開原まで引揚げた

敗兵鐵西に移動
滿鐵線路を横斷して 四日以來續々と潜行

【鐵嶺】三日夜來敗殘兵の大部隊が新臺子鐵嶺間の滿鐵線を横斷し續々西方に向ひつゝありとの情報に亂石山西方の沙池子榮家屯等に居住する鮮農三百餘名は東部大甸子方面の二の舞を恐れて續々避難を開始し四日朝までには殆ど引揚げた模様であり而も四日未明榮家屯方面に炎々たる火焔が揚がり敗兵の放火が開始されたる如く見受けられたため鐵嶺守備兵警察隊は急遽特別班を亂石山に派し附近一帶を警戒し四日朝六時吉川大尉指揮の下に二十九名の守備兵警察官通譯等は沙池子榮家屯濼牛堡子等各部落を視察正午歸來したが其報告によると同地方は一兵の姿を見ず榮家屯には四日午前三時頃三十名、四十名の二組通過せるも遼河を越えて法庫縣内に入り孤家子にも同時三百名、四百名の二團通過して同様法庫縣へ向ひたるが同部隊は孤家子新臺子間に於て阿牛堡子の村長を捉へ大洋百六十餘元を強奪した、右敗兵は何れも四日午前零時頃康家屯の踏切を横斷して西方に向つた模様あり尚此ほか四日午前三時頃濼牛堡子に八、九百名の一團到着したるも直ちに遼河を渡つて新民法庫方面に移動した模様である、斯くして今まで東部方面に潜行してゐた敗兵は鐵嶺守備隊軍松大隊の出動によつて全く進退に窮し東部潜行の危險を知つて西方に移動せんとせるものゝやうであるが各地とも何等被害なく榮家屯方面の火焔はこれ等敗兵團がその友軍に所在を知らしむるための烽火に過ぎなかつたと

御下賜繃帶傳達式　五日午前臨時長春衛戍病院内で皇后陛下御下賜の繃帶傳達式が行はれた、寫眞は木下衛戍病院長より繃帶を拜受する負傷兵第四聯隊代表佐々木少尉

夫の死場所を弔ひ 去りやらぬ遺族の涙
戰死者の遺族激戰の跡を弔ふ

【長春】南嶺、寛城子の戰跡見學者は憲兵隊の許可を得て毎日押かけ忠勇義烈な皇軍の戰死者を弔ひその慘澹たる激戰を回想して慘忍極まる支那軍の蠻行無秩序をにくんでゐるが戰歿者慰靈祭の前日即ち三日には公主嶺獨立守備隊戰死者遺族が内地歸還前是非夫の戰死した跡を弔ひたいといふ處から南嶺の戰跡を訪れた、實戰に參加した守備隊の將校はこれを案内して前市岡大尉の戰死した處は此の地點、薫田少尉は此處とその戰闘當時から最後の戰死までを詳細に説明したものである、國に殉ずる軍人の妻子とは云へ夫の死が何で悲しまずにゐられようか、遺族は夫の勇戰遂に暴虐なる支那兵のため斃れた地點を去りもきらず潸然としてその魂を慰め案内者の歸路をうながすのも耳に入らぬか歸らうともせず果ては夫の身體から流れた血潮の跡をハンケチに掬取つてヤット歸つたといふ悲しいエピソートも殘されてゐるが、軍部では近く南嶺の兵營で完全に殘つてゐるのを修理して駐屯軍越冬のため野砲隊、重砲隊及び歩兵の一部を收容し他の兵營全部は全部破壊焼却の筈である、尚砲彈、手榴彈、小銃彈等多數殘されてゐるので之は一纏めにして一兩日中に爆破處分に附することゝなつてゐる

避難した鮮農達 耕地に歸る
五日汽車で撫順出發

【撫順】島本大隊今回の英斷は奥地日鮮支農民始め一般居住民に太鼓判を捺した大安心を與へ北大營の戰以來十數日に亘り兵匪に蹂躙された鐵嶺清原その他各縣の治安維持確立の根幹茲に成つたのでその徹底的救濟方策に惱み危機を傳へられてゐた避難鮮農問題も急轉解決に向ふ事となつた、同出動隊に參加奥地現狀を確めたる川上第二中隊長は四日午後十時守備隊に避難鮮農代表者を招致左記實狀を語つた

諸子の元耕地治安維持大策は全くなつた決して心配する事はない只今後とも三人五人の便衣隊の出沒は保證出來ないが是等は奥地の事であり事變前と何等異ならぬ譯だ所謂敗殘兵として多數部隊の掠奪横行は斷じてない保證する

かくて右代表は喜々として民會に歸り各自歸農するか否かに就き相談する處あつた一方寺　警察署長岩崎高等主任は川上中隊長と熟議且つ避難鮮農の意見も聽き五日各耕地に歸農さす事と確定した、撫順縣下より避難せる殘部は午前直に歸農さし貿撫順縣公安局長を撫順署に招致寺田署長より將來の警備に就て注意する所あつた尚鐵嶺縣下より避難せる百四十五名も歸農さす事となつたが値に懸念されるのは撫順鐵嶺兩縣境に今尚少部隊の敗兵橫行すとの隊及び鐵嶺署の情報に依り萬全の策を執り鐵嶺附屬地まで汽車で歸し同處より安全地帶を通り各耕地に復歸さす事となつた所が滿鐵交涉の結果汽車賃半額は成立したが殘餘旅費はおろか辨當代もないので民會の殘金及び撫順署に保管せる貧民救濟金の内より金百圓を與へ五日午後三時五十五分列車で前記百四十五名全部を歸農させた

鴨綠江沿岸に再び侮日氣風
わが當局の態度注視

【奉天】排日の最も盛んな鴨綠江沿岸の支那一般官民は今回の事件後非常に緊張し日本の強硬なる態度に怯えてゐたが其後漸次平靜に歸すると共に排日、侮日の態度が再び起り而して支那人要人は日本政府の聲明、聯盟の模様、出先外交官の言動に對し慎重な注意を拂ひ若し日本側が時局の收拾を急ぐ或は極めて平和裡に解決せんとすれば彼等は直に之に乘じて事をなさんとする色彩が濃厚となつて來たと

この軍人に この國民あり
感謝せしめる數々

【長春】長春の日支事變に於て市民が軍に献心的に援助したことは軍としても感激おく能はないところであらうが健兒團及自警團の寛城子戰に於て戰傷者を第一線から擔架で後送應援したこと工建現業組合員が寛城子、南嶺兩戰で捕獲した戰利品の運搬、野砲軍馬の雨にうたれるのを見て一致團結し馬舍を築造して寄附したこと等は寧ろ全市民をして如何に感激させたか知れぬ二百頭以上の軍馬が北滿の冷たい雨にうたれながら止むを得ないとは云へ放置してあつたのを見た市民は恐らく國のため身命を賭して働く軍馬のため同情の淚を寄せたであらう、大連近江町碇子隆三氏が

拜啓貴組合益々御繁榮の段奉賀候陳者本日滿洲日報紙上にて承り候へば今回の日支事變出征軍の最も重要なる軍馬に對し馬舍建築御寄附の由誠に美擧の事と存じ奉り候就ては誠に僅少に候へ共貴組合今回の馬舍建築費中に御加へ被下度金十圓也を御送附申候間御納め被下度候

長春現業組合に寄せられたなどは日本人を除いて見出せない義擧であらうと組合でも寧ろ恐縮の態である、滿蒙權益擁護のため國に殉ずる軍人これを支援する國民この協力が日本をして强からしめるところであらうと思はれる

沿線往來

▲三宅關東軍參謀長　五日長春より奉天へ
▲森守備隊司令官　四日奉天へ
▲羽田滿鐵々道部次長　同上
▲伍堂滿鐵理事　四日大連へ
▲平田第廿九聯隊長　四日奉天へ
▲楠居拓務書記官　五日釜山へ
▲濱田陸軍省副官　五日長春へ

布告破棄の主犯 蕭共天處罰さる

【開原】既報の開原城内に貼示した軍司令官守備隊司令官の布告三十餘枚を廿八日の一夜の内に破棄し其の布告面に排日の文字を大書せし主犯者開原城内居住蕭共天(二〇)は犯行の一切を自白したるを以て飯田中隊長は十月五日午前七時軍法に照し練兵場に於て銃殺し同日午前九時死體は佟縣長尹公安局長に引渡した、尚共犯の疑ひ深かりし金夢周外四名は誓約書を提出せしめ身柄は同じく佟縣長に引渡した、主犯蕭共天の父は元陸軍聯合軍團司令部軍械教育班教官の要職に在り退職後は開原城内に安穏してゐるので生活に不足なき家庭に生れ老母弟妹あり昨春開原縣立中學校を優等で卒業した前途ある青年であつたが外交協會幹事裁濟民に誘惑されて以來總ての智能を排日に向け主席幹事として働いたが遂に後悔も及ばざる重大事を敢行したものである十月三日は飯田隊長の許可を得て老父母へ左の如き書面を送つた

兒の不注意により無意識の内に爲せし行爲が斯かる重大なる結果を招き全城の住民に多大の迷惑を懸けし不孝なる罪は何とも申譯なし兒が國民外交協會に携はりし事は御承知の如く吉林に赴きたる裁濟民(元國民外交協會主席)の懇請もだし難く入會せしものにして今之を顧みるに詮なく兒は既に覺悟しつゝあるより操つられし感あり今に至つて己の不甲斐なきを後悔すれども未だ處分決せず帝國主義の日本軍人は血も涙もあつて兒の要求を悉く容れ食事も暖も充分に優遇されつゝあり老父母よ御安心あれ兒は今や全身後悔の念に燃え兒は己が身の痛をも感ぜず唯だ老父母に孝養を盡し得ざりし事を悲しむ何卒兒は亡き者として諦められん事を

十月三日日本守備隊に於て　兒　蕭共天拜

移動兵約四千

【鐵嶺】四日夜鐵嶺南方の鐵道を横斷し西方に移動したる敗兵はその數約四千と見られ何れも當縣下第八區大康屯、阿牛堡子、烏巴海(共に鐵嶺西方七十支里)に分宿し大康屯の分は五日早朝出發法庫縣に向ひ他の部隊は尚滯留中の模樣であると

法庫縣内動搖

【鐵嶺】法庫門では鐵嶺縣から數千の敗兵來るとの情報に市民は戰々兢々とし人心頗る動搖の模樣であるが縣長は既に法庫縣内には斷じて入らしめざるやう手配してあり敗兵は新民彰武方面に向ふであらうと言明してゐる、尚法庫門南方には約八百名の優勢馬賊あり市街襲撃の機を狙ひつゝありとの報あり法庫門市民は敗兵と馬賊で頗る恐怖してゐると

入江氏奉天へ

【奉天】全滿聯合會上京委員と共に滿鐵及び關東廳を訪問せる入江副會頭は五日朝歸奉したが語る

四日は關東廳を訪問し塚本長官と約一時間に亘る會見をなし續いて滿鐵正副總裁とも一時間餘會談し決議文を手交の上諒解を求めて來た、滿鐵側正副總裁に對しては時局以來支那側の態度が軟化してゐるのに樂觀してゐる樣子があつたのでこれは支那側の通常例であることを告げて置いた、尚上京委員は四日出帆大阪で藤田會頭と落ち合ふことになつてゐる

撫順選炭競爭

【撫順】炭質の如何は市場競爭に重大な關係あるので撫順炭礦係では七月一日より九月末日まで三ヶ月間各選炭所の選炭競爭を行ひ爾來その結果に就き嚴密中の處左記入賞決定優勝大盃は大山選炭所の得る處となつた

△一等大山選炭所△二等萬達屋選炭所△三等老虎臺選炭所△四等龍鳳選炭所

歸國したさに 鮮女嘘の訴へ

【撫順】支人を亭主に持つ鮮女が望郷心やみがたく旅費捻出策から強盜の虚僞の訴へ——松田街南一番地華工宿舍許文仁妻朝鮮京畿道生れ金氏(二〇)は十八歳の時文仁の妻となり最近一度故郷へ歸り度ひ一念から最近講金の這入つたのを旅費にすべく臨江御丁場に四日午後十一時頃拳銃所持の三名組強盜が侵入金七百圓を強奪されたと訴へ警察は非常線を張るやら大騷ぎをやらした醉いで拘留五日

戰死者告別式

【鐵嶺】吉林松花江畔に於て名譽の戰死を遂げたる鐵嶺工兵隊故小林上等兵の告別式は五日午前九時半より營庭に於て執行されたが在鐵各團體官民二百餘名參列盛大を極め各宗僧侶の讀經に次で花井中隊長(代讀)小野新潟縣人會長以下名士の弔詞多く參列者一同燒香し鐵嶺始めての戰死者とて盛んな告別式であつた、遺骨は同日午後零時半特急で戰友に護られ郷里新潟に向つた

開原

治安維持會

十月三日開原城内の各界有志協議の上新に治安維持會を組織したが取敢ず元縣長佟玉堤氏を會長に元公安局長尹連元氏を副會長に推薦し城内外の治安維持に當る事になつたと

病死兵告別式

開原守備隊歩兵上等兵佐藤小太郎君は病魔に侵され鐵嶺衛戍病院に入院加療中であつたが不幸十月九日遂に永眠したので十月九日午前十時開原守備隊に於て告別式を執行する旨通知があつた在仕者は成るべく多數參拜し哀悼を表すべきである

外交協會解散

開原外交協會は昭和五年八月遼寧省外交協會の指導を受け本部を開原城内縣教育會内に設置し縣立師範、女子師範、中學、職業中學、滿眞小學師範附屬小學外縣下百五十校の全學生を網羅しその幹事には前記各學校の教職員及び學生々徒の有力者約二百四十名でその背後には縣長商務會長等の後援あつて各縣共同樣の組織を以て相互の連絡をとり根強く活動して居たが今次蕭共天の重大犯行に依り飯田隊長は直に同會に解散を命じ排日の根源を絶つのみか佟縣長尹公安局長をして將來之れに類似の會合をも嚴重取締る事を誓はしめた

鐵嶺

鮮農救援隊

去る一日以來奥地鮮農救援と被害狀況調査のため大甸子方面に出動した鐵嶺警察署渡邊警部の一行は各地の鮮農に被害狀況を調査し鮮農の保護方法に就て支那側とも充分交渉し遠く白旗寨方面にまで出動して無事その任を了へ三日午前十時半元氣で歸鐵したが一行が各地で調査した被害狀況は虐殺十九名(一行の檢視したるもの)負傷三名、放火全燒廿一戸破壞掠奪五十六戸に達したが那人れた糧は全部燒棄られたのでこの損害は莫大であると

中山中隊歸る

鐵嶺開原縣下の敗兵掃蕩に出動した鐵嶺守備隊中山中隊は鷄冠山に於て渡邊警部一行の警察隊と別れ開原縣下柴河溝に向ひ此處で重松大隊と合流し各地の敗兵を追ひつゝ開原附屬地に出で五日午後二時半着列車にて歸鐵した

撫順

軍隊に感謝狀

今回の日支事變に際し暴戾なる學良一派を掃蕩わが滿洲の特殊權益確保東北四省眞の中國大衆の福祉增進のため事件發生以來日夜東奔西走した關東軍及び獨立守備隊各將卒慰問の爲五日午前六時十分發列車にて撫順在住民を代表して宮澤庶務課長、田中實業協會長福永局長渡邊社員會撫順聯合會長窪田利平寺西奎之、大橋賴三の各氏相連れ赴奉本庄軍司令官に感謝の辭を述べ併せて感謝狀を贈呈する處あつた、次で今回の事變に壯烈護國の神となれる新國伍長、增子上等兵の追悼會にも參列した

戰歿者慰靈祭

北大營の戰ひに名譽の戰死を遂げたる新國伍長、增子上等兵の慰靈祭は五日午後一時三十分より奉天忠靈塔前で雲集する參列官民肅然たるなかに行はれたが撫順守備隊よりは川上守備隊長、角田、村上中尉以下將卒多數午前九時三十五分列車で赴奉參列午後五時三十五分着で歸隊した

鞍山

事變映畫公開

鞍山地方事務所社會係主催鞍山各新聞支局後援の下に六、七の兩日間午後六時より北二條町鞍樂館に於て時局の實寫日支衝突事變第一報を公開すると入場料大人四十錢

候氏無事歸る

鞍山滿銀支店出納係侯立峰君は馬賊の人質となり拉致されて居たが五日午前十一時頃歸宅衰弱のため臥床引籠り中だと

右近氏等赴連

鞍山製鐵所右近庶務課長長井庶務會計主任は來年度豫算編成のため四日夜行にて大連滿鐵本社に出張した

遼陽

縣城は極平穩

【遼陽】遼陽縣各機關に對し一日付在錦州臨時遼寧省政府から爾今一切の公翰は同省宛送付方通牒があつたが各機關共目下の處觀望態度であるのみならず城内四郷各村民は一時人心動搖不安の念に狩られて居たが關東軍司令官の布告後は農商民何れも活氣を呈し物價も漸落し市中全く平穩に歸しつゝあり

共同討伐希望

支那官憲は匪賊討伐に關しては常に武器彈藥の補給が不充分なる爲め目的の達成上相當困難を感じ却て匪賊に逆襲されると云ふ場合もあるのでこの際日本側と共同討伐を行ひ實績を擧げたき希望を有して居る

千射會納會

滿鐵遼陽大弓道場では弓友倶樂部員も加はり千射會を催したが五日午後四時から月並會に兼納會を催したが千射會參加者三十餘名で一等賞は山崎領事で參加者には全部記念メタルを贈呈したと

野村氏嚴父

遼陽地方事務所社會主事野村茂里氏嚴父富治(六五)氏は豫而病氣靜養中の處同日東京に於て死去したる旨の急電に接し五日急行で朝鮮經由上京した

營口

營口市民大會

營口市民協會、滿洲自主同盟營口支部、滿洲靑年聯盟營口支部の發起にかゝる市民大會は四日午後七時から公會堂に開催され加藤讓次氏の開會の辭に次で座長の推薦あり松本貞男氏當選し座長席に就き宣言決議起草委員の推薦あり加藤讓次、坂井喜則、安彥英三、樋口親藏、小川義和、松本貞男の諸氏擧げられ別室に於て宣言書を作成し松本座長より宣言書及決議文を朗讀し一同の贊成を求めたるに滿場割るゝばかりの喝采裡に可決しこれより演説會に入り尾崎久市、岡松乾丈、樋口親藏、伊藤奥次、上田正喜、古川米吉、小川義和氏其他數氏の熱烈なる演説あり何れも舌端火を吐く如き熱辯を振ひ滿堂溢るゝばかりの聽衆に深き感動を與へ聽衆皆悲憤慷慨して支那官憲の暴逆無道を憤り切齒扼腕するもの多かつた該宣言書は關係方面に打電した

瓦房店

父兄會に寄贈

瓦房店小學校兒童鹿島靖子及び操の兩氏より在學記念として金十圓を父兄會に寄贈した

補習生徒募集

瓦房店實業補習學校にては本年度後期生徒を募集することゝなつたが學科は國語、算術、支那語等で授業料は一期間金一圓始業は十月七日よりの豫定但し各學科につき志願者十五名に達せざる時は開講せざる由

旅順

祝賀會を中止

來る十日の双十節當日に際し在旅順の學生青年會等は記念祝賀會を催し演説演戲等を行つて來たので公議會では逐次會合をなし協議會を開いた結果本年は時局柄これ等の會合を中止することに決したので各學生團體、青年會等も自然中止すると

鄉軍臨時大會

在鄉軍人旅順分會では時局突發と同時に自警團急設その他のため多忙を極めつゝあつたが出動部隊に對する謝意激勵並に國家の現狀に際する態度、輿論の喚起に關し近く臨時大會を開催せんとの議があるので理事幹事間にては目下打合せ中である

燈臺電燈敷設

關東廳燈臺部にては目下計畫中の老鐵山燈臺の電燈敷設及び半島突端に施設さる霧笛信號工事は目下民政署營繕課本電氣主任に委囑し研究設計中であるが總經費約四千圓位で霧笛信號は主として老鐵山突端に聞える強音なものであると

黄金臺

傳染病發生

朝日町一七橋本德義長女淑子(三つ)は三日赤痢と診斷さる

◇故久保田金平翁建碑地鎭祭は三日午前十時より白玉山西斜面閉塞隊記念碑傍に於て擧行今村神官の祝詞參列者一同の玉串奉奠等嚴かに行はれたが竣工は十一月十日頃にて黒井海軍大將揮毫の見事な碑文も到着したので直ちに起工する

◇八王寺商業學校生徒二十四名は矢野教諭外二名に引率され二日午前九時十分着列車にて來旅各所を見學即日離旅

◇出雲大社教旅順布教所では來る十七日から三日間秋季大祭を行ひ第一日宵祭は午後七時二日本祭は午前十時及午後七時三日目祝祭は午前十時からいづれも祭典後說教あり參拜者には神饌神酒を頒つ尚祭典三日間は社殿其他にはイルミネーションを施し境内には提灯及び川柳漫畫燈籠の献灯又野口菊水軒社中の奉納生花有志の献詠和歌動物園の作り物があるが十八日午後祭典後は寶籤がある、尚又十九日午後六時からは昭和園に於て活動寫眞の映寫を爲す

◇第十一師團長に榮轉した厚東篤太郎中將は愈々六日午後四時半旅順驛發離旅するので三日附各方面に對し在職中の挨拶狀を寄せた

◇在滿第十六驅逐隊朝顔は五日午前九時龍口に向け出港せるが同地よりは六日芙蓉が歸港交代を爲す由

◇旅順第一中學校では州内中等學校連合野外演習中止のため六日拂曉より水師營南側地に於て四五年を基幹とし全校職員生徒を擧げ東西兩軍に別れ壯烈なる空砲發火演習を行なつた

◇在港中の軍艦淀は五日午後一時出港したので關東廳から水谷地方課長は長官代理として同艦を訪問した

市中の噂

時局のため奥地へ出動した旅順署の警察官も平素の四割を減じたので殘留警察官は目下五人分の仕事をやつてゐる▲それが爲め文字通り不眠不休の大活動だ夜の密行、潜伏警戒等で時折り自警團や駐箚聯隊歩哨等から誰何される事もあり一通りの苦勞でない▲聯隊や重砲隊では在鄉軍人分會員の連日連夜に亘る緊張夜警取締のため返つてコソ泥一つも出でぬ平和郷▲催し物も一時遠慮したので最早期日遅れの感ある爲め一層の不振振りは深刻なものがある殊に重砲聯隊の不在は市中にとつて一番淋しい聯つて影響する方面は第一に御用商人、カフエー▲コレデ一時に襲來する嚴冬の前ブレでもあると此年末は大分違つた變化が現はれる事と觀察されてゐる▲博多町一七の六十號車夫君福芳有三日午後二時頃深川齒科醫院前で現金二十三圓七十錢入の蟇口を拾得屆出たのは一寸感心▲それから思ふと西町七居住の竹細工行商董國棟(三〇)は留守宅を覗ふ不埒三日午後四時金澤町の石井襄一少尉宅へ押買中警邏巡査の佐々木巡査に現認された

簡單に出來るサーワ化粧

◇從來の白粉とは少し調子が違ふ
◇白く冴えるから半量以下で充分

市川松蔦丈

チタニウム主劑のサーワ白粉が此頃大變な評判で、何ちらへ參りましても、白粉を御使用の向では此白粉の話で持切り、とまア云つたやうの譯で、全く白粉界に一紀元を劃しました次第ですが、早くからの愛用者としまして、私が氣付きました點を二、三お話致して見ませう、と云ふのが、在來の無鉛白粉とは大分に調子が違つて居りますから、又それが取りも直さず、サーワ白粉の特色にも成ります譯でございますから。

先づ此白粉には從來の無鉛白粉のやうにクリーム類とか化粧下の類が餘計に要らないと云ふ事です。要らないと云ひますよりは、餘計に使ふと却つて白粉が寄つたりするのです。尤も特別の濃化粧に成れば別で、それにはサーワの白粉下を少々使ひますが、普通の化粧には作用の緩いミツワ石鹸で洗ひ整へた地肌なれば、その化粧下にはサーワ化粧水を使ふだけで、全く充分なのです。

況して種類の違つたクリームとか化粧下を使つたりしては、何うも結果が面白く無いやうです。

そして例へばサーワの煉白粉だと致しますと、之を別の皿へ分けて板刷毛で良く煉ります。そして豊富と之を襟なり顏面なりに塗るのですが、塗ると直きに乾きますから、乾く一方から水刷毛を一寸絞つて手早く撫で伸ばしてゆき、その跡を今度は牡丹刷毛でもつて輕く押へ氣味に、そしてツット伸ばし氣味に之又手早く馴らして行きます。さうすると實際美しく艶よく冴えて、此白粉は面白いやうに附着伸びするのです。

此水刷毛と其跡の牡丹刷毛が實に良く利くといふのが、矢張此白粉の特色をなして居ります。

そして其上にサーワの粉白粉を刷きますと、實際にふつくらとして極自然な、美しい化粧ができます。

何しろ好く冴える白粉ですから從來よりは餘つ程少いめにお塗りに成つて、それで充分です。遠目も實に白く冴えますから、御外出などに、其處の手加減が要る事に成ります。つまり半量以下でよい事に成るのでございます。

それから尚此の白粉の特色として特に申上げ度いのは一旦附けた白粉が仲々剝げないといふ事です、即ち汗にもお化粧崩れがしないといふ事であります。

私ども舞臺の事ですから、季節外れの厚着をします事などは常住で、隨分暑い思ひも致しますが、それで其汗がタラ〳〵するにも拘らず、此白粉は崩れませんのです。それこそ濡手拭を絞つたものでソツト押へて汗を除れば、化粧は矢張冴えてゐるのであります。

斯ういふ工合にお話いたしますと全く切が無いのですが、兎も角も今迄に無い良い白粉だといふ事はお分りの事と存じます。

何しろ特色の多い優良白粉ですが、普通のものと一寸調子が違ひますから、そこを速く御會得なさるのが宜しうございます。

(ミツワ文庫)我當丈の高南(林冲)

松蔦丈の千鳥(平家女護島)

土臺は地肌

片岡我當丈

化粧をして見ますと、今更のやうに土臺の地肌が大切な事が分ります、など、申上げると如何にも今更らしいのですが、之は何處までも眞理でございます。

つまり其地肌が清潔に成つてゐなければ成らず、同時に滑かに整へられてゐる必要があります。

荒れてゐていけないし、又脂つぽくても白粉はのりません。

平生の洗料が問題に成る所以でございます。即ち同じ純石鹸といひましても、其處に隨分の違ひがありますから、よく〳〵作用の緩和いものを選まなければ成りませんので、此點定評のありますミツワ石鹸を使へば最も安心です。

汚れた脂肪を除つて而も跡に適度のうるほひを殘しますから、地肌は柔軟なめらかに成つて、實際よく整へられます。つまり作用が特別に緩和で、使用後に些しも石鹸分を殘さぬからであります。

白粉界に一新紀元を劃したサーワ白粉の特長

(一)普通白粉とは全く原料を異にし絕對に鉛分を含まず、然も含鉛白粉同樣に附着伸自由で、汗に崩れずまた剝げ落ちません。
◇
(二)濃淡の化粧總て水刷毛が利いて水刷毛を使へば使ふ程よく冴え、眞に生彩ある化粧榮と成り又二重塗が實によく利きます。
◇
(三)濃化粧に極少量の白粉下を用ふ他は、ミツワ石鹸で洗ひ整へた地肌なれば、化粧下はサーワ化粧水だけで美しく附きます。
◇
(四)特に被覆力大に良く冴えるから普通白粉の半量以下で却つて以上の效果を舉げ仕上りはサラサラとして白粉が浮きません。
◇
(五)その乾きが速いから、濃化粧しても襟を汚さず、又衣類に附いても乾かして叩けば、粉末と成つて跡無く飛んで了ひます。
◇
(六)含鉛白粉と同じに顏のみか手足までも湯化粧ができて、白粉が地肌に滲込んだやうに美しく沈んで、驚く程永保致します。
◇
(七)此白粉で化粧して撮つた寫眞は、他の化粧の時の寫眞とは全く違つて、目鼻立實にくつきりと、鮮かな美しさに寫ります。
◇
(八)白粉焦せず斑點を作らず、溫泉海水浴に湯焦日燒を防ぎ、若し又內容が乾いても、サーワ化粧水か水で溶けば新しく成ります

御注意

近來チタニウムを原料とし或ひは之を配合した所謂チタニウム白粉と云ふのが數十種販賣されて居りますが、之等は三木元子女史研究創製のサーワ白粉とは全く種類を異にしてゐます 混同なさいませぬ樣、御注意の程を願上ます。

芝鶴丈の彩影(林冲)

頗る簡單な一化粧法

中村芝鶴丈

絕對に無鉛無毒で、それでもつて含鉛白粉同樣にノリノビの優れた白粉、それは近頃評判のチタニウム主劑のサーワ白粉です。大日本俳優協會の特約品といふので、私も早くから愛用いたして居りますが、事實優れた白粉で、冴々した其白さは比類がございません。

一つ簡單なお化粧法を申上げて見ませう。それは先づサーワのヴァニシングを小指の頭ほど左めの掌に採り、それより少し多いめのサーワ粉白粉を加へて、兩掌でよく揉合せますと程よく伸びますから之をお顏面へ兩掌でもつて一面に塗りますと、キレイに附着伸びしますから、其上へパッフでサーワの肌色か濃肌色の粉白粉を適宜に刷付けますと、手早に美しいお化粧ができ上ります。

お襟の方は同様を普通に用ひられゝば宜しいので、お顏面の下地はミツワ石鹸で洗つて、サーワ化粧水をつけるだけで結構です。

太平洋謎の處女空を ミス・ヴ號遂に征服

五日午前七時十六分〔米國時間〕 ウエナッチに無事着

【東京特電五日發】太平洋横斷の壯途にあるパングボーン氏、ハーンドン氏のミス・ヴィードル號の成功に對しては世界各國人一樣に注目してゐるところであるが、五日午後十一時半桑港よりの入電によれば四日午前七時朝霧をついて淋代海岸を離陸したミス・ヴィードル號は五日午前七時十六分ウエナッチに無事到着、かくて謎の處女空として各國人より一樣に注目されてゐた太平洋横斷と云ふ大きな劃期的な榮冠はこの若く健やかなパ、ハ兩氏の手によつて完成された

【東京特電五日發】ウエナッチよりの入電によれば五日午前七時十六分太平洋横斷に成功してミス・ヴィードル號は無事當地着、因に當地にはパングボーン氏の令兄が寶石商を營んでゐる、ウエナッチはワシントン州にてシャートルより約百哩東方に位する

摩天樓の間を縫つて飛ぶ

豪膽なパ氏の手腕 ハーンドン氏の飛行略歷

【東京特電六日發】太平洋無着陸横斷飛行に成功しはパングボーン氏は本年三十六歳で飛行時間總計一萬二千時間、一九一九年以後支那航空本部長始め多數の支那人に飛行術を敎へた、一九二二年に有名なゲーツの空の巡回飛行團に參加しニューヨークの摩天樓の間を縫ひ飛行機から飛行機への曲乘を演じて二七年市街地上空は一千五百フィート以下を飛ぶべからずとの法令を出さしめるに至つたハーンドン氏はペンシルバニアタイタスピルの法律家の息でプリンストン大學半途退學飛行時間總計一千七百時間パングボーン氏と一九三〇年巡回飛行團を組織した時からの友達である

暴風雨に二度遭遇

パ氏飛行談

【ウエナーッチ五日發】淋代出發後機首を一路ダッチハーバーに向け千島に沿ふて大圏コースを採つて進んだ途中ロシア領海沖と米大陸沿岸附近で暴風雨に遭遇しカスケード山脈附近でも向ひ風に遭つたが左程の困難も經驗せず大體に於て樂な飛行であつた、尙淋代出發後三時間後に重量輕減の爲め滑走輪を棄たモーターの調子は飛行中全く完全に動いて吳れた

ヴ號の平均時速は百十九哩

【ウエナッチ一五日發】ヴィードル號の全飛行總哩數は約四千九百十五哩平均時速は百十九哩で右哩數中にはスポーケンの上空の飛行哩數三百哩も含まれてゐる

悼し戰歿者の遺骨 五日夜大連着

芦原少尉以下戰友に護られて 出迎數千驛前を埋む

今回の事變において名譽の戰死を遂げたわが忠勇なる第二師團及び獨立守備隊將士の遺骨は、第四…隊芦原少尉以下二十餘名の戰友に警護され、五日二十時大連着列車にて着連したが、これより先この勇敢なる戰死者の遺骨を出迎ふべく大連驛に集まつたもの、各宗教團體、修養團體はじめ一般市民は數千に達し、さしもに廣き驛前の廣場も爲に人をもつて埋まるほどであつた、靈柩車は定刻より六分遅れて午後八時六分、粛々と構内に入り、プラットホームにて辛島大連民政署長、眞鍋大連市長代理、岩井在郷軍人大連聯合分會長、市内各警察署長、村上首藤、山西三滿鐵理事、以下官民各機關代表はじめ在郷軍人各分會代表、青訓代表大廣場青年訓練所生徒等多數の嚴肅なる出迎へを受けたが、靈柩車が構内に入るや群衆中からは經文を口ずさむ聲が聞え、婦人團體の中からはすゝり泣きの聲すら漏れてゐた、遺骨は芦原少尉の指揮により構内に設けられた安置所に先づ安置されたが、平常の喧騒に引かへ寂として還に聲なく、かくて灯された燈火の下に置かれた純白の布に包まれた悼ましい

遺骨箱を眺めては、涙新なるを禁じ得なかつた一方芦原少尉は岩井少將始め各首腦者に報告、一同また其の勞を犒ふて遺骨に對し最敬禮をなし、同八時三十分遺骨は再び戰友の手によつて群衆の默禮を受けつゝ驛外に運ばれ自動車によつて關東倉庫へ向つたなほ遺骨は五、六兩日間同倉庫内に安置して一般市民の禮拜を許し七日大連出帆の香港丸にて内地へ向ふ筈である

大連驛着の戰歿勇士の遺骨

壯圖成れる空の兩勇士【寫眞】は立川飛行場から淋代へミス・ビードル機空輸の際におけるハーンドン氏(右)とパングボーン氏

勇士の遺骨を祀り 大連市の慰靈祭

きのふ忠靈塔において 近來稀な盛儀

今回の滿洲事變に際し寶城子ならびに南嶺の激戰で陣歿したわが帝國の勇士熊川少尉以下二十九名の英靈を弔ふ大連市の慰靈祭は六日午後二時から中央公園忠靈塔に於て佛式により嚴修された、これより先關東軍倉庫に安置された

遺骨は 午後一時靈柩車に移され警官先驅、戰友蘆原少尉以下々士卒二十名、並に市吏員在郷軍人その他に護られて同所を出發、忠靈塔に到着し正面の祭壇に安置された、祭壇には關東軍司令官、大連民政署長、滿鐵總裁、滿蒙研究會、青年聯盟等の榊、在郷軍人分會聯合會、大連產婆會、同婦人會の供物など飾られ軍人後援會、福島縣人會、仙臺鄉友會、南滿電氣、同瓦斯兩會社、大内市會議長その他の花輪で埋まり福島縣人會、會津人會、大連現業組合その他の弔旗も數旒樹てられた

參列者 は陣歿者遺族を始め辛島民政署長、江口滿鐵副總裁、櫻井遞信局長、森本地方法院長、岩井在郷軍人分會聯合會長、石井大連、飯島水上、三浦小崗子久下沼沙河口各警察署長、大内市會議長、田中前大連市長、市會議員、區長、方面委員、在郷軍人、傷兵、青年聯盟、青年訓練所生、各中等學校生徒、婦人團體等無慮數萬を算し折柄の暗雲低く垂れ雨さへ落して一入のしめやかさを添へた、式は最初佛式に始められ香偈、祭文に次いで讀經あり四智偈に終り更に神式に移り、降神、祝詞に次いで永井市長代理

祭文を 朗讀、更に來賓を代表し滿鐵總裁弔辭(江口副總裁代讀)栃内仙臺鄉友會長の弔辭本庄軍司令官の弔電(加藤航空艦代讀)朗讀あり、遺族の燒香、齋主の玉串奉奠あつて後永井市長代理、遺族代表として古川純義氏ほか三名、辛島民政署長、江口滿鐵副總裁、加藤現役軍人代表、岩井在郷軍人代表、傷兵代表、大内市會議長、村井商工會議所會頭、學校代表、仙臺鄉友會、福島縣人會、山形縣人會、新潟縣人會各代表の燒香並に玉串奉奠あり、陣歿者の英靈を慰め同三時半閉式したが大連近來にない

盛儀で あつた、なほ靈柩は式半で晴れ遺骨は再び靈柩車に依り關東軍倉庫に安置された、式後社會館には四戸長春在郷軍人分會長の長春に於ける日支衝突事件の實況に就いての講演あり、聽衆場外に溢れ多大の感動を與へたのである

新國、増子兩勇士の 莊嚴なる告別式

奉天忠靈塔前で五日執行

北大營占領に際し惡戰苦鬪名譽の戰死をなした獨立守備第二大隊第四中隊歩兵伍長新國六三氏及び歩兵上等兵増子正男氏に對する莊嚴な告別式は奉天守備隊司令會のもとに五日午後一時半より忠靈塔前にて執行、忠靈塔前に作られた祭壇兩側には關東軍司令官、守備隊司令官、第二師團長、木村滿鐵理事在郷軍人、林總領事、守備隊第二大隊長、民會長、商議會頭の花籠と供物で埋められ神職の祝詞にはじまり慰靈祭詞を奏上するや一同が瀕新たなるものあり、僧侶の讀經、右戰歿者と關係ある高橋第四中隊長、島本守備隊長等の弔辭についで森守備隊司令官をはじめそれぞれ順次に弔辭あり、軍司令官の燒香についで一同燒香、島本大隊長の挨拶で午後三時閉式、忠勇武烈なる二戰歿者の靈を永久に慰めるところあつた、尙會葬者は二千名の多きに達した【奉天電話】

神宮競技派遣の 滿洲代表決まる

陸上五名、軟球六名

今秋擧行される明治神宮體育大會並に全日本陸上競技選手權大會の滿洲豫選會は去る四日大連で行はれる筈であつたが時局のため中止されたので滿洲體育協會では五日午後四時より大連滿鐵社員倶樂部に太田雅夫、村田毅鷹、山岡信夫小野田一雄、川原貞夫(滿鐵消費組合代理)の諸役員及び林田學、高橋俊夫兩主事參集のうへ詮衡委員會を開催の結果、左記陸上選手五名軟球選手六名の滿洲代表選手を決定した

▲陸上競技 濱田常盛(大連)中距離マラソン、柴田義敏(撫順)走巾跳三段跳、淺坂正一(撫順)棒高跳、福井行雄(奉天)高障碍中障碍、伊藤清八郎(奉天)棒高跳
▲庭球 關谷吉丸組(大連滿鐵)大谷高山組(鞍山)臼木安住組(奉天、撫順)

亂石山附屬地に 鮮農避難し來る

敗殘兵の掠奪に遭ひ

去る十月三日夜十二時ごろ大砲、機關銃等を所持した約二、三千名の敗殘兵が當舗屯で道案內者を求め滿鐵線を越えて西漸し新璇子附近において馬十五頭餘を掠奪して更に西進し紅山塞より遼河を距り更に西漸したが、その內の負傷兵等二、三百名後方に殘され掠奪等は沿道至る所で掠奪を行ひつゝあるが折柄恰度秋の收穫時である爲め被害が甚だしい、その暴行を恐れた鮮農八百餘名は難を避けて四日朝續々亂石山附屬地に避難し來たので目下保護中である【奉天電話】

滿日婦人團に 續々謝狀來る

滿日婦人團の努力により募集された軍隊及び警察官への慰問袋は旣に各署長宛發送したところ六日奉天立川、長春武波、營口林、本溪湖植田、遼陽長山、瓦房店佐藤の各署長から郊外には馬匪賊の跳梁あるも管內は大體に於て平靜に歸したゞ時局の前途は豫測を許さぬので一同元氣旺盛、その任にあり貴社婦人團の御厚情による慰問袋は署員一同に配布し感謝に堪へずとの謝狀を滿日婦人團宛に寄せて來た

支那敗殘兵 鮮農拉致

哈市南方にて

【ハルビン五日發】ハルビン南方三キロの地點で鮮人農夫三名突如支那敗殘兵に拉致され行方不明となつたので時節柄鮮農は大恐慌を來してゐる

渾河右岸を 敗兵西漸

地主富豪避難

渾河の右岸は敗殘兵の掠奪盛にして同方面居住の支那民家は牛馬金品等殘らず掠奪されたがそれ等の敗殘兵は渾城に沿ふて西漸しつゝあるので同方面の居住は戰々兢々たる有樣であり大地主、富豪連中はその噂を傳へ聞いて逆に東方へ向つて移動避難しつゝあると【奉天電話】

東支西部線に 馬賊蒙匪ら横行

沿線の治安維持絶望

【ハルビン特電五日發】四日ウノウム、イルクテ間其他三ケ所において蒙匪と官兵との間に衝突あり西部線一帶は白色パルチザン、支那馬賊及び蒙匪の横行甚だしく頗る不穩の狀態に陷り札免公司林區方面に馬賊の掠掠を受けつゝあるチチハル線の歸趨は頗る注目されつゝあるも中心勢力たるべき人物を缺き形勢混沌として容易に豫測を許さず、沿線の治安維持は只今のところ絶望と觀測されてゐる

時局から 天津丸溯航

先陣の大汽 天潮丸歸る

大汽天潮丸は各等滿員と云ふ賑々しさで出發したが右は時局柄北寧線の不安により航路を選ぶものが急增したにもよるが、事實はかつて東北政府にあつて用ひられてゐた支那側官吏連が密かに平津の地に至り學良氏のもとに馳せ參ずるものが增加したを裏書さするものへ平津における時局の萬一變化せし場合を慮り大汽當局では少し無理をしても天津まで白河を溯江せしむる事となり旅客に對し便宜を與へんとしてゐるが、五日入港天潮丸はまづその先陣を承はり無事溯航天津より各等滿員と云ふ

珍しい 滿船ぶりで歸連した、七月以來白河埋泥のため增沽止りを餘儀なくされてゐたのを完全に白河を征服遡航した天潮丸三木船長は語る

今年はどうも白河の工合が惡いので困つてゐたが思ひ切つて決行したのです、このシーズンになつて長さ二百五十尺もの船が遡航したのは初めてでした、一番困つたのは上るには上つたがさて廻船場がなくしかたなく會社の下流になる支流に

船首を 突込んで廻した、さにかくパイロットなしでやつた事だし何分天津リーチなぞで船が行き逢ふ事も出來ないと云ふ狹い有樣なんですから少し苦勞しました

因に大汽では來る九日天潮丸が天津より大連着、同日安東向出帆の豫定を取消し其儘大連より折返し左の日取により更に二航海天津まで遡航せしむると

十月十一日大連發十二日天津着十三日天津發十四日大連着、十五日大連發十六日天津着、十七日天津發十八日大連着

しかして十八日大連着の上は豫定通り安東、大連、天津を定期に廻るさ

天津航路滿員

六日午前十時入港に向け出帆した

吉野町の 火事

五日午後十一時十分ごろ市內吉野町廿一番地雜貨商増泰成事陳書山方二階より發火、焰は遂に隣家同雜貨商源寶號事何英綸方を一なめにし折柄急報によつてかけつけた大連消防署員、同消防組員の懸命の努力の末一棟三戶を燒き六日午前零時四十五分鎭火、右につき今井消防署長は語る

この家は約二ケ月前にも火事を出した家で石油や揮發油等の引火物を取引するので今晩なぞも隨分危險だつたが丁度前の火事で家の樣子が知れてゐたので丁度都合がよかつた、原因は不明だが損害は約一萬圓位の見當だ消防のものが一人氣絶したがすぐよくなつたのでホッとしてゐる

披露宴費寄贈

南滿瓦斯會社專務更任披露宴は這般事變のため遠慮中であつたが出動軍部並に警察當局の辛勞を察して右披露宴を取止め當該費用全額を軍部警察官慰勞の資に寄贈する所あつた

リ氏岳父逝去

【イングルウッド五日發】リンデー夫人の實父ドワイトモロー氏は今日午後一時五十二分ウイッケッで逝去した、享年五十七歲氏はメキシコ公使ロンドン會議全權として令名あり共和黨次期大統領候補者と目されてゐた人である

安樂椅子

滿鐵の秘書係主任と云へばこの人位多忙な人は滿鐵會社中にも二人とあるまい、宴會だ、招待だ、それ自動車だ、重役の旅行だ、やれパスだと一日中セカセカと驅づり廻つてゐる。

……◇……

よくよく忙しくこの世に生れついたと見えて仕事する時でも滿足に椅子に腰掛けたことがない退社後はゆつくり家庭の氣分を味はつたらよささうなものだがそこが林式で閑があるとベビーゴルフに走り出すと云ふあはたゞしさ。

……◇……

健康なればこそと誰も思ふがその林多忙子が稀らしい病氣をして二三日缺勤した口の惡いのが[illegible]像を選しうして「林さんも總裁の旅行する每にお供を仰せつかつて滿足に飯も食へないやうな思ひをしてゐるので今度こそは正副總裁の上京前に病氣になつた譯か」なぞと云つてゐたら

……◇……

內田總裁出發の五日にけろり病氣が治つてのこのこ出て來たから堪らない、そら日程だ、打合せだと病み上りの林さん獨樂のやうに舞ひ初めた。

……◇……

そして總裁に呼びつけられて「下の關まで行つてくれ給へ」と來た、斷る譯にも行かず引退つたが室にかへつて長嘆息「下關から先はご免蒙りたいなア」は恰も賣れッ子の惱みと云ふところ。

曙の鐘 (71)

倉田潮
河野想多畫

大都會の暗黑（一）

お夏はその夜目をさますどころか、實は洋館にはゐないのだつた。彼女は朝起きると、今夜非番であるのを幸ひ、こつそりと屋敷をぬけ出して、淺草の松竹座へ行つて見たいと、露子と共にしきりにその話をしあつてゐた。松竹座には夏子のひいきにしてゐる若手俳優の蓮三郎が獨り芝居をしてゐるのだつた。今度の上京に蓮三郎は中央の大芝居にも顏を出してゐたが、よい役がつかない爲めか、淺草に出ばつて、こゝで得意な狂言を三つも並べてゐた。露子も蓮三郎一座には蓮童と云ふひいきがあつた。

二人は午後九時頃、床をしいて寢た風をしてそつと洋館を忍び出た。そして、裏門の前から圓タクで淺草に走せつけた。芝居は最後の幕の「梅忠」をしてゐた。蓮三郎の十八番もので、劇通日本一の賞識をゆるしてゐるものだつた。一體に蓮三郎と云ふ役者は和事を最も得意とするが、その他の如何なる種類の劇にもたんのうで、今度の芝居にも一番目には樓門の五右衞門をやつてゐた。

お夏とお露とは棧敷に通ると、でかたに女持の名刺を渡して、それを蓮三郎と蓮童に持つて行つて貰ふことにした。お夏はこの前の上京の折には、一人で幕も寄附もしてあるし、外でも二三度蓮三郎に逢つてゐるのだつた。名刺を見たら直接挨拶があることだらうと、二人は思つた。

ところが、幕になつても蓮三郎からは何とも云つて來なかつた。お夏はイライラして、名刺の裏に今夜小舍がはねてから夜食を一緖に食べないかとの意味をしたためてまたでかたに持たしてやつた。お夏は冷たい男のしうちに胸がムカムカしてゐたが、對手が冷酷に出れば出るほどますます熱愛が增して、大きい白豚のやうにこえふとつた蓮三郎の肉體を吸ひつけられるやうな心持で思ひつめてゐた。しかし、二度目の使ひもつひに返事を持つて來なかつた。何うしたことなのだらう、何か譯があるのか、それともわざとぢらすつもりなのだらうか、いろいろに考へて、その度にお夏はますます熱い怒りと猛烈な渴望に身をやかれた。

お露もお夏につれられて來て蓮童を知つたので、お夏を出しぬいて一人で逢ふ譯にも行かず、自然お夏と共に蓮三郎を怒らねばならなかつた。

すると、終りの幕になつてから、やうやう先程の出方が名刺の裏に書いた返事を持つて來た。見るとそこには蓮三郎の手蹟に先程の返事が遲れたことが丁寧にわびてあり、最後に今夜は何うしてもぬけられない大切な用事があるからとの斷りがえんきよくな言葉にしためられてある。そして、最後に今夜でなければ何時、何處へでも御ともするとのことが附け加へて記されてあつた。

「チェッ」

と、勝ち氣なお夏はその名刺をピリピリと引きさいてお露の前に叩きつけた。

「私よりよいお客が來てゐるんだわ」

そのままお夏はぷいと立ち上つて、お露には振りむきもせずそこを出た。お露はお夏の氣質をよく知つてゐるので、蓮童には心殘りがあつたが、しひてお夏と調子をあはせて小舍を出た。お夏は外に出ると

「お露さん、蓮三郎のあんな百貫デブや蓮童の大根なぞのことはサッパリと思ひ切つて、今夜は一つ思ひ切つて陽氣に騷がうぢやないか」と云つた。「毎晩あんなおぢいさんの御きげん取りで、近頃はほんとに氣がクサクサして了つたわ」

「でも」とお露はさすがに案じ顏に云つた。「餘り遲くなりあしないでせうかね」

「大丈夫よ、今夜はいくら遲くなつても大丈夫なことがあるのよ」

手をあげて自動車をとめながらお夏はお露をかへり見て凄く笑つて見せた。そして、自動車に大塚へ急行しろと命じた。お露にはこんなに遲いのに、女である自分達をむかへて娯ましてくれる家があるとは考へられなかつた。

「姉さん、何處へ行くの」

「默つてついてゐらつしやいよ。さいつてもうれしいことのあるうちへ連れて行つてあげるから」

滿日臨時碁戰 【7】

三子 六段 岩本薰氏
初段 井上太市氏

一 二 三 四 五 六 七 八 九 十 十一 十二 十三 十四 十五 十六 十七 十八 十九
イ ロ ハ ニ ホ ヘ ト チ リ ヌ ル ヲ ワ カ ヨ タ レ ソ ツ

○一一レの三の處粘ぐ
○一二一ヘ十八 ●一二二チ二 ○一二三レ十五 ●一二四チ十七
○一二五チ十八 ●一二六ハ十一 ○一二七ニ十一 ●一二八ロ十二
○一二九ハ十 ●一三〇ロ十一 ○一三一ヘ十六 ●一三二ソ十六
○一三三ヲ十五 ●一三四ソ十七 ○一三五ト十二 ●一三六ヘ十二
○一三七ヘ十一 ●一三八ト十三 ○一三九チ十二 ●一四〇ニ十三

▲岩本六段講評 黑百廿二は(い)に桂馬する方が大きい處である

大連 JQAK 十月七日

▲午後六時五十分ニュース ▲英語講座(テキスト第二十五課)大連神明高等女學校山田長三郎 ▲マンドリン合奏(スペイン舞曲)伊藤十五郎作(サラバンダ)ボーム作(ディアポロの歌)サルトリー作、滿鐵音樂會演奏部員 ▲清元(六歌仙文屋)唄、平、同岡崎同村石、三絃清元延益富 ▲郷土民謠(公家歌)(宋居唄)福岡縣八女郡民謠栗原珠城 ▲職業紹介事項 ▲天氣豫報 ▲ニュース

東京 JOAK

十月七日午後六時三十分 ▲講演「國際運輸勞働組合聯盟(ITE)の葬式及其の使命」聯盟代表エドフィンメン、通譯日本海員組合國際部長米窪滿亮 ▲放送舞臺劇「海亮毛剃」林和作、市川三升、市川紅梅一座 ▲小唄「主さん」「やぼな屋敷」「散るはうき」「秋雨」「ぶらり」「晩に忍ばゞ」唄小堀小滿孝、三味線同小滿笑 ▲ヴァイオリン獨奏(大阪より)「冥想曲作品四二ノ一」チャイコフスキー作「雲雀」チャイコフスキー作「スケルッオ作品四二ノ二」チャイコフスキー作「東洋風小曲あきこに咲」「圓舞曲」グラズノフ作「印度風の唄」リムスキコルサコフ作「カンツオネツタ」ドダンツア作品四三」メジユネル作、アレキサンダーモギレフスキー、ピアノ伴奏ナデジタロイヒンテンベルグ